看護学専攻専門科目教育要項

Nursing Science, Syllabus of the Special Subjects

２０２０年度

2020-2021 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

医学部保健衛生学科

《医学部保健衛生学科》

●教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の２つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

●教育目標

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

●求める学生像

〈看護学専攻〉

1. 看護学・保健医療福祉に深い関心がある
2. 豊かな感性と優れたコミュニケーション能力を有する
3. 論理的思考力、問題解決能力を備えている
4. 倫理的感受性と探究心に富む

〈検査技術学専攻〉

1. 医学・保健医療に深い関心を有し、患者・要介護者や社会に対する奉仕的精神、責任感、倫理観を有する
2. 豊かな人間性をもち、観察力、論理的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている
3. 継続的に自己啓発し、探求心が旺盛である

◆ディプロマ・ポリシー

医学部保健衛生学科では、全学共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学)の学位を授与する。

１．幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

２．医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

３．問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

４．自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

５．国際性の形成

国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

◆カリキュラム・ポリシー

〈看護学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。

２．自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。

３．看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担いうる資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していけるよう科目を配置する。

４．多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。
５．国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、４年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。

〈検査技術学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学共通科目および専門科目を４年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。
２．臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。
３．国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は４年間に渡って継続的に学習できるように配置する。
４．本学大学院医歯学総合研究科、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、医学部附属病院、医歯学研究支援センター等の全学的協力および四大学連合複合領域コースの活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに、卒業研究等により大学院教育との連携を図る。

お知らせ

　2020 年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、授業日程は、適宜変更となります。

　最新のものは、WebClass、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

目　次

2020年度授業計画表<<看護学専攻>>
保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について

【第1学年】
2020年度時間割（看護学専攻：第1学年）
解剖学
微生物学
国際保健福祉A
基礎看護学Ⅰ
基礎看護学実習Ⅰ
看護心理学
看護の統合と実践Ⅰ

【第2学年】
2020年度時間割（看護学専攻：第2学年）
生理学
生化学
薬理学Ⅰ
薬理学Ⅱ
病理学
栄養学
病態学
Global Nursing Communication Ⅰ
専門基礎合同演習
医療情報学
保健医療福祉制度論
Learning Medical English
実践看護英語Ⅰ
国際保健福祉B
基礎看護学Ⅱ
基礎看護学Ⅲ
基礎看護学演習Ⅰ
基礎看護学演習Ⅱ
基礎看護学実習Ⅱ
成人看護学Ⅰ
成人看護学Ⅱ
精神看護学
看護心理学
小児看護学Ⅰ
小児看護学演習Ⅰ
地域保健看護学Ⅰ
在宅看護学Ⅰ

【第3学年】
2020年度時間割（看護学専攻：第3学年）
疫学
Global Nursing CommunicationⅡ
卒業論文Ⅰ
Learning Medical English
実践看護英語Ⅱ
国際保健福祉C
成人看護学Ⅲ
成人看護学演習
成人看護学実習
地域精神看護学
精神看護学演習
精神看護学実習
小児看護学Ⅱ
小児看護学演習Ⅱ
小児看護学実習
母性看護学Ⅰ
母性看護学Ⅱ
母性看護学Ⅲ
母性看護学演習
母性看護学実習
老年看護学
老年看護学演習
リハビリテーション看護学
老年看護学実習
地域保健看護学Ⅱ
在宅看護学Ⅱ
在宅看護学演習
在宅看護学実習

【第4学年】

2020年度時間割（看護学専攻：第4学年）

012058　保健統計学
012059A 国際保健看護学
012060　産業保健学
012061　健康教育学演習
012062　卒業論文Ⅱ
012081　Learning Medical English
012088　実践看護英語Ⅲ
012084　国際保健福祉D
012077　地域保健看護学Ⅲ
012078　地域保健看護学演習
012079　地域保健看護学実習
012067A 緩和ケア看護学Ⅰ
012067B 緩和ケア看護学Ⅱ
012068　看護の統合と実践Ⅱ
012070　看護の統合と実践実習
012091　総合実習Ⅰ
012092　総合実習Ⅱ

【学生周知事項】

学生周知事項
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）
諸様式

【講義室一覧】

講義室等一覧

【参　考】

東京医科歯科大学学則
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ
東京医科歯科大学医学部履修規則・進級要件、履修規則内規
保健衛生学科（看護学専攻）教育課程
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項
看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項
医学部保健衛生学科レポート書式（見本）

２０２０年度授業計画表《看護学専攻》

第２学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１４週	２０２０年　４月　６日(月)～ ７月１０日(金)
前期試験	３週	２０２０年 ７月１３日(月)～ ７月２７日(月)
夏季休業		２０２０年　７月２８日(火)～　９月　２日（水）
後期授業	１６週	２０２０年　９月　３日（木）～１２月１８日(金)
冬季休業		２０２０年１２月２１日(月) ～２０２０年 １月 ５日(火)
後期授業	１週	２０２１年　１月　６日（水）～　１月８日（金）
後期試験	２週	２０２１年　１月１２日（火）～　１月２２日（金）
補講・再試期間	２週	２０２１年　１月２５日(月)～　２月　５日(金)
春季休業		２０２１年　２月　８日(月)～

第３学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１４週	２０２０年　４月 ７日(火)～ ７月８日(水)
前期試験	２週	２０２０年　７月９日(木)～ ７月１７日(金)
前期授業（指定）	１週	２０２０年　７月２０日(月)～　７月２１日(火) ※保育園実習（期日指定）
夏季休業		２０２０年　７月２７日(月)～　９月１１日（金）
後期授業	１５週	２０２０年　９月１４日（月）～１２月１８日(金)
冬季休業		２０２０年１２月２２日(火) ～２０２０年 １月 ５日(火)
後期授業	６週	２０２１年　１月　６日(水）～　２月 １２日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２１年　２月１５日(月)～

第４学年		
区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１２週	２０２０年　４月 ６日(月)～ ６月２２日(月)
前期試験	１週	２０２０年　６月２３日(火）～　６月２６日(金)
前期授業	４週	２０２０年　６月３０日(火)～　７月２１日（火） ※看護の統合と実践実習ⅠⅡ
夏季休業		２０２０年　７月２７日(月)～　９月 ４日（金）
後期授業	１５週	２０２０年　９月　７日(月)　～１２月１８日(金)
冬季休業		２０２０年１２月２１日(月) ～２０２１年 １月 ３日(日)
後期授業	３週	２０２１年　１月　４日（月）～　１月２２日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２１年　１月２５日(月)～

【行事】

２０２０年　４月　２日（木）ガイダンス（２学年）

２０２０年　４月　６日（月）入学式

２０２０年　５月　９日（土）【未定】体育祭

※オープンキャンパス開催未定

２０２０年１０月１２日（月）創立記念日

２０２０年１０月１７日（土）～１８日（日）お茶の水祭

２０２０年１０月２２日（木）解剖体追悼式 Ｎ２，ＭＴ２（築地本願寺）

２０２１年　３月２５日（木）卒業式

保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について

（看護学専攻教育課程）

○　看護学専攻では、平成 28 年度入学者からは、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修を、選択制にすることといたしました。

　このことにより、保健師の資格取得を希望する学生は、所定の科目を履修し、その単位を修得した場合に、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できることとなります。

参照：保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格取得を選択する場合と、
看護師国家試験受験資格取得の場合の科目

保健師を選択する者

科目	単位	区分	
①地域保健看護学Ⅲ	2	選択科目	6単位
②地域保健看護学演習	1	選択科目	
③地域保健看護学実習	3	選択科目	
④国際保健看護学	2	必修科目	3単位
⑤緩和ケア看護学Ⅰ	1	必修科目	

9 単位

保健師を選択しない者

科目	単位	区分	
⑥総合実習Ⅰ	2	選択科目	3単位
⑦総合実習Ⅱ	1	選択科目	
④国際保健看護学	2	必修科目	3単位
⑤緩和ケア看護学Ⅰ	1	必修科目	
⑧緩和ケア看護学Ⅱ※	1	選択科目	1単位
⑨リハビリテーション看護学※	1	選択科目	
⑩看護心理学　※	1	選択科目	

※は３科目の中から１科目選択

7単位

第 1 学年

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
3/30	月										
31	火										
4/1	水										
2	木										
3	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/6	月	※学部入学式									
7	火										
8	水										
9	木										
10	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月										
14	火					基礎看護学Ⅰ(1)	2				
15	水										
16	木										
17	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月										
21	火					基礎看護学Ⅰ(2)	4	基礎看護学Ⅰ(3)	4		
22	水										
23	木										
24	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月										
28	火					基礎看護学Ⅰ(4)	4	基礎看護学Ⅰ(5)	4		
29	水	昭和の日									
30	木										
5/1	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木										
8	金										

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月										
12	火					基礎看護学Ⅰ(6)	4	基礎看護学Ⅰ(7)	4	基礎看護学Ⅰ(8)	4
13	水										
14	木										
15	金										

		8:50～10:20	講義室		講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月										
19	火			健康診断(予定)		基礎看護学実習Ⅰ(1)	4	教育総合講座	鈴木章夫記念講堂	教育総合講座	鈴木章夫記念講堂
20	水										
21	木										
22	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
5/25	月										
26	火										
27	水										
28	木										
29	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
6/1	月										
2	火										
3	水										
4	木										
5	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
6/8	月										
9	火										
10	水										
11	木										
12	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
6/15	月										
16	火										
17	水										
18	木										
19	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
6/22	月										
23	火										
24	水										
25	木										
26	金										

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
6/29	月										
30	火										
7/1	水										
2	木										
3	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
7/6	月										
7	火										
8	水										
9	木										
10	金										

			講義室		講義室		講義室				講義室
7/13	月										
14	火										
15	水										
16	木										
17	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
7/20	月										
21	火										
22	水										
23	木	海の日									
24	金	スポーツ日									

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
7/27	月										
28	火										
29	水										
30	木	オープンキャンパス(予定)									
31	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
8/3	月										
4	火										
5	水										
6	木										
7	金										

			講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
8/10	月	山の日									
11	火										
12	水										
13	木										
14	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
8/17	月	基礎看護学実習Ⅰ(2～21)【医学部附属病院・3号館18階保健衛生学講義室1、3号館17階看護学実習室1・2】									
18	火										
19	水										
20	木										
21	金	基礎看護学実習Ⅰ(22)	(18F)講義室1 (17F)実習室1,2	基礎看護学実習Ⅰ(23)	(18F)講義室1 (17F)実習室1,2	基礎看護学実習Ⅰ(24)	(18F)講義室1 (17F)実習室1,2	基礎看護学実習Ⅰ(25)	(18F)講義室1 (17F)実習室1,2	基礎看護学実習Ⅰ(26)	(18F)講義室1 (17F)実習室1,2

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

(後期)

9/14	月										
15	火										
16	水										
17	木										
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	秋分の日									
23	水										
24	木										
25	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月										
29	火	微生物学(1)	1	解剖学(1)	1	解剖学(2)	1	解剖学(3)	1	〔選〕看護心理学(1)	2
30	水										
10/1	木										
2	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月										
6	火	微生物学(2)	共 用 2	解剖学(4)	共 用 2	解剖学(5)	共 用 2	解剖学(6)	共 用 2	〔選〕看護心理学(2)	2
7	水										
8	木										
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	創立記念行事									
13	火	微生物学(3)	共 用 2	解剖学(7)	共 用 2	解剖学(8)	共 用 2	解剖学(9)	共 用 2	〔選〕看護心理学(3)	2
14	水									海外研修報告会(湯島) ※希望者のみ	1
15	木										
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月										
20	火	微生物学(4)	共 用 2	解剖学(10)	共 用 2	解剖学(11)	共 用 2	解剖学(12)	共 用 2	〔選〕看護心理学(4)	2
21	水										
22	木										
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月										
27	火	微生物学(5)	共 用 2	解剖学(13)	共 用 2	解剖学(14)	共 用 2	解剖学(15)	共 用 2	〔選〕看護心理学(5)	4
28	水										
29	木										
30	金										

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月										
3	火	文化の日									
4	水										
5	木										
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月										
10	火	微生物学(6)	共 用 2	解剖学(16)	共 用 2	解剖学(17)	共 用 2	解剖学(18)	共 用 2	〔選〕看護心理学(6)	2
11	水										
12	木										
13	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月										
17	火	微生物学(7)	共 用 2	解剖学(19)	共 用 2	解剖学(20)	共 用 2	解剖学(21)	共 用 2	〔選〕看護心理学(7)	2
18	水										
19	木										
20	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火										
25	水										
26	木										
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月										
12/1	火	微生物学(8)	共 用 2	解剖学(22)	共 用 2	解剖学(23)	共 用 2	解剖学(24)	共 用 2		
2	水										
3	木										
4	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月										
8	火					看護の統合と実践Ⅰ(1)	2	看護の統合と実践Ⅰ(2)	情報検索室	〔選〕看護心理学(8)	4
9	水										
10	木										
11	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月										
15	火					看護の統合と実践Ⅰ(3)	2	看護の統合と実践Ⅰ(4)	情報検索室		
16	水										
17	木										
18	金										

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										
22	火					看護の統合と実践Ⅰ(5)	2	看護の統合と実践Ⅰ(6)	2	看護の統合と実践Ⅰ(7)	2
23	水										
24	木										
25	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火					看護の統合と実践Ⅰ(8)	2	看護の統合と実践Ⅰ(9)	2		
6	水										
7	木										
8	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火					看護の統合と実践Ⅰ(10)	2	看護の統合と実践Ⅰ(11)	2		
13	水										
14	木										
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/18	月										
19	火					看護の統合と実践Ⅰ(12)	2	看護の統合と実践Ⅰ(13)	2	看護の統合と実践Ⅰ(14)	2
20	水										
21	木										
22	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/25	月										
26	火					看護の統合と実践Ⅰ(15)	2	看護の統合と実践Ⅰ(16)	2		
27	水										
28	木										
29	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/1	月										
2	火	定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)	
3	水										
4	木										
5	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/8	月										
9	火	定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)	
10	水										
11	木	建国記念の日									
12	金										

2020年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

2020.4.1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/15	月										
16	火	定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)		定期試験候補日(湯島)	
17	水										
18	木										
19	金										

時間割番号	012005A				
科目名	解剖学			科目ID	MN-130500-L
担当教員	星　治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Anatomy

【科目責任者】星治

主な講義場所

共用講義室 2

授業の目的、概要等

解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で，医学の最も基礎的な領域である。

授業の到達目標

からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について，基本的な構造を理解することを目標とする。さらに，看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく，実物観察により理解を深めることも重視する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	解剖学総論Ⅰ	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、	星　治
2	9/29	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 1	解剖学総論Ⅱ	細胞と組織、人体の方向用語	星　治
3	9/29	14:30-16:00	保健衛生学科講義室 1	骨格系Ⅰ	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋	藤代　瞳
4	10/6	10:30-12:00	共用講義室 2	骨格系Ⅱ	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	藤代　瞳
5	10/6	12:50-14:20	共用講義室 2	筋系Ⅰ	筋の形態と構造、頭部の筋	星　治
6	10/6	14:30-16:00	共用講義室 2	筋系Ⅱ	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星　治
7	10/13	10:30-12:00	共用講義室 2	呼吸器系	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺	星　治
8	10/13	12:50-14:20	共用講義室 2	泌尿器系Ⅰ	腎臓	星　治
9	10/13	14:30-16:00	共用講義室 2	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	原田　理代
10	10/20	10:30-12:00	共用講義室 2	泌尿器系Ⅱ	尿管、膀胱、尿道	星　治
11	10/20	12:50-14:20	共用講義室 2	神経系Ⅰ	神経系の構成	阪上　洋行
12	10/20	14:30-16:00	共用講義室 2	神経系Ⅱ	中枢神経系・末梢神経系	阪上　洋行
13	10/27	10:30-12:00	共用講義室 2	神経系Ⅲ	脳室と脳脊髄膜など	星　治
14	10/27	12:50-14:20	共用講義室 2	循環器系Ⅰ	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系	星　治
15	10/27	14:30-16:00	共用講義室 2	循環器系Ⅱ	心臓の構造、刺激伝導系	佐藤　昇
16	11/10	10:30-12:00	共用講義室 2	循環器系Ⅲ	血管の構造	星　治
17	11/10	12:50-14:20	共用講義室 2	消化器系Ⅰ	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃	星　治
18	11/17	10:30-12:00	共用講義室 2	消化器系Ⅱ	小腸、大腸	星　治
19	11/17	12:50-14:20	共用講義室 2	生殖器系（男性、女性）	精巣と精巣上体、精管など.　卵巣、卵管、子宮など	秋田　恵一
20	11/17	14:30-16:00	共用講義室 2	内分泌系	内分泌器官	秋田　恵一
21	12/1	10:30-12:00	共用講義室 2	消化器系Ⅲ	肝臓、胆嚢、膵臓	星　治
22	12/1	12:50-14:20	共用講義室 2	感覚器系Ⅰ	眼球とその付属器	藤代　瞳
23	12/1	14:30-16:00	共用講義室 2	感覚器系Ⅱ	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	藤代　瞳

授業内容

人体を各系統に分け，それらを構成する各器官の形態と構造について講義し，基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績（10%）、学期末筆記試験の成績（90%）により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書 解剖学／秋田恵一，星治 著,秋田，恵一,1962-,星，治,:医歯薬出版，2019
参考書 藤田恒夫:入門人体解剖学　南江堂 牛木辰男:入門組織学　南江堂
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには，からだの構造の基本的な知識が必要である。このため，解剖学は他の多くの科目と関連している。特に，生理学，病理学，病態学とは密接な関連がある。
履修上の注意事項 時間数が限られているので，予習，復習することが必要である。
連絡先（メールアドレス） 星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012012A				
科目名	微生物学			科目ID	MN-130600-L
担当教員	齋藤　良一[SAITO RYOICHI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Medical　microbiology

【科目責任者】齋藤　良一

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）、共用講義室2（M＆D タワー2階）

授業の目的、概要等

感染症の原因である微生物および微生物とその宿主（特に人間）との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。

授業の到達目標

学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。

・1～3 回目：微生物の構造や細菌の代謝、遺伝を説明できる

・4 回目：微生物の消毒や滅菌方法について説明できる

・5 回目：微生物の病原因子，宿主の感染防御機構について説明できる

・6 回目：感染症治療やその予防、制御について説明できる

・7～8 回目：医学微生物学の領域で問題となる病原微生物について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	微生物学総論（1）	微生物学の概念と歴史，微生物細胞の形態と構造	齋藤　良一
2	10/6	08:50-10:20	共用講義室 2	微生物学総論（2）	微生物の分類・命名，細菌の代謝，細菌の培養	齋藤　良一
3	10/13	08:50-10:20	共用講義室 2	微生物学総論（3）	細菌の増殖・生残・死滅，滅菌と消毒	齋藤　良一
4	10/20	08:50-10:20	共用講義室 2	微生物学総論（4）	微生物の遺伝，環境と微生物	齋藤　良一
5	10/27	08:50-10:20	共用講義室 2	感染制御、化学療法	化学療法，感染症の予防とコントロール	貫井　陽子
6	11/10	08:50-10:20	共用講義室 2	微生物と免疫	免疫，微生物の病原因子，宿主の感染に対する抵抗性	齋藤　良一
7	11/17	08:50-10:20	共用講義室 2	感染症学総論（1）	主な病原微生物（ウイルス）と感染症	齋藤　良一
8	12/1	08:50-10:20	共用講義室 2	感染症学総論（2）	主な病原微生物（細菌と真菌）と感染症	齋藤　良一

授業内容

医学微生物学全般（細菌学，ウイルス学，真菌学，免疫学）にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、定期試験により総括的評価を行う。定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

講義内容について予め教科書等で予習すること。

教科書

微生物学／吉田眞一,他 [著],：医学書院，2018

他科目との関連

生化学，病理学，公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。

履修上の注意事項

微生物学の範囲は広く，講義時間数は限られているので，講義内容の復習，講義で詳しくふれなかった事項も個人学習すること。

連絡先（メールアドレス）

齋藤　良一:r-saito.mi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤　良一:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012090				
科目名	国際保健福祉 A			科目 ID	MN-190700-Z
担当教員	緒方　泰子[OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare A

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方泰子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）　　等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に　日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告書を作成すると共に、海外研修報告会において適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	緒方　泰子
2	10/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方　泰子

授業方法

事前研修の参加、海外研修、海外研修報告会

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

- 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
- グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること
- 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
- 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット 主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。 参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。 海外研修への参加と積極的な活動、10 月 17 日(水)5 限目実施予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。
他科目との関連 国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学
履修上の注意事項 ・ 4 月 11 日(水)13:00～14:10 の 1 年次保健衛生学科海外研修ガイダンス（3 号館 18 階　保健衛生学講義室 1）に参加すること　・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと　・ Global Communication Workshop （GCW）へ参加していることが必須である　・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと　・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること
備考 本科目履修後のお願い ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること 　保健衛生学科　海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス　他 ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
連絡先（メールアドレス） 緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012003				
科目名	基礎看護学Ⅰ			科目ID	MN-130200-L
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, SUZUKI NODOKA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Fundamental　Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木　聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

基礎看護学では看護学専門科目に共通する知識と技術を学ぶ。基礎看護学Ⅰは，看護学概論として，看護の本質となる「看護」「健康」「人間」「環境」の概念を理解し，看護の機能と役割，対象の全人的理解のための基礎的知識を養う。

授業の到達目標

1回　看護学を学ぶための個々の目標を明確にできる。家族の看護と専門職者の看護の違いが分かる。

2回　看護の定義が分かる。看護の対象と目的および看護の独自の機能が分かる。

3回　看護の歴史の概要が分かる。ナイチンゲールの看護覚え書が生まれた背景が分かる。日本の看護の歴史と近代看護に影響を与えた諸外国の看護の歴史が分かる。

4回　看護の法的位置づけが分かる。看護実践の特徴が分かる。

5回　看護理論とは何かが分かる。看護実践の基盤となる教養科目との関連が分かる。看護理論と背景、理論の分類が分かる。

6回　生命倫理と看護師の倫理綱領について理解する。専門家と専門職業人の違いが分かる。社会から期待される看護の活動について理解する。

7回　技術とは何かが分かる。看護技術の構成要素が分かる。看護技術の種類が分かる。

8回　保健医療チームの中での看護の役割と連携について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/12	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	オリエンテーション	看護と看護学	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
2	5/12	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護の概念	看護の概念と対象理解	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
3	5/26	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の歴史的変遷	看護の歴史と今後の展開	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
4	5/26	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の機能と役割	法的位置づけと看護実践の特徴	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
5	6/2	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護理論	看護の諸理論	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
6	6/2	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護倫理	倫理と専門職としての看護	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
7	6/9	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護技術	看護技術の定義、看護技術の定義と構成する要素と内容	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
8	6/9	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	保健医療の概念	保健医療の概念と看護活動・看護の実践の場	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか

授業方法

授業内容は学びの進度によって変更する場合がある。

ディスカッションを交えて進めていくため、積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加姿勢、事後レポート、課題レポートにより総合的に評価する。

成績評価の基準

評価の配分は、出席状況20%、課題レポート80%とする。

準備学習等についての具体的な指示

該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。毎回講義後に関連したミニレポートを書いてもらうので、理解できなかった事柄は自分で調べ、解決しておくこと。調べても解決できなかった事は、何がわからなかったのかを明確にして、次回授業内に設ける質問時間内に質問してください。

教科書

看護学原論改訂第2版 : 看護の本質的理解と創造性を育むために／高橋照子 編,:南江堂, 2016

看護の基本となるもの／ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯槙ます, 小玉香津子 訳,:日本看護協会出版会, 2016

看護覚え書 : 看護であること看護でないこと／フロレンス・ナイチンゲール [著],湯槙ます, 薄井坦子, 小玉香津子, 田村眞, 小南吉彦訳,Nightingale, Florence, 1820-1910,湯槙, ます, 1904-1991,薄井, 坦子, 1932-,小玉, 香津子, 1936-,:現代社, 2011

参考書

看護倫理 : よい看護・よい看護師への道しるべ／小西恵美子 編集,小西, 恵美子, 1939-,:南江堂, 2014

ケアの本質 : 生きることの意味／ミルトン・メイヤロフ 著,田村真 訳,向野宣之 訳,ミルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,:ゆみる出版, 2008

オレム看護論 : 看護実践における基本概念／ドロセア・E.オレム 著,小野寺杜紀 訳,Orem, Dorothea Elizabeth, 1914-2007,小野寺, 杜紀,:医学書院, 2005

看護論 : 初心者から達人へ／パトリシア・ベナー 著 ; 井部俊子 監訳 ; 井部俊子〔ほか〕訳,パトリシア・ベナー,井部, 俊子,井部, 俊子,:医学書院, 2005

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

看護学の独自性や看護の専門機能を理解するために, 学習の基礎となる教養の自然科学系, 社会学系の科目, 特に人間科学, 社会学, 心理学, 哲学などの学習が望ましい。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために, 柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験, 社会体験を踏まえ, 幅広い分野の書物に触れ, 社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012001				
科目名	基礎看護学実習Ⅰ			科目ID	MN-170100-E
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, SUZUKI NODOKA]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Eaely　Exposure　Practice

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）、看護実習室1・2・3・4（3号館17階）、医学部附属病院

授業の目的、概要等

専門科目の学習の初期において，医療の現場を知り，健康障害をもった人々と直接関わることを通して，看護の機能と役割を理解する。また，本実習を通して，今後の学習への動機づけとする。

授業の到達目標

1）大学病院の概要と機能について知る。
2）医学部，および歯学部附属病院の理念と病院組織の概要を知る。
3）看護部の理念と基本方針を知る。
4）病院の機能からみた構造上の特徴と，病院内での各部門の配置を知る。
5）療養環境としての病棟・病室環境の特徴を知る。
6）看護活動の場と看護の実際を知る。
7）入院患者の特徴を知る。
8）専門職の役割・連携を知る。
9）学生間で体験を共有する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	基礎看護学実習Ⅰ	実習オリエンテーション	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
2-6	8/17	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
7-11	8/18	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
12-16	8/19	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
17-21	8/20	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか
22-26	8/21	08:50-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 鈴木　のどか

授業方法

〔実習期間〕

5月19日（火）

8月17日（月）～21日（金）

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法 1）単位認定は、実習期間の3/4以上の出席をもって行う。 2）実習時間の 60%以上の時間を参加することで、出席とする。 3）遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とする。
成績評価の基準 実習記録、グループ発表資料、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。
準備学習等についての具体的な指示 基礎看護学Ⅰの講義内容を復習の上、実習に臨むこと。また、病院は医療の場であるため、看護学を学ぶ学生としての節度ある態度で実習に臨むこと。
他科目との関連 基礎看護学Ⅰで学んだ病院の理念や組織の概要、看護部の理念、目標、組織、看護体制などをよく復習しておく。
履修上の注意事項 1）時間を厳守し、実習生に相応しい身だしなみを整えて、実習に臨むこと。　2）実習の場は医療の現場なので態度・言葉遣いなどにも注意すること。
備考 1）実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しない。 2）SNS を通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。
連絡先（メールアドレス） 柏木　聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
オフィスアワー 柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012002				
科目名	看護心理学			科目ID	MN-290100-L
担当教員	高野　歩, 栗林　一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1～2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Nursing　psychology

【科目責任者】高野　歩

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な知識、技術を築くため、心のしくみと働きについて理解を深める。自分自身の心と身体を通して心身の健康およびストレスマネジメントについて学修し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。体験記や体験の語りから対象への共感性を高め、対象の心理を理解しながら行う支援についての基本的な考え方を身につける。

授業の到達目標

1 回目：人格診断、心理測定、自己分析の方法を自分自身に適用し、心のしくみと心の健康について理解を深めることができる。

2 回目：心と人格の発達について、理解を深め考えることができる。

3 回目：心の健康・身体の健康はつながっていることについて理解を深め、自身のストレスについて考えることができる。

4 回目：呼吸法や瞑想法を実際に体験することにより、ストレス対処の方法について理解を深めることができる。

5～7 回目：病気という体験やトラウマについて、当事者やその家族・支援者から体験談を聴き、語り合うことによって、当事者や家族の気持ちに寄り添い共感できる感性を培い、またセルフ・ヘルプグループやピアサポートの実際について知ることができ、病気の回復との関連について考えることができる。

8 回目：心の健康の維持と支援について理解を深めることができ、これまでの講義から看護心理学について考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心のしくみと心の健康	心のしくみと働き、心の健康とは、人格の構造、人格と精神状態の評価方法(心理測定法)、人間と環境との相互作用(応答的な環境)、対人関係とコミュニケーション	高野　歩, 栗林　一人
2	10/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心と人格の発達	エリクソンの発達図式、母子相互作用と乳幼児期の発達、青年期の挫折とアイデンティティ形成、中高年の危機と生涯発達	高野　歩, 栗林　一人
3	10/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心の健康・身体の健康	病気や障害のもたらす心の働きと理論、心の健康と身体の健康、心理的ストレスの発生、ストレスとコーピング	高野　歩, 栗林　一人
4	10/20	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	ストレス・マネジメント、心の健康への支援	代替療法と統合医療、マインドフルネスの概念、リラクセーション技法(呼吸法、ストレス低減法)	高野　歩, 栗林　一人
5	10/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	体験としての病(1)	がんに罹患した人々とその家族への支援	山﨑　智子, 高野　歩, 栗林　一人
6	11/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	体験としての病(2)	病気という体験① 病気を抱えること、「いのち」、セルフ・ヘルプグループ	井上　千恵美, 高野　歩, 栗林　一人
7	11/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	体験としての病(3)	病気という体験② がん患者とその家族を中心に、病気の受容、病と共に生きるということ	澁谷　裕, 高野　歩, 栗林　一人
8	12/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	心の健康の維持と支援	援助関係の発展、感性の育成	高野　歩, 栗林　一人

授業方法

講義、演習

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、課題レポートにより評価する。

成績評価の基準

60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読む、体験談を聞く等対象者の心理に関心をよせることを心がける。

対象の苦痛や苦悩等の体験を理解して支援する姿勢をもって臨んで欲しい。

自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

（＊講義中にも提示する）

日本精神科看護技術協会監修「改定 精神看護学」中央法規出版、2006

宮本真巳「感性を磨く技法2 異和感と援助者アイデンティティ」日本看護協会出版会、1996

宮本真巳「感性を磨く技法3 セルフケアを援助する」日本看護協会出版会、1996

服部祥子「生涯人間発達論」医学書院、2000

リチャード・ラザルス（本明寛他訳）「ストレスの心理学」実務教育出版、1991

E.H.エリクソン（西平直他訳）「アイデンティティとライフサイクル」誠信書房 、2011

ダニエル・ゴールマン（土屋京子訳）「EQ－こころの知能指数」講談社、1995

D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「赤ちゃんはなぜなくの ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（上）」星和書店、1985

D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「子どもはなぜあそぶの 続・ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（下）」星和書店、1986

他科目との関連

基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の看護心理学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先（メールアドレス）

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2）。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学研究室 2）

時間割番号	012004				
科目名	看護の統合と実践Ⅰ			科目ID	MN-130300-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, HIROYAMA NATSUKO]				
開講時期	2020年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Integration of Acquaintance for Nursing Practice Ⅰ

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

3号館8階 保健衛生学科講義室2

※12月8日4限、12月15日4限はM&Dタワー4階 情報検索室

授業の目的、概要等

本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について学生自らが考え、看護観を育み、短期的、長期的な自身の学修およびキャリアプランについて検討することを目的とする。そのため、看護職としての実践経験やキャリアパスについて、ロールモデルとなりうる多様な領域で活躍する看護職や協働する他職種から講義を受けるとともに、その内容に基づいて学生主体の積極的なディスカッションを行う。また、情報検索の方法を学び、関心のある看護トピックスについて情報を収集・統合し、プレゼンテーション、ディスカッションを通して理解を深める。

授業の到達目標

1）多様な看護職、医療職としての実践例やキャリアパスを知り、看護の仕事の責務と発展性について考え、ディスカッションで積極的に意見を述べ、レスポンスシートに考えを記述することができる。

2）看護実践および看護学の発展のために必要な情報の検索・統合の方法を身につけ、テーマに基づいて実施し、まとめたことを発表し、ディスカッションを通してさらに理解を深めることができる。

3）専門職として質の高い看護実践を行うために必要な知識・技術・態度について考え、看護とは何かを探究することができ、レポートとして適切にまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/8	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	オリエンテーション 看護職の専門性	オリエンテーション ／ 看護職が活動するさまざまな場所	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
2	12/8	14:30-16:00	情報検索室	アカデミックライティング	看護学における資料・文献の探し方①～医中誌	澁川 穂積
3	12/15	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	アカデミックライティング	1）大学で学ぶこと ／ 2）グループワークA（問いの設定）	今津 陽子, 廣山 奈津子
4	12/15	14:30-16:00	情報検索室	アカデミックライティング	看護学における資料・文献の探し方②～PubMed	澁川 穂積
5	12/22	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護職の専門性	看護職として働くこと① ：小児看護師、助産師	佐々木 吉子, 廣山 奈津子, 今津 陽子
6	12/22	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護職の専門性	看護職として働くこと② ：保健師、訪問看護師	佐々木 吉子, 廣山 奈津子, 今津 陽子
7	12/22	16:10-17:40	保健衛生学科講義室2	アカデミックライティング	グループワークB（発表内容の検討）	今津 陽子, 廣山 奈津子
8	1/5	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護職の専門性	継続学習とキャリア ／ 看護ケアのマネジメント①	佐々木 吉子, 廣山 奈津子, 今津 陽子
9	1/5	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護職の専門性	看護ケアのマネジメント② ／ 看護ケアのマネジメント③	佐々木 吉子, 廣山 奈津子, 今津 陽子
10	1/12	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	グローバルヘルスと多職種連携	1)多職種連携 ／ 2)災害看護	佐々木 吉子, 廣山 奈津子
11	1/12	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	アカデミックライティング	グループワークC（発表資料作成）	今津 陽子, 廣山 奈津子

12	1/19	12:50-14:20	保健衛生学科講義室２	グローバルヘルスと多職種連携	米国の看護学生・看護師のキャリア（注　英語による講義）	Janelle Renee Moross
13	1/19	14:30-16:00	保健衛生学科講義室２	グローバルヘルスと多職種連携	医療職として国際機関で働くこと	田中　雅彦
14	1/19	16:20-17:50	保健衛生学科講義室２	アカデミックライティング	グループワークＤ（発表準備）	今津　陽子, 廣山　奈津子
15-16	1/26	12:50-16:00	保健衛生学科講義室２	アカデミックライティング	プレゼンテーション	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子

授業方法

講義、文献検索、グループディスカッション、プレゼンテーション

成績評価の方法

事前課題・レスポンスシート(20%)、参加姿勢（20%）、プレゼンテーション（20%）、最終レポート（40%）により評価する予定である。

成績評価の基準

初回講義時にルーブリックを提示する。

準備学習等についての具体的な指示

一部の単元では準備学習を必要とする。事前に連絡を行うため、確認すること。

参考書

看護管理学 : 自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル／手島恵, 藤本幸三 編集：南江堂, 2018

看護師のためのWeb検索・文献検索入門／佐藤淑子,和田佳代子 編著：医学書院, 2013

他科目との関連

「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けられていくことが望ましい。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。　講義資料は WebClass にて講義日前日の正午までには公開するので、講義までに各自で準備しておくこと。　一部の単元では双方向システムを使用するため、タブレット端末や PC を所持している学生は持参すること。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.10：00-PM.5：00 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津　陽子:平日　AM.10：00-PM.5：00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

廣山　奈津子:平日　AM10:00 -PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

第２学年

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
3/30	月										
31	火										
4/1	水										
2	木					13:45～学年ガイダンス(3号館18階　保健衛生学講義室1) 終了後専攻別ガイダンス(3号館8階　保健衛生学講義室2)					
3	金										

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/6	月					【合】生化学(1)	1	【合】生化学(2)	1		
7	火					地域保健看護学Ⅰ(1)	1	地域保健看護学Ⅰ(2)	1		
8	水					Global Nursing Communication Ⅰ(1)	①4②セミナー室10③セミナー室12			【合】病理学(1)	1
9	木	【合】病理学(2)	1			Global Nursing Communication Ⅰ(2)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
10	金			【合】生化学(3)	1	基礎看護学Ⅱ(1)	4	基礎看護学Ⅱ(2)	4		

	②	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月	【合】病理学(3)	共用2	【合】生化学(4)	共用2	【合】生化学(5)	共用2			〔自〕実践看護英語Ⅰ(1)	2
14	火										
15	水	〔自〕実践看護英語Ⅰ(2)	2	【合】病理学(4)	共用2	Global Nursing Communication Ⅰ(3)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
16	木					基礎看護学Ⅱ(3)	4	基礎看護学Ⅱ(4)	4		
17	金	【合】生化学(6)	1	成人看護学Ⅰ(1)	4	基礎看護学Ⅱ(5)	4				

	③	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月	【合】病理学(5)	共 用 2	【合】生化学(7)	共用2	【合】生化学(8)	共用2				
21	火			成人看護学Ⅰ(2)	4	地域保健看護学Ⅰ(3)	1	地域保健看護学Ⅰ(4)	1		
22	水	〔自〕実践看護英語Ⅰ(3)	2	【合】病理学(6)	1	Global Nursing Communication Ⅰ(4)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
23	木	【合】病理学(7)	1			基礎看護学Ⅲ(1)	4	基礎看護学Ⅲ(2)	4		
24	金	【合】生化学(9)	1	成人看護学Ⅰ(3)	4	基礎看護学演習Ⅰ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(2)	4		

	④	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月			【合同】病態学(1)	共用2	【合】生化学(10)	共用2	【合】生化学(11)	共用2		
28	火										
29	水	昭和の日									
30	木	【合】病理学(8)	共 用 2								
5/1	金	【合】生化学(12)	1	成人看護学Ⅰ(4)	4	Global Nursing Communication Ⅰ(5)	①4②セミナー室10③セミナー室12	~~Global Nursing Communication Ⅰ(6) TOEFL/ITP~~	延期	~~Global Nursing Communication Ⅰ(7) TOEFL/ITP~~	延期

	⑤	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木	【合】生理学(1)	共 用 2	【合】生理学(2)	共 用 2	基礎看護学演習Ⅰ(3)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(4)	4 実習室1～4		
8	金	【合】生化学(13)	1	成人看護学Ⅰ(5)	4	基礎看護学演習Ⅰ(5)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(6)	4 実習室1～4	〔自〕実践看護英語Ⅰ(4)	2

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

	⑥	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月										
12	火					地域保健看護学Ⅰ(5)	2	地域保健看護学Ⅰ(6)	2		
13	水	【合】生化学(14)	1	【合】生化学(15)	1	Global Nursing Communication Ⅰ(8)	①4②セミナー室10③セミナー室12			〔自〕実践看護英語Ⅰ(5)	2
14	木	【合】生理学(3)	共 用 2	【合】生理学(4)	共 用 2	基礎看護学演習Ⅰ(7)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(8)	4 実習室1･3		
15	金			成人看護学Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(9)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(10)	4 実習室1～4		

	⑦	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月	【合】生理学(5)	共用2	【合同】病態学(2)	共用2	【合同】病態学(3)	共用2			〔自〕実践看護英語Ⅰ(6)	2
19	火					専門基礎合同演習(1)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(2)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(3)	7 F 実習室
20	水					Global Nursing Communication Ⅰ(9)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
21	木	【合】生理学(6)	共 用 2	【合】生理学(7)	共 用 2	基礎看護学演習Ⅰ(11)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(12)	4 実習室1～4		
22	金			成人看護学Ⅰ(7)	4	小児看護学Ⅰ(1)	4	小児看護学Ⅰ(2)	4		

	⑧	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月	【合】生理学(8)	共用2	【合】生理学(9)	共用2	【合同】病態学(4)	共用2				
26	火					地域保健看護学Ⅰ(7)	4	地域保健看護学Ⅰ(8)	4		
27	水	〔自〕実践看護英語Ⅰ(7)	2	病態学(5)	4	Global Nursing Communication Ⅰ(10)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
28	木	【合】生理学(10)	共 用 2	【合】生理学(11)	共 用 2	基礎看護学Ⅱ(6)	4	基礎看護学Ⅱ(7)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(13)	4 実習室1･3
29	金			成人看護学Ⅰ(8)	4	基礎看護学演習Ⅰ(14)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(15)	4 実習室1･3		

	⑨	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月	【合】生理学(12)	1	【合同】病態学(6)	1	【合同】病態学(7)	1				
2	火					専門基礎合同演習(4)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(5)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(6)	7 F 実習室
3	水	〔自〕実践看護英語Ⅰ(8)	2			Global Nursing Communication Ⅰ(11)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
4	木	【合】生理学(13)	共 用 2	【合】生理学(14)	共 用 2	基礎看護学演習Ⅰ(16)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(17)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(18)	4 実習室1･3
5	金			成人看護学Ⅰ(9)	4	小児看護学Ⅰ(3)	4	小児看護学Ⅰ(4)	4	小児看護学Ⅰ(5)	4

	⑩	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月			【合同】病態学(8)	1	病態学(9)	1				
9	火					専門基礎合同演習(7)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(8)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(9)	7 F 実習室
10	水	〔自〕実践看護英語Ⅰ(9)	2	病態学(10)	4	Global Nursing Communication Ⅰ(12)	①4②セミナー室10③セミナー室6				
11	木	【合】生理学(15)	共 用 2	【合】生理学(16)	共 用 2	基礎看護学Ⅲ(3)	4	基礎看護学Ⅲ(4)	4	基礎看護学Ⅲ(5)	4
12	金	成人看護学Ⅰ(10)	4	成人看護学Ⅰ(11)	4	小児看護学Ⅰ(6)	4	小児看護学Ⅰ(7)	4	小児看護学Ⅰ(8)	4

	⑪	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月	成人看護学Ⅰ(12)	4	成人看護学Ⅰ(13)	4	【合】病態学(11)	1	【合】病態学(12)	1		
16	火					専門基礎合同演習(10)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(11)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(12)	7 F 実習室
17	水					Global Nursing Communication Ⅰ(13)	①4②セミナー室10③セミナー室12	病態学(13)	1	〔自〕実践看護英語Ⅰ(10)	2
18	木	病態学(14)	4			基礎看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅰ(19)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(20)	4 実習室1～4
19	金			【合同】病態学(15)	1	基礎看護学Ⅱ(9)	4	基礎看護学演習Ⅰ(21)	4 実習室1～4	基礎看護学演習Ⅰ(22)	4 実習室1～4

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

	⑫	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月			【合同】病態学(16)	1	専門基礎合同演習(13)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(14)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(15)	7 F 実習室
23	火	(基礎看護学演習Ⅰ(23)) 他職種連携教育 (M3,D3,N2)	鈴木章夫記念講堂	(基礎看護学演習Ⅰ(24)) 他職種連携教育 (M3,D3,N2)	鈴木章夫記念講堂	専門基礎合同演習(16)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(17)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(18)	7 F 実習室
24	水			病態学(17)	4	Global Nursing Communication Ⅰ(14)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
25	木			病態学(18)	4	基礎看護学Ⅲ(6)	4	基礎看護学Ⅲ(7)	4	基礎看護学Ⅲ(8)	4
26	金	成人看護学Ⅰ(14)	4	成人看護学Ⅰ(15)	4	基礎看護学Ⅱ(10)	4	基礎看護学演習Ⅰ(25)	4 実習室1･3	基礎看護学演習Ⅰ(26)	4 実習室1･3

	⑬	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月	病態学(19)	4	病態学(20)	4	基礎看護学演習Ⅰ(27)	実習室1	基礎看護学演習Ⅰ(28)	実習室1	基礎看護学演習Ⅰ(29)	実習室1
30	火	【合】生理学(17)	共用2	【合】生理学(18)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(30)	実習室1	基礎看護学演習Ⅰ(31)	実習室1	基礎看護学演習Ⅰ(32)	実習室1
7/1	水			【合】生理学(19)	共用2	Global Nursing Communication Ⅰ(15)	①4②セミナー室10③セミナー室12				
2	木	【合同】病態学(21)	1	【合同】病態学(22)	1						
3	金	基礎看護学演習Ⅰ(33)	4	基礎看護学演習Ⅰ(34)	4	基礎看護学演習Ⅰ(35)	4	基礎看護学演習Ⅰ(36)	4	基礎看護学演習Ⅰ(37)	4

	⑭	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/6	月	病態学(23)	4	病態学(24)	4						
7	火	【合】生理学(20)	共用2	【合】生理学(21)	共用2						
8	水	【合同】病態学(25)	1	Global Nursing Communication Ⅰ(16)	①4②セミナー室10③セミナー室6	Global Nursing Communication Ⅰ(17)	①4②セミナー室10③セミナー室6				
9	木	【合】生理学(22)	1			専門基礎合同演習(19)	4 7F実習室	専門基礎合同演習(20)	4 7F実習室	専門基礎合同演習(21)	4 7F実習室
10	金	【合】生理学(23)	1								

	①										
7/13	月	前期定期試験									
14	火	前期定期試験									
15	水	前期定期試験									
16	木	前期定期試験									
17	金	前期定期試験									

	②										
7/20	月	前期定期試験									
21	火	前期定期試験									
22	水	前期定期試験									
23	木	海の日									
24	金	スポーツ日									

	③										
7/27	月	前期定期試験									
28	火										
29	水										
30	木	オープンキャンパス(予定)									
31	金										

夏季休業　7/28(火)～

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

(後期)

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/3	木	基礎看護学実習Ⅱ									4
4	金	基礎看護学実習Ⅱ									4

	②	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/7	月	基礎看護学実習Ⅱ									4
8	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
9	水	基礎看護学実習Ⅱ									4
10	木	基礎看護学実習Ⅱ									4
11	金	基礎看護学実習Ⅱ									4

	③	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/14	月	基礎看護学実習Ⅱ									4
15	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
16	水	基礎看護学実習Ⅱ			4	基礎看護学Ⅲ(9)	4			〔自〕Learning Medical English(1)	セミナー室 4
17	木										
18	金										

	④	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	秋分の日									
23	水									〔自〕Learning Medical English(2)	セミナー室 4
24	木										
25	金										

	⑤	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月			在宅看護学Ⅰ(1)	4	病態学(26)	4				
29	火					小児看護学演習Ⅰ(1)	4	小児看護学演習Ⅰ(2)	4	〔選〕看護心理学(1)	2
30	水									〔自〕Learning Medical English(3)	セミナー室 4
10/1	木	栄養学(1)	4			精神看護学(1)	4	精神看護学(2)	4		
2	金	成人看護学Ⅱ(1)	4	成人看護学Ⅱ(2)	4	保健医療福祉制度論(1)	4	保健医療福祉制度論(2)	4		

	⑥	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月			在宅看護学Ⅰ(2)	4	病態学(27)	4				
6	火					小児看護学演習Ⅰ(3)	4	小児看護学演習Ⅰ(4)	4	〔選〕看護心理学(2)	2
7	水	薬理学Ⅰ(1)	1	薬理学Ⅰ(2)	1	病態学(28)	4			〔自〕Learning Medical English(4)	セミナー室 4
8	木	病態学(29)	4	病態学(30)	4	精神看護学(3)	4	精神看護学(4)	4		
9	金	成人看護学Ⅱ(3)	4	成人看護学Ⅱ(4)	4	保健医療福祉制度論(3)	4	保健医療福祉制度論(4)	4		

	⑦	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	創立記念行事									
13	火					小児看護学演習Ⅰ(5)	4	小児看護学演習Ⅰ(6)	4	〔選〕看護心理学(3)	2
14	水	薬理学Ⅰ(3)	1	薬理学Ⅰ(4)	1					海外研修報告会	1
15	木	栄養学(2)	4			病態学(31)	4	精神看護学(5)	4	精神看護学(6)	4
16	金	成人看護学Ⅱ(5)	4	成人看護学Ⅱ(6)	4	保健医療福祉制度論(5)	4	保健医療福祉制度論(6)	4		

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

	⑧	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月	栄養学(3)	4	在宅看護学Ⅰ(3)	4	病態学(32)	4				
20	火					小児看護学演習Ⅰ(7)	4	小児看護学演習Ⅰ(8)	4	〔選〕看護心理学(4)	2
21	水					保健医療福祉制度論(7)	4	保健医療福祉制度論(8)	4	〔自〕Learning Medical English(5)	セミナー室 4
22	木	解剖体追悼式(予定・時間未定)									
23	金	成人看護学Ⅱ(7)	4	成人看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(1)	4	基礎看護学演習Ⅱ(2)	4	基礎看護学演習Ⅱ(3)	4

	⑨	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月			在宅看護学Ⅰ(4)	4	病態学(33)	4				
27	火					小児看護学演習Ⅰ(9)	4	小児看護学演習Ⅰ(10)	4	〔選〕看護心理学(5)	2
28	水	薬理学Ⅰ(5)	1	薬理学Ⅰ(6)	1	保健医療福祉制度論(9)	4	保健医療福祉制度論(10)	4	〔自〕Learning Medical English(6)	セミナー室 4
29	木	成人看護学Ⅱ(9)	4			精神看護学(7)	4	精神看護学(8)	4		
30	金	栄養学(4)	4	病態学(34)	4	基礎看護学演習Ⅱ(4)	4	基礎看護学演習Ⅱ(5)	4	基礎看護学演習Ⅱ(6)	4

	⑩	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月			在宅看護学Ⅰ(5)	4						
3	火	文化の日									
4	水	薬理学Ⅰ(7)	1	薬理学Ⅰ(8)	1	医療情報学(1)	情報検索室	医療情報学(2)	情報検索室	〔自〕Learning Medical English(7)	セミナー室 4
5	木			病態学(35)	4	精神看護学(9)	4	精神看護学(10)	4		
6	金	栄養学(5)	4	成人看護学Ⅱ(10)	4	基礎看護学演習Ⅱ(7)	4	基礎看護学演習Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(9)	4

	⑪	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月			在宅看護学Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅱ(10)	4	基礎看護学Ⅲ(10)	4	基礎看護学演習Ⅱ(11)	4
10	火					医療情報学(3)	情報検索室	医療情報学(4)	情報検索室	〔選〕看護心理学(6)	2
11	水					保健医療福祉制度論(11)	4	保健医療福祉制度論(12)	4	看護のみ〔自〕Learning Medical English(8)	セミナー室 4
12	木	栄養学(6)	4	病態学(36)	4	精神看護学(11)	4	精神看護学(12)	4		
13	金	成人看護学Ⅱ(11)	4	成人看護学Ⅱ(12)	4	保健医療福祉制度論(13)	4	保健医療福祉制度論(14)	4		

	⑫	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	在宅看護学Ⅰ(7)	4	在宅看護学Ⅰ(8)	4	病態学(37)	4				
17	火					小児看護学演習Ⅰ(11)	4	小児看護学演習Ⅰ(12)	4	〔選〕看護心理学(7)	2
18	水	薬理学Ⅱ(1)	1	薬理学Ⅱ(2)	1						
19	木					精神看護学(13)	4	精神看護学(14)	4		
20	金	医療情報学(5)	情報検索室	医療情報学(6)	情報検索室	保健医療福祉制度論(15)	4	保健医療福祉制度論(16)	4		

	⑬	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火										
25	水	薬理学Ⅱ(3)	1	薬理学Ⅱ(4)	1						
26	木										
27	金	成人看護学Ⅱ(13)	4	成人看護学Ⅱ(14)	4	基礎看護学演習Ⅱ(12)	4	基礎看護学演習Ⅱ(13)	4	基礎看護学演習Ⅱ(14)	4

	⑭	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月			病態学(38)	4	病態学(39)	4	小児看護学演習Ⅰ(13)	4		
12/1	火					【未定】薬害講演	1	【未定】薬害講演	1		
2	水	医療情報学(7)	情報検索室	医療情報学(8)	情報検索室						
3	木					基礎看護学演習Ⅱ(15)	1	基礎看護学演習Ⅱ(16)	1		
4	金			病態学(40)	4	栄養学(7)	4				

2020年度時間割(看護学専攻:第2学年)

2020.4.1

	⑮	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月										
8	火					小児看護学演習Ⅰ(14)	4	小児看護学演習Ⅰ(15)	4	〔選〕看護心理学(8)	4
9	水	卒業研究発表会	1・2他	卒業研究発表会	1・2他	卒業研究発表会	1・2他	卒業研究発表会	1・2他	卒業研究発表会	1・2他
10	木	栄養学(8)	4			精神看護学(15)	4	精神看護学(16)	4		
11	金			成人看護学Ⅱ(15)	4	基礎看護学演習Ⅱ(17)	1	基礎看護学演習Ⅱ(18)	1		

	⑯		講義室		講義室		講義室		講義室		講義室
12/14	月					薬理学Ⅱ(5)	1	薬理学Ⅱ(6)	1		
15	火										
16	水										
17	木										
18	金										

	⑰	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										
22	火										
23	水										
24	木										
25	金										

冬季休業　12/21(月)～　　又は　12/28(月)～

	⑱	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火										
6	水	薬理学Ⅱ(7)	1	薬理学Ⅱ(8)	1						
7	木										
8	金										

	①	
1/11	月	成人の日
12	火	後期定期試験
13	水	後期定期試験
14	木	後期定期試験
15	金	後期定期試験

	②	
1/18	月	後期定期試験
19	火	後期定期試験
20	水	後期定期試験
21	木	後期定期試験
22	金	後期定期試験

	③	
1/25	月	補講・再試
26	火	補講・再試
27	水	補講・再試
28	木	補講・再試
29	金	補講・再試

	④	
2/1	月	補講・再試
2	火	補講・再試
3	水	補講・再試
4	木	補講・再試
5	金	補講・再試

春季休業　2/8(月)～

時間割番号	012007				
科目名	生理学			科目ID	MN-230300-L
担当教員	星　治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Physiology

【科目責任者】星治

主な講義場所

共用講義室2　保健衛生学科講義室 1

授業の目的、概要等

生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し，全体として統合されているかを追求する学問である。

授業の到達目標

人体の各構成要素の機能の基本的事項を，解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは，疾病による人体の機能の変化を理解する上でも，看護学を修得する上でも重要なことである。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	総論	生理学の概念、意義	星　治
2	5/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	体液	体液とその調節	星　治
3	5/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	血液と生体防御1	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星　治
4	5/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	血液と生体防御2	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星　治
5	5/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	循環の生理（1）	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星　治
6	5/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	循環の生理（2）	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星　治
7	5/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星　治
8	5/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	尿の生成と排泄（1）	腎臓の機能と尿の排泄	星　治, 木村　英二
9	5/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	尿の生成と排泄（2）	腎臓の機能と尿の排泄	星　治, 木村　英二
10	5/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星　治
11	5/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	栄養と代謝（1）	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代　瞳
12	6/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	栄養と代謝（2）	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代　瞳
13	6/4	08:50-10:20	共用講義室 2	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星　治
14	6/4	10:30-12:00	共用講義室 2	内分泌の機能（1）	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星　治
15	6/11	08:50-10:20	共用講義室 2	内分泌の機能（2）	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星　治
16	6/11	10:30-12:00	共用講義室 2	生殖機能（1）	男性生殖機能（精子形成）	藤代　瞳
17	6/30	08:50-10:20	共用講義室 2	生殖機能（2）	女性生殖機能（排卵、受精、着床）、妊娠と分娩	藤代　瞳
18	6/30	10:30-12:00	共用講義室 2	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星　治
19	7/1	10:30-12:00	共用講義室 2	神経系の機能（1）	大脳、間脳、脳幹（延髄、橋、中脳）、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星　治

20	7/7	08:50-10:20	共用講義室２	神経系の機能（２）	大脳、間脳、脳幹（延髄、橋、中脳）、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星　治
21	7/7	10:30-12:00	共用講義室２	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星　治
22	7/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１	感覚の生理（１）	感覚の一般的性質、視覚	星　治
23	7/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１	感覚の生理（２）	聴覚、平衡感覚、味覚	星　治

授業内容

生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で，呼吸，血液循環，消化と吸収，代謝，排泄，内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方，高次機能は動物において発達，特殊化した機能を意味し，運動，神経，感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次，要点を講義する。また、一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績（10%）、学期末筆記試験の成績（90%）により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

シンプル生理学／貴邑冨久子，根来英雄　共著,：南江堂，2008

参考書

本郷利憲，廣重力，豊田順一，熊田衛　編集：標準生理学，医学書院

他科目との関連

人体の構造を理解した上で，それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は，解剖学と表裏一体をなすとともに，薬理学，生化学，栄養学，病態学等と密接な関係がある

履修上の注意事項

時間数が限られているため，講義に関連した領域について自習することが必要である。

連絡先（メールアドレス）

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008				
科目名	生化学			科目ID	MN-230400-L
担当教員	鈴木　喜晴[SUZUKI NOBUHARU]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Biochemisty

【科目責任者】鈴木喜晴

主な講義場所

保健衛生学科講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による講義や解説ビデオから、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。

授業の到達目標

1回目：生化学的解析法を用いた基礎研究について学ぶ。
2回目：生化学の基礎を理解し、生体内での水の役割について学ぶ。
3回目：アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質を理解・整理し、タンパク質の三次元構造を学習する。
4回目：タンパク質の機能を学び、特に酵素の働きについて理解する。
5回目：糖質と糖鎖生物学を学ぶ。ヌクレオチドと核酸について学習する。
6回目：脂質を理解し、生体膜とシグナル伝達の基礎について学習する。
7回目：生体エネルギー論と生化学反応のタイプを理解・整理する。解糖と糖新生、ペントースリン酸経路を学ぶ。
8回目：代謝調節の仕組みを理解する。クエン酸回路を学習する。
9回目：脂肪酸の異化を学習する。アミノ酸の酸化と尿素の生成を理解する。
10回目：酸化的リン酸化と脂質の生合成について学習する。
11回目：アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の生合成を学ぶ。哺乳類の代謝のホルモンによる調節を理解・整理する。
12回目：遺伝子と染色体について学び、DNA の代謝を理解する。
13回目：RNA とタンパク質の代謝を理解する。
14回目：英語で生化学を理解し、特に細胞外マトリックスを対象としたタンパク質相互作用の解析法について学ぶ。
15回目：遺伝子発現調節の詳細を学び、演習問題で習得度を確認する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	1-1. オリエンテーション／1-2. 基礎研究1	1-1. オリエンテーション／1-2. 生化学的・分子生物学的解析法を用いた基礎研究（蛍光タンパク質による新規検査技術の開発、中枢神経系の髄鞘形成メカニズムに関する研究）	鈴木　喜晴
2	4/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	2-1. 生化学の基礎／2-2. 水	2-1. 細胞の基礎；化学の基礎；遺伝学の基礎；進化論の基礎／2-2. 水系における弱い相互作用；水、弱酸および弱塩基のイオン化；生物系の pH 変化に対する緩衝作用；反応物としての水；生物の水環境への適合性	鈴木　喜晴
3	4/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	3-1. アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質／3-2. タンパク質の三次元構造	3-1. アミノ酸；ペプチドとタンパク質；タンパク質研究法；タンパク質の構造　一次構造／3-2. タンパク質構造の概念；タンパク質の二次構造；タンパク質の三次構造と四次構造；タンパク質の変性とフォールディング	鈴木　喜晴
4	4/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	4-1. タンパク質の機能／4-2. 酵素	4-1. リガンドに対するタンパク質の可逆的結合：酵素結合タンパク質；タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用：免疫系と免疫グロブリン；他／4-2. 酵素の発見；酵素の作用機構；酵素反応速度論による作用機構の研究；酵素反応の例；調節酵素	鈴木　喜晴

5	4/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	5-1. 糖質と糖鎖生物学／5-2. ヌクレオチドと核酸	5-1. 単糖と二糖;多糖;複合糖質:プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質:シュガーコード;糖質研究／5-2. 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;ヌクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴
6	4/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	6-1. 脂質／6-2. 生体膜・シグナル伝達の基礎	6-1. 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究／6-2. 生体膜の組成・構造と機能;シグナル伝達の基本的な特徴	鈴木 喜晴
7	4/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	7-1. 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／7-2. 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	7-1. 生体エネルギー論と熱力学;化学的な論理と共通の生化学反応;ホスホリル基転移とATP;生物学的な酸化還元反応／7-2. 解糖;解糖への供給経路;嫌気的条件下でのピルビン酸代謝運命:発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴
8	4/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	8-1. 代謝調節の原理／8-2. クエン酸回路	8-1. 代謝経路の調節;代謝制御の解析;解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節／8-2. アセチルCoA(活性酢酸)の生成;クエン酸回路の反応;クエン酸回路の調節	鈴木 喜晴
9	4/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	9-1. 脂肪酸の異化／9-2. アミノ酸の酸化と尿素の生成	9-1. 脂肪の消化、動員および運搬;脂肪酸の酸化;ケトン体／9-2. アミノ酸の代謝運命;窒素排泄と尿素回路;アミノ酸の分解経路	鈴木 喜晴
10	4/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	10-1. 酸化的リン酸化／10-2. 脂質の生合成	10-1. ミトコンドリアにおける呼吸鎖;ATP合成;酸化的リン酸化の調節;熱産生、ステロイド合成、アポトーシスにおけるミトコンドリアの役割;他／10-2. 脂肪酸とエイコサノイドの生合成;トリアシルグリセロールの生合成;膜リン脂質の生合成;他	鈴木 喜晴
11	4/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	11-1. アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の生合成／11-2. 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合	11-1. 窒素代謝の概観;アミノ酸の生合成;アミノ酸に由来する分子;ヌクレオチドの生合成と分解／11-2. ホルモン:多様な機能のための多様な構造;組織特異的代謝;燃料代謝のホルモンによる調節;肥満と体重調節;肥満、メタボリックシンドロームおよび2型糖尿病	鈴木 喜晴
12	5/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	12-1. 遺伝子と染色体／12-2. DNA代謝	12-1. 染色体の成分;DNAのスーパーコイル形成;染色体の構造／12-2. DNA複製;DNA修復;DNA組換え	鈴木 喜晴
13	5/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	13-1. RNA代謝／13-2. タンパク質代謝	13-1. RNAのDNA依存的合成;RNAプロセシング;RNA依存的なRNAとDNAの合成／13-2. 遺伝暗号;タンパク質合成;タンパク質のターゲティングと分解	鈴木 喜晴
14	5/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	14. 基礎研究2	14. Biochemistry techniques for the analysis of protein interactions and their function 1: Focus on the extracellular matrix	鈴木 喜晴
15	5/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	15-1. 遺伝子発現調節／15-2. まとめ	15-1. 遺伝子発現調節の原理;細菌における遺伝子発現調節;真核生物における遺伝子発現調節／15-2. 演習問題	鈴木 喜晴

授業方法

講義スライドと資料、ビデオを用いて解説し、小テストによって理解度を確認する。また講義の題材に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングを活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

小テスト及び期末試験の点数、出席状況(出欠、遅刻や早退)や授業に取り組む姿勢より総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示 毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。
参考書 レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[上]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942-,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941-,中山, 和久, 1959-,:廣川書店, 2019 レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[下]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942-,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941-,中山, 和久, 1959-,:廣川書店, 2019
他科目との関連 分子生物学, 細胞生物学、生理学、遺伝学、発生学、臨床化学などと関連する。
履修上の注意事項 講義中の携帯電話・スマートフォンの使用は慎むこと。
連絡先（メールアドレス） 鈴木　喜晴:nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　喜晴:オフィスアワーは特に定めない　3 号館 16 階

時間割番号	012009				
科目名	薬理学Ⅰ			科目ID	MN-230500-L
担当教員	永田　将司, 緒方　泰子[NAGATA MASASHI, OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Pharmacology Ⅰ

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質（薬物）と生体（個体～分子レベルを含む）との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学：薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用（薬理作用）を調べる。②薬物動態学：生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1-3 回目：薬物とは何かについて説明できる。薬物の使用目的について説明できる。薬物の体内での動きについて説明できる。

4 回目：代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。

5 回目：代用的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。

6 回目：代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。

7 回目：代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。

8 回目：末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識(1)	薬理学とは何か、薬による病気の治療、薬が作用するしくみ	永田　将司
2	10/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	薬理学の基礎知識(2)	薬の体内挙動	永田　将司
3	10/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	薬理学の基礎知識(3)・看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田　将司
4	10/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田　将司
5	10/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田　将司
6	10/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田　将司
7	11/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田　将司
8	11/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	末梢での神経活動に作用する薬物	神経系による情報伝達、自律神経系作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	永田　将司

授業方法　教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

成績評価の方法　薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

準備学習等についての具体的な指示　解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

教科書　系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡　充弘／泉　剛／井関　健／横式　尚司／菅原　満：医学書院, 2018

連絡先（メールアドレス）　永田　将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー　永田　将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012010				
科目名	薬理学Ⅱ			科目ID	MN-230600-L
担当教員	永田　将司, 緒方　泰子[NAGATA MASASHI, OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：PharmacologyⅡ

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質（薬物）と生体（個体～分子レベルを含む）との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学：薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用（薬理作用）を調べる。②薬物動態学：生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1-2 回目：中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

3-4 回目：心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

5 回目：呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

6 回目：消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

7 回目：物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。

8 回目：新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１	中枢神経系に作用する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬	永田　将司
2	11/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室１	中枢神経系に作用する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田　将司
3	11/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１	心臓・血管系に作用する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田　将司
4	11/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室１	心臓・血管系に作用する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田　将司
5	12/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室１	呼吸器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田　将司
6	12/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室１	消化器・生殖器系に作用する薬物	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物	永田　将司
7	1/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１	物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論　消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田　将司
8	1/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室１	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田　将司

授業方法　教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

成績評価の方法　薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

準備学習等についての具体的な指示　解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

教科書　系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡　充弘／泉　剛／井関　健／横式　尚司／菅原　満：医学書院, 2018

連絡先（メールアドレス）　永田　将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー　永田　将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012011				
科目名	病理学			科目 ID	MN-230700-L
担当教員	沢辺　元司[SAWABE MOTOJI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Pathology

【科目責任者】沢辺　元司

主な講義場所　保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

病理学は疾病の本態を解明する学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。従って、病理学的知識・思考は専門課程2学年から4学年に至る間、何らかの形で常に教授される。

授業の到達目標

病理学では、疾病病変の共通の変化を論じ、病態の本質、その成因を系統的に把握、理解する。病理学の学習を通して疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考が習得することを目標とする。また期末試験の約 10%に英語を出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は読み書きできるようにしておくこと。

第 1 回：病理学の概要、病気の原因（病因）と疾患の関係を理解する

第 2 回：病理組織学の基礎となるストレスに対する細胞反応・細胞障害・細胞死、組織の治癒・再生、主な代謝障害を理解する

第 3 回：全身、局所の様々な循環障害を理解する

第 4 回：様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する

第 5 回：免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する

第 6,7 回：悪性腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する

第 8 回：遺伝性疾患、先天異常、放射線による障害と細胞変化について理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	病理学・病因論	序論・病理学・病因	沢辺　元司, 副島　友莉恵
2	4/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	進行性病変ほか	進行性病変・退行性病変・代謝障害	沢辺　元司, 副島　友莉恵
3	4/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	循環障害	循環障害	沢辺　元司, 副島　友莉恵
4	4/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	炎症・感染症	炎症・感染症	沢辺　元司, 副島　友莉恵
5	4/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	免疫	免疫病理学・自己免疫疾患	沢辺　元司, 副島　友莉恵
6	4/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	腫瘍1	腫瘍総論	沢辺　元司, 副島　友莉恵
7	4/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	腫瘍2	腫瘍各論	沢辺　元司, 副島　友莉恵
8	4/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	遺伝性疾患・先天異常、放射線病理学	遺伝性疾患・先天異常、放射線病理学	沢辺　元司, 副島　友莉恵

授業方法

講義形式および、事前に配布した課題について学習するアクティブラーニングの形式をとる。

授業内容

第 1 回：病理学序論、病因

第 2 回：進行性病変、退行性病変、代謝障害

第 3 回：循環障害

第 4 回：炎症・感染症

第 5 回：免疫病理学・自己免疫疾患

第 6 回：腫瘍総論

第 7 回：腫瘍各論

第 8 回：遺伝性疾患・先天異常、放射線病理学

成績評価の方法

筆記試験(小試験、前期定期試験)によって各到達目標を達成できたか否かを評価する。定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

全ての目標を達成できた学生には A 以上を与える

準備学習等についての具体的な指示
授業の前に講義内容について、WebClass の動画を用いて事前学習すること
教科書
スタンダード病理学／沢辺元司, 長坂徹郎編,沢辺, 元司,長坂, 徹郎,大西, 俊造,梶原, 博毅,神山, 隆一,：文光堂, 2015
参考書
Robbins basic pathology／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster ; artist, James A. Perkins,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Perkins, James A.,Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard),：Elsevier, 2018 メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。
他科目との関連
病理学は医学・医療の基本をなす分野であり、基礎(特に解剖・組織学, 生理学, 生化学)ならびに臨床科目と密接に関連している。
履修上の注意事項
自ら進んで学習し、医学・医療の基本である病理学を習得して欲しい。
参照ホームページ
授業で用いた資料の多くは WebClass で公開するので自学自習に役立てること。
連絡先（メールアドレス）
沢辺　元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp　　３号館 16F　内線 5370
オフィスアワー
沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階

時間割番号	012013				
科目名	栄養学			科目ID	MN-230900-L
担当教員	山﨑　智子, 腰本　さおり[YAMAZAKI TOMOKO, KOSHIMOTO Saori]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Nutritional Sciences

【科目責任者】山﨑　智子

授業の目的、概要等

栄養学の基礎を学ぶことを目的とする。健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶ。また、妊娠や発育、加齢などの変化に応じたライフステージ栄養管理の考え方を習得し、糖尿病、腎臓病など病態の特徴に基づいた適切な栄養管理の重要性を理解する。さらには、現代社会における食糧や栄養の問題点に着目し、健康増進・疾病予防の観点から、問題解決のための洞察力を養う。

授業の到達目標

1回目：炭水化物・タンパク質・脂質の代謝と生理的意義を説明できる
2回目：ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症について説明できる
3回目：国民健康・栄養調査からみた、現代社会における食生活の問題に対応し、解決策を提案することができる
4回目：成長や加齢の発達段階に応じた栄養状態ついて理解し、栄養相談の場面をシュミレートできる
5回目：糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下における栄養療法を理解し、適切な対応ができる
6回目：高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全における栄養療法を理解し、適切な対応ができる
7回目：「日本人の食事摂取基準」と実際の食事内容を比較し、栄養バランスを分析・評価できる
8回目：栄養ケアにおける多職種との連携およびチーム医療の必要性を理解できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	基礎栄養(1)	炭水化物・タンパク質・脂質の消化吸収と関連する食品	腰本　さおり
2	10/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	基礎栄養(2)	ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症および関連する食品	腰本　さおり
3	10/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	公衆栄養	国民健康・栄養調査からみた我が国の現状	腰本　さおり
4	10/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	ライフステージ栄養	幼児期、成長期、成人期、妊娠期、老年期のライフステージに応じた栄養管理の必要性	腰本　さおり
5	11/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	病態栄養(1)	糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本　さおり
6	11/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	病態栄養(2)	高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全腎の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本　さおり
7	12/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	日本人の食事摂取基準	「日本人の食事摂取基準 2020」を用いた栄養バランスの評価	腰本　さおり
8	12/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養ケアとチーム医療	食・栄養に関連したチーム医療の必要性	腰本　さおり

授業内容

栄養素の消化・吸収の機序を復習した後、糖尿病、腎臓病、脂質異常症、高血圧症等に対する栄養療法と治療食の特徴を解説する。また、出生からエンドオブライフまでの成長段階に応じた食形態の変化を学ぶ。実際に、自分の食事を栄養価計算し、食事摂取基準値と比較することにより栄養バランスを分析・評価する手法を習得する。さらに、人生の食の意味についてグループディスカッションを行うことにより、食生活の多様性や食と QOL の関連性を考察する。

成績評価の方法

定期試験、課題レポート、グループワークへの積極的参加について多面的に評価する。なお、定期試験の一部には英語の問題を含める。

成績評価の基準

定期試験 70%、課題レポート 20%、グループワークへの貢献度 10%

準備学習等についての具体的な指示

・炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関係する消化酵素やホルモンについて復習しておくこと、ビタミンやミネラルの過剰症・欠乏症について復習しておくこと(50 分)。

・授業に関連する内容、例えば、患者さんが食事や栄養のことで、どのような悩みを抱えているのか、また、食を取り巻く社会的背景や世界の食糧事情について、図書館等で文献を探し読むこと(50 分)。

・食事の栄養価計算を行うため、最近の食生活の問題点についてまとめること(20 分)。

試験の受験資格

1. 2/3 以上の出席
2. 課題レポートの提出

参考書

系統看護学講座　専門基礎分野人体の構造と機能[3]　栄養学／小野　章史／杉山　みち子／鈴木　志保子／外山　健二／中村　丁次: 医学書院, 2015

ナーシング・グラフィカ　疾病の成り立ち(4):臨床栄養学　第 4 版／關戸啓子 編,:メディカ出版, 2015

エッセンシャル臨床栄養学／佐藤和人, 本間健, 小松龍史 編,佐藤, 和人, 1953-,本間, 健, 1953-,小松, 竜史, 1952-,:医歯薬出版, 2016

糖尿病食事療法のための食品交換表　第 7 版／日本糖尿病学会 編・著,:日本糖尿病協会, 2013

日本食品成分表 : 七訂 電子版付／医歯薬出版／編,医歯薬出版,:医歯薬出版, 2018

日本人の食事摂取基準 2015 年版／菱田明, 佐々木敏 監修,菱田, 明, 1944-,佐々木, 敏, 1957-,:第一出版, 2014

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また、栄養状態は治療に影響を及ぼす要因である。本講義にとどまらず、各病態を学ぶ際にも食事摂取や栄養の吸収状態を把握し、発展させて学ぶ必要がある。

連絡先(メールアドレス)

山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと　3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012014				
科目名	病態学			科目ID	MN-231000-L
担当教員	山﨑　智子[YAMAZAKI TOMOKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	単位数	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Clinical　Medicine

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）および保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では，主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は，異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。

授業の到達目標

講義は内科学的，外科学的立場から，保健衛生学科教官の他，内科系，外科系関連教員により行われる。それらの講義を通じて医学分化の趨勢に触れるとともに，器官系統別に主要な病態について内科学的，外科学的視点を統合して発症機序と症候に対する理解を深め，患者の身体を統合的に把握する上での看護の役割の重要性を理解する。

講義時間が少ないので自学実習により理解を確実にする態度を身に付けることが重要である。その経験を通して，他の発達段階にある場合の病態を理解する基盤とするとともに，臨地実習において講義を受けていない疾患の患者を受け持つ場合にも対応できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	内科総論1	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角　勇樹
2	5/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	糖尿病・内分泌	・内分泌疾・代謝疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	小宮　力
3	5/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	皮膚科	・皮膚疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	宇賀神　つかさ
4	5/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	外科学総論	外科学総論	植竹　宏之
5	5/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	呼吸器内科①	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	角　勇樹
6	6/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	乳腺外科	・乳房疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	中川　剛士
7	6/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	消化器内科①	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	大島　茂
8	6/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	内科総論2	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角　勇樹
9	6/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	呼吸器外科	・肺疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	藤原　直之
10	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	呼吸器内科②	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	角　勇樹
11	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	耳鼻咽喉科	・耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	堤　剛
12	6/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	眼科学	・眼球疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	横井　多恵
13	6/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	消化器内科②	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	井津井　康浩
14	6/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	循環器内科①	・循環器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	笹野　哲郎
15	6/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	形成外科	形成・美容外科総論	森　弘樹
16	6/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	整形外科①	・四肢骨・関節疾患、外傷、脊椎疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	王　耀東
17	6/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	放射線診断	・放射線による画像診断の意義と方法	立石　宇貴秀
18	6/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	麻酔①	・手術麻酔	内田　篤治郎
19-20	6/29	08:50-12:00	保健衛生学科講義室4	神経内科①②	・神経系疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	西田　陽一郎

21	7/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	婦人科	・婦人科疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	中村　玲子
22	7/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	アレルギー疾患総論		
23	7/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	循環器内科②	・循環器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	笹野　哲郎
24	7/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	前期まとめ		山﨑　智子
25	7/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	内科総論3	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角　勇樹
26	9/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	泌尿器科	・男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	上原　翔
27	10/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科①	・食道疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	
28	10/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科②	・胃疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	
29-30	10/8	08:50-12:00	保健衛生学科講義室4	腎臓内科①②	・腎疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療，透析療法	須佐　紘一郎，頼　建光
31	10/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	下部消化管外科	・下部消化管疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	菊池　章史
32	10/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	膠原病内科	・膠原病の病態と症候・機序，診断法と治療	保田　晋助
33	10/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	麻酔②	・ペインクリニック	大畑　めぐみ
34	10/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	放射線②	・放射線による治療の意義と方法	小島　未央
35	11/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	血管外科	・血管疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	工藤　敏文
36	11/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳外科	・中枢神経系疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	唐鎌　淳
37	11/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	心臓血管外科	・心臓疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	水野　友裕
38	11/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	血液内科	・血液疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	坂下　千瑞子
39	11/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	まとめ	まとめ	山﨑　智子
40	12/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	肝胆膵外科	・肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	小野　宏晃

授業方法

（注）予定担当者は昨年度実績であり、講師の異動や救急業務に伴い講師名および講義日の変更が生じる場合がある。

授業内容

(1) 内科的診断・治療の基本的考え方について理解する。

(2) 内科的治療を要する主要疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断および治療の概要を理解する。

(3) 外科的治療を要する疾患について，共通する病態および基本的処置・管理について理解する。

(4) 外科的治療を要する疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断，手術・治療，および術前・術後管理の概要を理解する。

成績評価の方法

前期・後期に筆記試験により評価する。

各講師より出題されるので，全ての総合知識が要求される（内科・外科各100問以上出題）。

小テストの成績等も加味する。

成績評価の基準

出席率・小テスト・授業の参加 30%、試験結果 70%

準備学習等についての具体的な指示

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

教科書

看護のための臨床病態学　第3版／浅野嘉延，吉山直樹　編集，：南山堂，2014

参考書 ・ 病気・病態・重症度からみた疾患別看護過程，井上・佐藤（編集），医学書院 ・ 系統看護学講座，別巻1，臨床外科看護学総論，医学書院 ・ 標準外科学，第8版，武藤輝一・田部達三編，医学書院
他科目との関連 看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには，解剖学，生理学，病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では，単なる知識の集積にとどまらず，これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。
履修上の注意事項 教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。
連絡先（メールアドレス） 山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
オフィスアワー 山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012015A				
科目名	Global Nursing Communication Ⅰ			科目ID	MN-211200-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, MAYO MARIA GIANINA, ASHTON STEVEN[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS, MAYO MARIA GIANINA, Ashton Steven]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Nursing Communication Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　3 号館 7 階, 講義室 4、　M&D タワーｾﾐﾅｰ室 10 とｾﾐﾅｰ室 12

授業の目的、概要等

時事の英語ニュース記事を読解し、英語で意見を述べられるようなディスカッション能力を養う。

学生の英語運用能力(TOEL スコア)により 3 クラス作成し、少人数制で行う。ネイティブの英語教員が概念を紹介し、小グループでのディスカッションに参加する。

異文化を持つネイティブの英語教員による英語の授業により英語力のみならず異文化感受性能力の変化を向上させる。

授業の到達目標　広く時事の英語ニュースを理解し、英語で自分の意見を述べることができる（グループにより難易度を付ける）。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Introduction, Parts of the Body and Symptoms	JANELLE RENEE MOROSS, MAYO MARIA GIANINA, ASHTON STEVEN, 近藤 暁子
2	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Ophthalmology/ Eye Exam	JANELLE RENEE MOROSS, MAYO MARIA GIANINA, WARREN ASHLEY ROBERT
3	4/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Cardiology/ ECG	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
4	4/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Pulmonary/Spirometry	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
5	5/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Gastroenterology/ Upper GI	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
6	5/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	TOEFL 受験		JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
7	5/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	TOEFL 受験		JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
8	5/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Endocrinology/ Blood glucose	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
9	5/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Urology/ Urinalysis	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
10	5/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Neurology/ EEG	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA

11	6/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Psychology/ Depression	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
12	6/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 6		Musculoskeletal System/ Osteoporosis	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, M AYO MARIA GIANINA
13	6/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Immune System/ Vaccinations	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
14	6/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Integumentary System/ Atopic Dermatitis	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
15	7/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 10		Reproductive System/ Prenatal Care	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
16	7/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 6		Nutrition/ Longevity	JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
17	7/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 共用セミナー室 12, 共用セミナー室 6	期末テスト	Oral examination	JANELLE RENEE MOROSS, MAYO MARIA GIANINA, ASHTON STEVEN, 近藤 暁子

授業方法

前週の復習、小テスト、事前学習の確認、ディスカッション、ロールプレー

授業内容

WebClass にアップロードされた翌週のディスカッショントピックの記事と質問に対し、質問内容の回答を考えてプリントアウトして持って来ること。

最後の口頭試験の準備として、看護師/患者のロールプレイの練習も行う。

成績評価の方法

Vocabulary test: 20%

Class participation: 30%

Final exam: oral and essay 35%

TOEFL: 15%

成績評価の基準

Students will be graded based on their active participation in group and pair discussion, their attendance and exams.

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答え考え、その内容及び講義資料を持参する

試験の受験資格 有) 小テスト、口頭試験とエッセイ

教科書 WebClass にアップロードされている。

履修上の注意事項

事前学習は必ず実施してくること。 ネイティブの英語教員による英語の授業により異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:毎週月曜日 PM 4:00-5:00 1 号館―4 階 教授室

時間割番号	012016				
科目名	専門基礎合同演習			科目ID	MN-251300-S
担当教員	角　勇樹[SUMI YUKI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Practice of Medical Sciences

【科目責任者】角　勇樹

主な講義場所

保健衛生学実習室3（3号館7階）

授業の目的、概要等

本学科の特徴をいかすべく，平成 11 年度から発足した大綱化カリキュラムに必修科目として組み入れられた新科目で，看護学専攻の専門基礎科目についての実習を統合し，専門基礎合同演習として 8 回の実習を行う。

授業の到達目標

専門基礎科目の解剖学，生理学，生化学，薬理学，病理学，微生物学の各担当科目について演習を行い，専門基礎科目を学んでいく上で基礎となる幅広い知識や技術を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/19	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生化学	核酸の化学(DNA の抽出と精製)	鈴木　喜晴
4-6	6/2	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生理学	心電図	笹野　哲郎
7-9	6/9	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	骨学実習	星　治，藤代　瞳
10-12	6/16	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	解剖体実習見学	星　治，藤代　瞳
13-15	6/22	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の染色	齋藤　良一
16-18	6/23	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の培養	齋藤　良一
19-21	7/9	13:00-17:50	保健衛生学実習室	病理学	病理解剖体肉眼観察	副島　友莉恵，沢辺　元司

成績評価の方法

各演習科目において，試験，提出レポート，標本スケッチ等により，担当教員が個々に成績評価をおこなった後，生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。

準備学習等についての具体的な指示

随時、各担当教員より指示する。

教科書

特に指定しない。

他科目との関連

基礎ならびに専門の看護学に関係する全ての科目に関連している。

履修上の注意事項

全演習の出席を原則とする。演習に関しての詳細は各担当教員に確認すること。　実習は白衣着用のこと。

連絡先（メールアドレス）

角　勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

角　勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17：00 3 号館 16 階 呼吸器･神経系解析学教授室

（来室の前にメールで予定するのが望ましい）

時間割番号	012017				
科目名	医療情報学			科目 ID	MN-231400-L
担当教員	緒方　泰子, 本間　達[OGATA YASUKO, HOMMA SATORU]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Medical Informatics

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

主な講義場所

情報検索室(M&D タワー4 階)

授業の目的、概要等

看護学分野における医療情報の関わりを中心に，基礎的なアプリケーションソフトの実習から，オペレーティングシステムとネットワークの基礎知識，電子カルテを中心とする情報セキュリティの対策，および ICT の利用による遠隔医療や最先端の医学情報の検索まで，講義と実習を行なう.

授業の到達目標

総合的には，医療情報を正確かつ迅速に扱うために必要なコンピュータの基礎知識の修得と，これを活用してアプリケーションソフトなどを使いこなす基礎能力の修得を目標とする.

各回の目標は以下の通りである.

第 1-2 回　コンピュータの OS とアプリケーションについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 3-4 回　コンピュータネットワークについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 5-6 回　データの保護についてについて基本的知識を習得し，実践できる.

第 7-8 回　ITC における個人情報の保護について基本的知識を習得し，実践できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/4	13:00-14:30	情報検索室	医療情報学概論	医療情報学の基礎を学ぶ。	本間　達
2	11/4	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 1	アプリケーションソフトの基礎的な操作実習を行う。	本間　達
3	11/10	13:00-14:30	情報検索室	コンピュータネットワークの基礎	ICT の基本であるコンピュータネットワークの基本構成について学ぶ	本間　達
4	11/10	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 2	ネットワーク操作技術についての操作実習を行なう。	本間　達
5	11/20	08:50-10:20	情報検索室	医療ネットワークへの接続	電子カルテなど医療従事者として患者情報を取り扱う際の法的な制限とこれに基づくアクセス制限などの必要性を学ぶ.　また，ICT を応用した遠隔医療などの最新技術についても紹介する.	本間　達
6	11/20	10:30-12:00	情報検索室	情報リテラシー　実習 4	医療文献を実際に検索する実習を行う。	本間　達
7	12/2	08:50-10:20	情報検索室	医療情報の保護	様々なウイルスやマルウェアなどにより，ネットワークに接続したコンピュータから情報が漏洩する危険性がある。この危険性とともに，これらを防止するための様々な基本的技術について学ぶ。	本間　達
8	12/2	10:30-12:00	情報検索室	情報リテラシー　実習 3	ファイアウォールやセキュリティソフトの設定方法やウイルス検出時の対処方法などにかんする操作実習を行なう。	本間　達

成績評価の方法

1.筆記試験，2.各回の課題，3.出席状況　について総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

レポート作成や Web ページ閲覧・e-mail などのために，日常的に使用しているコンピュータや携帯電話などの情報端末について説明書を精読しておくことが望ましい.

また，参考書として紹介した本などを含め，情報科学に関連する成書により関連知識を予習しておくこと。

参考書
ナースのための遠隔情報管理システム ： ネットワークを利用した看護と福祉／若松秀俊 著,：真興交易医書出版部, 2007 看護情報学／中山和弘 著者代表,：医学書院, 2017
他科目との関連
情報科学(1 年), 保健統計学(4 年)などと関連が深い.
備考
情報検索室(M&D タワー4 階)は基本的に開放されている。本講義により学んだことをレポート作成等にただちに反映するのが望ましい.
連絡先（メールアドレス）
緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　 3 号館 19 階 本間　達:hommtec@tmd.ac.jp
オフィスアワー
緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012018				
科目名	保健医療福祉制度論			科目ID	MN-231500-L
担当教員	森田　久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Health and welfare System

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

保健医療福祉制度は、関連する制度も含めると「社会保障制度」になる。社会保障とは、5 つの社会保険(年金・医療・介護・雇用・労災)、福祉(児童・障害者・高齢者・女性などの社会的弱者対象)、生活保護、公衆衛生、医療体制と、大変幅広い分野からなる多種多様で複雑難解な制度である。しかし知識がないと申請できないという根本的な問題を抱えるため、社会保障教育が重要となる。

日本は世界一の超少子高齢社会になり、家族・地域の支えあい機能も低下して、個人の努力範囲を超える人生のリスクは高まっている。さらに世界大不況の影響で生活は不安定になり、雇用保険、生活保護などの受給者も増加している。老後や失業に備えて貧困を予防する社会保険加入が重要となるが、非正規社員の増加により社会保険のあり方も見直しを迫られている。

家族に代わる社会支援の割合が増しているが、長寿化で支援を受ける人が増加し、少子化で税金・社会保険料を負担して社会保障を支える現役世代は減少するという、財源的に厳しい時代に入った。このような受給バランスが崩れた社会において、社会保障制度を安定維持するには、あらゆる年齢の国民が健康寿命を意識し、生涯安定した収入を得ながら自立した生活ができる社会支援が必要になっている。

社会保障制度は、国民の人生・生活を安定させることで社会を安定・発展させる、車の両輪の役割を持っている。経済発展と社会保障教育で自立した国民を増やし、利用者のモラルを高めながら社会保障制度をより効果的に実施する「良い循環」をもたらす施策が求められる。

授業の到達目標

保健医療福祉に携わる専門職の対象は「人」であり、傷病・要介護・障害・失業・貧困など様々な複合リスクとニーズを抱えている。それを的確に把握して、尊厳も大切にしながら信頼関係を築き、多様な社会サービスにつなげることで、利用者主体の自立を支援する重要な職種である。またチーム医療の時代に入り、他の医療職や福祉職・ボランティアとの連携も重要になっており、地域福祉も含めた社会保障制度の知識とコミュニケーション能力が求められる。

ネットワークの中で、社会的弱者の実態把握、必要な自立支援を検討することにより総合的・効果的な支援ができる医療職を目指す。

＜各回の到達目標＞

1，2回目：健康と公衆衛生の重要性について理解し、説明できる。

3，4回目：児童福祉、障害者福祉制度について説明できる。

5，6回目：高齢者福祉制度、生活保護等の低所得者対策について説明できる。

7，8回目：公的介護保険制度について説明できる。

9，10 回目：公的医療保険制度について説明できる。

11，12 回目：公的年金制度について説明できる。

13，14 回目：雇用保険、労災について説明できる。

15，16 回目：海外の社会保障制度等についてディスカッションし、我が国と比較してのメリット・デメリットを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/2	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護　他	森田　久美子
3-4	10/9	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービスの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度　他	青木　利江子

5-6	10/16	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類、自治体独自の制度、虐待の現状、 他	森田 久美子
7-8	10/21	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	青木 利江子
9-10	10/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」介護保険の目的・仕組・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬他	森田 久美子
11-12	11/11	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・出産手当、医療体制、過剰病床問題。	青木 利江子
13-14	11/13	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	森田 久美子
15-16	11/20	13:00-16:10	保健衛生学科講義室４	保健医療福祉制度論	「災害時の保健医療福祉・まとめ」災害時に必要な対応、居住地域の災害対策、災害要配慮者対策など、グループディスカッションすることで、日本の制度を見直す視点にする。	森田 久美子, 青木 利江子

授業方法

講義のみではなく、データを読み取ってグループでディスカッションをしたり、ディスカッションをもとに内容をまとめ、発表をする。

成績評価の方法

学期末定期試験, レポートなどによりにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

保健医療福祉制度に関連するニュース、新聞記事などには必ず目を通し、最新の情報を得るように努めること。

参考書

国民衛生の動向、国民の福祉の動向、保険と年金の動向、厚生労働白書、
厚生統計要覧、社会保障年鑑など
その他　厚生労働省・文部科学省・内閣府のホームページ、制度ごとの情報冊子・リーフレット

他科目との関連

地域保健看護学、地域精神看護学、老年看護学、保健統計学、看護管理学・看護経済論などの分野と一部内容が重複するが、各制度の全体像を体系的に把握して整理しておくことが医療職として重要である。

履修上の注意事項

保健医療福祉制度は頻繁に改正されるため、常に最新情報を収集できるよう関心を持ち続け、幅広い相談に乗れる医療専門職をめざす。就職後の自分の人生にも役立つ。

連絡先（メールアドレス）

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目 ID	MN-492500-L
担当教員	沢辺　元司[SAWABE MOTOJI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】沢辺　元司

主な講義場所　MDタワー22F　共用セミナー室4

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/16	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第2章　心血管疾患	小試験+通読	沢辺　元司
2	9/23	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第3章　呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺　元司
3	9/30	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第4章　神経疾患	小試験+通読	沢辺　元司
4	10/7	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第5章　胃腸疾患	小試験+通読	沢辺　元司
5	10/21	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第6・7章　筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺　元司
6	10/28	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第8・9章　免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺　元司
7	11/4	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第 10・11 章　腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺　元司
8	11/11	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第 12 章　生殖器疾患	小試験+通読	沢辺　元司

授業方法　講義形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

教科書

Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016

上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷板を購入してください。

参考書　特に指定しない。

他科目との関連　解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書（約 5,000 円）はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。

参照ホームページ　教科書のリンクです

連絡先（メールアドレス）

沢辺　元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp　3号館 16F　内線 5370

オフィスアワー

沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが，事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3 号館 16 階

時間割番号	012086				
科目名	実践看護英語Ⅰ			科目ID	MN-292800-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

実践看護英語Ⅰ
【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　3号館8階講義室2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。自文化について理解を深め、日本文化以外を持つ対象に対して英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答に応じる。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得
今年のテーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成
文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3. 問題提起・解決能力の修得
ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
4. 自己学習能力・創造性の形成
ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。
5. 国際性の形成
ワシントン大学の学生に対し、英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答、建設的なディスカッションをすることで、英語でのコミュニケーションを躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	・ワシントン大学の学生に対して自己紹介文を入力する　・ワシントン大学の学生の自己紹介に対してコメント・質問を入力する。 https://padlet.com/kniitsu/Spring2020Intro	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加
2	4/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy and technology	CARLSON REBECCA LYNN	
3	4/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy in healthcare	CARLSON REBECCA LYNN	
4	5/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Videogames and Healthcare	Jonathan Corliss	
5	5/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Accessibility and Gamification in Health and Technology	Jonathan Corliss	
6	5/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Resilience and culture　・ワシントン大学の学生の質問に回答する。　・プレゼンのパワーポイント作成・アップロード（5月20日24時まで）　https://padlet.com/kniitsu/presentation	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加
7	5/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤　暁子, 新津　晃右	ワシントン大学の学生と共同講義

8	6/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤 暁子, 新津 晃右	ワシントン大学の学生と共同講義
9	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Political system and current issues in Hong Kong	近藤 暁子, VICO Chiang	
10	6/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	UW の学生のホームページプロジェクトを評価** COIL の感想***	近藤 暁子, 新津 晃右	

授業方法

講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2 コマワシントン大学の学生と共有する。その他ワシントン大学の学生とオンラインでのディスカッションを行う。

授業内容

1) 講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2ー5 コマ)。

3) 香港の教員と Skype をつなぎ、講義およびディスカッションを行う(9 コマ)

4) 5 コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL)と共同で行う(1、6ー8、10 コマ)。そのうちの 2 コマはワシントン大学の学生とインターネットで中継して共有し、本学の学生は日本文化の紹介を行い、ワシントン大学の学生はそれに対する質問を行う(8ー9コマ)。その他3コマはワシントン大学の学生と自己紹介についてお互い質問およびコメントを行い(1コマ)、ワシントン大学のレジリエンスについてのホームページプロジェクトについてのオンラインでの評価・コメントを行う(10 コマ)。

*4 月 13 日の「プレゼンのテーマを考える」は、下記①②の中から各自選択する。

①ワシントン大学の学生のプロジェクトの中から1つ選んで特に日本の状況について紹介する:

* Loss & Grief
* Disaster
* Rape and other sexual assault
* Military
* Terrorism
* Poverty
* Serious mental illness

②日本の伝統的文化(習慣)について紹介する:例えば、正月やお盆の行事と意味などの紹介。

**6 月 17 日の UW の学生のホームページプロジェクトの評価は指定の評価表に従って入力する。

***COIL の感想は下記内容について自由記述する。これは成績とは無関係であり、今後の授業の進め方の参考にしたいので、忌憚のない意見を自由に記述していただきたい。

① General comments about the experience in this class

② What did you learn in this class, especially regarding cultural difference and similarity?

③ How can you utilize what you learned in this class for nursing?

④ How do you think you can improve your communication skills based on what you learned in this class?

成績評価の方法

全体的参加度:30%(出席状況、授業中の積極的な発言)

COIL 参加度(ワシントン大学の学生とのコミュニケーションとプロジェクト評価):40%

最終プレゼンテーション:30%(1 つの文化について調べたことを英語でプレゼンし、ワシントン大学の学生と質疑応答する。ワシントン大学の学生からのフォードバック・評価も含む)

準備学習等についての具体的な指示 原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed/Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書 Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連 国際保健看護学

履修上の注意事項 履修要件:TOEFL450 点以上

連絡先(メールアドレス) 近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー 近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012082				
科目名	国際保健福祉 B			科目 ID	MN-292700-Z
担当教員	緒方　泰子[OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare B

【科目責任者】 看護学専攻主任　佐々木　明

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）　　等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に　日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告書を作成するとともに、海外研修報告会において適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	緒方　泰子
2	10/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方　泰子

授業方法

事前研修の参加、海外研修、海外研修報告会

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

- 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
- グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること
- 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
- 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット 主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。 参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。 海外研修への参加と積極的な活動、10 月 17 日(水)5 限目実施予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。
他科目との関連 国際保健福祉 A, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学
履修上の注意事項 ・ 4 月 11 日(月)16 時 20 分～合同オリエンテーション(3 号館 18 階　保健衛生学講義室 1)に参加すること　・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと　・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である　・ ワシントン(米国)研修参加者は、実践看護英語(Ⅰ)/(Ⅱ)/(Ⅲ)のいずれかを研修前後に受講することが必須である　・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと　・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること
備考 本科目履修後のお願い ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること 　保健衛生学科　海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス　他 ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
連絡先(メールアドレス) 緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012019				
科目名	基礎看護学Ⅱ			科目ID	MN-231600-L
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Fundamental　NursingⅡ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1・2・3・4（3号館17階）

授業の目的、概要等

看護学専門科目に共通する基本的な看護ケア技術を学ぶ。

授業の到達目標

日常生活行動の援助を中心に、技術の科学的根拠となる基礎的知識と具体的な方法を理解する。

1 回目：入院患者の病床環境について説明できる。

2 回目：生命の徴候を客観的に観察し，情報を収集する方法を説明できる。

3 回目：入院患者の運動の意義や身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を説明できる。

4 回目：医療事故の現状、患者の権利と責務について理解し、看護師としての役割を説明ができる。

5 回目：入院患者の衣服の意義や寝床環境について説明できる。

6～7 回目：入院患者の清潔の意義や身体各部の構造・機能に基づいた清潔への援助方法を説明できる。

8 回目：看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を説明できる。

9 回目：感染予防, Infection Control の実際を学び，事故防止，安全確保について説明できる。

10 回目：入院患者における食事の意義と栄養補給，健康について説明ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	環境	入院患者の病床環境について学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
2	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	身体の観察Ⅰ	生命の徴候を客観的に観察し，情報を収集する方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
3	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	運動	入院患者における運動の意義を理解し、身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
4	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	安全	医療事故の現状と患者の権利と責務を理解し、安全や安楽を確保するための基礎 能力を養う。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
5	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	衣生活	入院患者における衣服の意義、寝床環境を理解し、適切な衣服や寝床環境の選択方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
6-7	5/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	身体の清潔	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
8	6/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	身体の観察Ⅱ	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
9	6/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	感染看護	感染予防, Infection Control の実際を学び，事故を防止し，安全を確保するための基礎能力を養う。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
10	6/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	食生活	入院患者における食事の意義と栄養補給，健康について学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子

授業方法 小グループでのディスカッションを交えて進めていくため、積極的に参加すること。
授業内容 日時および内容は変更する場合がある。 4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。
成績評価の方法 単元毎の課題レポート(15%), 学期末筆記試験(80%), および出席状況(5%)により評価する 学期末試験の約 15%に英語を出題するので, 教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。
準備学習等についての具体的な指示 1)講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。 2)単元毎のレポートは期間を設けて Webclass 上に公開する。各自でダウンロードをして提出期限までに提出をする。
教科書 基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,香春, 知永,齋藤, やよい, 1958-,:南江堂, 2018 看護技術プラクティス／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,:学研メディカル秀潤社, 2019
参考書 その他テーマに関連した参考図書を随時紹介
他科目との関連 基礎看護学Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅰの他に, 学習の基礎となる教養の自然科学系, 社会学系の科目, 特に人間科学, 社会学, 心理学, 哲学などを学習しておく。
履修上の注意事項 看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために, 柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験, 社会体験を踏まえ, 幅広い分野の書物に触れ, 社会情勢にも関心を持つことが望ましい。
連絡先(メールアドレス) 柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
オフィスアワー 柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012020				
科目名	基礎看護学Ⅲ			科目ID	MN-231700-L
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Fundamental　NursingⅢ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）ほか

授業の目的、概要等

看護学専門科目に共通する問題解決の思考プロセスとして，看護過程を概念と展開の方法を学ぶ。

1）看護過程のステップを理解する。

2）看護実践における看護過程の展開方法を理解する。

3）ビデオ事例を通した看護過程展開の実際を理解する。

4）実際の患者事例を通した看護過程展開の実際を理解する。

授業の到達目標

1回　看護過程の役割と定義を説明できる。

2回　看護過程の構成要素を説明できる。看護観察について主観的情報と客観的情報が区別できる。

3回　アセスメントとは何かを説明できる。動画を見ながらアセスメントを実践できる。情報統合のやり方と関連図のルールが分かる。

4回　看護問題とは何かが分かる。NANDA-Ⅰの看護診断名の読み方が分かる。

5回　看護問題を PES 方式で表現することができる。期待される成果表現のルールを7つ言える。3つの援助計画がわかる。

6回～8回　事例の看護問題を抽出できる。事例の看護目標を設定できる。事例の援助計画を立案できる。

9回～10回　実習で受け持った患者の看護過程を展開できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室４	看護過程の定義	看護過程とは何か、背景と特徴　看護過程と問題解決方法(POS)との関係	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
2	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室４	看護過程の構成要素（1）主観的・客観的情報、アセスメント	看護過程の構成要素-看護の観察における主観的情報と客観的情報、アセスメント	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
3	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室４	看護過程の構成要素（2）アセスメント、統合	看護過程の構成要素-分析、アセスメント、統合グループワーク	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
4	6/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室４	看護過程の構成要素（3）問題抽出、看護診断	看護過程の構成要素-問題抽出と看護診断	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
5	6/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室４	看護過程の構成要素（4）実施・評価	看護過程の構成要素-目標（成果）と計画立案、実施、記録（目的と種類）、問題の達成評価	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
6	6/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室４	事例による看護過程の展開（1）	事例による看護過程グループワーク	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
7	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室４	事例による看護過程の展開（2）	事例による看護過程グループワーク	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
8	6/25	16:20-17:50	保健衛生学科講義室４	事例による看護過程の展開（3）	事例による看護過程グループワーク	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
9	9/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室４	実習事例による看護過程の展開（1）	受け持ち患者の看護過程（グループワーク）	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
10	11/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室４	実習事例による看護過程の展開（2）	受け持ち患者の看護過程（記録のフィードバック）	柏木　聖代, 大河原　知嘉子

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法 出席状況と講義態度の積極性および課題レポートにより評価する。
成績評価の基準 出席状況 10%、講義参加態度 30%、課題レポート 60%の配分で評価する。
準備学習等についての具体的な指示 1）講義日程を確認し、当該範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。 2）事例による演習は、個人での看護展開をもとにグループワークで進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。
教科書 基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,香春, 知永,齋藤, やよい, 1958-,:南江堂, 2018
参考書 NANDA-I 看護診断 : 定義と分類定義と分類 2018-2020 原書第 11 版／T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美 原書編集,上鶴重美訳,Herdman, T. Heather,上鶴, 重美, 1961-,:医学書院, 2018 参考資料を配付 その他テーマに関連した参考図書を随時紹介
他科目との関連 既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。
履修上の注意事項 講義と事例による演習を並行して行う。受け持ち患者の看護体験をもとに、個々の看護過程を振り返る。あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり, グループワークに積極的に参加することで, 理解を深めること。
連絡先（メールアドレス） 柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
オフィスアワー 柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012021				
科目名	基礎看護学演習Ⅰ			科目ID	MN-251800-S
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所　保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1・2・3・4（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

全ての人に共通する看護実践の基礎的知識と技術を学習する科目である。ここでは日常生活行動の援助を中心に，看護技術を構成する知識，技能，態度の3要素を，演習を通して身につける。

授業の到達目標

基礎看護学Ⅰ・Ⅱで学んだ，看護の概念や看護ケアの方法を，実際のケアに活かせるよう演習する。演習はグループ単位に行い，看護を必要とする人々の生活理解に基づき，ニーズをアセスメントし必要なケアを計画，実施する。また，援助の科学的根拠を追求する姿勢を養い，知識を活用して，考えながら行動するための基本的な技能と態度を身につける。

1･2 回目：看護技術としてのコミュニケーション方法をシミュレートできる。

3･4 回目：病床環境の整備方法を説明でき、クローズドベッドを作ることができる。

5･6 回目：生命の兆候を客観的に観察することができ、正しい方法で呼吸、体温、血圧、脈拍を測定することができる。

7･8 回目：身体各部の構造に合わせた安全な方法で体位変換することができ、安楽な体位に整えることができる。

9･10 回目：身体各部の構造に合わせた安全な方法で移送・移動の援助ができる。

11･12 回目：臥床患者のシーツ交換、寝衣交換を安全・安楽に実施することができる。

13～18 回目：入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造･機能に基づいた清潔ケアの方法を実施することができる。

19･20 回目：全身の系統的な観察方法を実施できる。

21･22 回目：正しい方法で無菌操作を実施できる。

23･24 回目：M3D3N2 を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップを実施できる。

25･26 回目：入院患者における食事の意義や口腔の清潔について理解し、適切な方法で食事介助や口腔ケアを実施できる。

27～32 回目：前期を通じて学んだ看護技術についてグループワークをすることができる。

33～37 回目：前期を通じて学んだ看護技術を患者の安全・安楽・自立を考えた方法で実施できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護とコミュニケーションⅠ	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学び、実践できる。	江龍　伸子, 柏木　聖代, 大河原　知嘉子
3-4	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	ベッドメーキング・環境整備	入院患者の病床環境の調整を行なうための方法と，ベッドメーキングの方法を習得し、実践できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
5-6	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	バイタルサイン測定	呼吸・体温・血圧・脈拍の測定値が示す意味とその変動条件について理解し、正しい方法で測定できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
7-8	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 3	体位変換・良肢位	基本的な安楽な体位の保持，体位変換の方法を習得し、実践できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
9-10	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	移送・移動	基本的な移動・移送の方法を学び、実践できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
11-12	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	寝衣交換・シーツ交換	適切な衣服選択と衣服着脱の援助方法を学び、実践できる。　適切な就床患者のシーツ交換の方法を学び、実践できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子

13	5/28	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3	清潔ケア （手・足浴）	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学び、実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
14-15	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3	清潔ケア（洗髪）	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学び、実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子
16-18	6/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3	清潔ケア（全身清拭・陰部洗浄・おむつ交換・床上排泄）	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学び、実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子
19-20	6/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3, 看護学実習室4	フィジカルアセスメント	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
21-22	6/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3, 看護学実習室4	無菌操作・滅菌手袋装着	滅菌手袋の装着, 滅菌物の取り扱いの方法を学び、実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
23-24	6/23	08:50-12:00	鈴木章夫記念講堂	チーム医療導入	M3D3N2を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップを行える。	佐々木 吉子, 柏木 聖代, 廣山 奈津子
25-26	6/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3	食事介助・口腔ケア	食事援助方法と口腔の清潔を保持する方法を学び、実践できる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
27-29	6/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
30-32	6/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子
33-37	7/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室3, 看護学実習室4	技術試験Ⅱ	習得した看護技術の到達レベルを評価する。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月にWebclassで配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

実技試験, 演習の事前・事後レポート, 出席状況と演習参加の姿勢, 身だしなみにより総合的に評価する。

技術試験の問題の約15%に英語を出題するので、教科書や講義資料に英語も併記してある基本的用語は読めるようにしておく。

準備学習等についての具体的な指示

1）演習事前レポートは期間を設けてWebclass上に公開する。各自でダウンロードして、指定された方法で提出期限までの提出をする。

2）講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。

3）動画教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。

4）演習事後レポートは期間を設けてWebclass上に公開する。演習中の内容に関する回答が必要なため、各自でダウンロードし、必要があれば印刷して演習に持参する。指定された方法で提出期限までに提出をする。

教科書

基礎看護技術 ： 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,：南江堂, 2018

看護技術プラクティス／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,：学研メディカル秀潤社, 2019

参考書

その他, テーマに関連した資料を配付

テーマに関連した参考図書は随時紹介

他科目との関連 既習の基礎看護学Ⅰ・Ⅱ，基礎看護学実習Ⅰ、解剖学，生理学，薬理学，微生物学，生化学，栄養学などの科目との関連性が高い。また，これから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。
履修上の注意事項 1）演習には指定されたユニフォームを着用し，身だしなみを調えてから参加する。　2）未熟な技術は医療事故の大きな原因となる。看護技術は1回の演習で習得できるものではなく、繰り返しの学習や実践での応用によって身につくものである。したがって，1つ1つの技術の熟達度を高めるよう　自助努力が必要である。視聴覚教材の活用や，実習室での自己・グループ学習に，積極的に参加すること。申し出があれば，必要に応じて実習室での自習も許可する。　3）すべての演習は，目的に応じた物品の準備と環境の調整から，実施，後かたづけ，評価の一連のプロセスで構成する。実習室内の環境を整備し、使用後の物品を放置することのないよう、常に現状復帰を心がける。　4）出席を重視する。欠席などで未履修の単元は，友人の協力を得て自主的に学習すること。必要があれば，申し出により補習指導を受けることもできる。
連絡先（メールアドレス） 柏木　聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室
オフィスアワー 柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012022				
科目名	基礎看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-251900-S
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Fundamental NursingⅡ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1・2・3・4（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

全ての人に共通する看護実践の基礎的知識と技術を学習する科目である。ここでは看護実践に統合される看護技術や診療に伴う看護技術を中心に，看護技術を構成する知識，技能，態度の3要素を，演習を通して身につける。

授業の到達目標

基礎看護学Ⅰ・Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱで学んだ，看護の概念や看護ケアの方法を，実際のケアに活かせるよう演習する。演習はグループ単位に行い，看護を必要とする人々の生活理解に基づき，ニーズをアセスメントし必要なケアを計画，実施する。また，援助の科学的根拠を追求する姿勢を養い，知識を活用して，考えながら行動するための基本的な技能と態度を身につける。

1～3 回目：リラックスを促す看護技術としてのリラクセーション技法を実践できる。

4～6 回目：健康および生命維持における排泄の意義を説明することができる。排泄に関する観察方法を適切に実施できる。正しい手順と方法で排泄援助をシミュレートできる。

7～9 回目：薬物療法における看護師の役割について説明することができる。正しい与薬を実施するための方法をシミュレートできる。

10 回目：死を迎える対象および周囲の人々への理解を深め、どのような関わり方があるか説明できる。

11 回目：患者および療養環境における安全について、討論できる。

12～14 回目：検査における看護師の役割について説明することができる。血液検体の採取方法をシミュレートできる。

15･16 回目：看護における人間理解について、生命の本質と看護のかかわりについて説明することができる。

17･18 回目：1 年を通じて学習してきた看護技術についてグループワークができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	リラクセーション	リラックスを促す看護技術としてのリラクセーション技法、タッチング技法を学び、実践できる。	柳　奈津子, 柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 森岡　典子
4	10/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	排泄	健康および生命維持における排泄の意義を理解し，排泄に関する観察方法と，ニーズに応じた援助方法を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 森岡　典子
5-6	10/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	導尿・浣腸	排泄障害に伴う一時的導尿の方法を学び、シミュレートできる。また実施に伴う効果の評価方法や、観察の方法を習得できる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 森岡　典子
7	11/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	薬物療法と看護	薬物を取り扱う際の法的責任について知る。また，薬物の正しい管理や取り扱い，正しい与薬を実施するための知識を学ぶ。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 森岡　典子
8-9	11/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	注射法・経口与薬	各種与薬方法の特徴を理解し，適切な援助方法を学び、シミュレートできる。	柏木　聖代, 大河原　知嘉子, 森岡　典子

10	11/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	グリーフケア	死を迎える対象および周囲の人々への理解を深める。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子
11	11/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	グループワークⅠ	患者および療養環境における安全について, グループワークとディベートを行う。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子
12	11/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	検査と看護	検査の種類, 検査における看護師の役割を知り, 適切な援助方法を学ぶ。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子
13-14	11/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	採血	検査の実際として血液検査を取り上げ, 血液検体の採取技術を学び、シミュレートできる。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子
15-16	12/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	人間の尊厳	看護における人間理解について、生命の本質と看護との関わりについて学ぶ。	丹木 博一, 柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子
17-18	12/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	グループワークⅡ	1 年を通じて学習してきた看護技術について, グループワークを行い、発表する。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4/10(金)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

演習の事前・事後レポート, 出席状況と演習参加の姿勢, 身だしなみ, 筆記試験により総合的に評価する。

筆記試験の約 15%に英語を出題するので, 教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。

準備学習等についての具体的な指示

1)演習事前レポートは期間を設けて Webclass 上に公開する。各自でダウンロードをして、指定された方法で提出期限までの提出をする。

2)講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。

3)動画教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。

4)演習事後レポートは期間を設けて Webclass 上に公開する。演習での内容に関する回答が含まれるため、各自でダウンロードをして、必要であれば印刷をして演習に持参する。指定された方法で提出期限までに提出をする。

教科書

基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,香春, 知永,齋藤, やよい, 1958-,:南江堂, 2018

看護技術プラクティス／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,:学研メディカル秀潤社, 2019

参考書

その他, テーマに関連した資料を配付

テーマに関連した参考図書は随時紹介

他科目との関連

既習の解剖学, 生理学, 薬理学, 微生物学, 生化学, 栄養学などの科目との関連性が高い。加えて、基礎看護学Ⅰ・Ⅱ, 基礎看護学演習Ⅰの科目が基盤となるため、基礎看護学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰの単位を取得したものを履修対象とする。 この科目は、これから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。

履修上の注意事項

1)演習には指定されたユニフォームを着用し, 身だしなみを調えてから参加する。 2)未熟な技術は医療事故の大きな原因となる。看護技術は1回の演習で習得できるものではなく、繰り返しの学習や実践での応用によって身につくものである。したがって, 1つ1つの技術の熟達度を高めるよう自助努力が必要である。視聴覚教材の活用や, 実習室での自己・グループ学習に, 積極的に参加すること。申し出があれば, 必要に応じて実習室での自習も許可する。 3)すべての演習は, 目的に応じた物品の準備と環境の調整から, 実施, 後かたづけ, 評価の一連のプロセスで構成する。実習室内の環境を整備し、使用後の物品を放置することのないよう、常に現状復帰を心がける。 4)出席を重視する。欠席などで未履修の単元は, 友人の協力を得て自主的に学習すること。

連絡先(メールアドレス) 柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー 柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012023				
科目名	基礎看護学実習Ⅱ			科目ID	MN-272000-E
担当教員	柏木　聖代, 大河原　知嘉子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Practice of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）、看護実習室1・2・3・4（3号館17階）、医学部附属病院

授業の目的、概要等

既習の知識・技術を統合し，対象の個別性を考慮した看護を実践するための方法を学ぶ。さらに，看護の実践を通して，看護の責務と態度について考える機会とする。

この実習は，看護に共通する方法や技術を学習することを目的とし，続いて行われる領域別看護実習へ展開させる基礎となる。

授業の到達目標

1）受持患者の生活援助を中心とした看護過程を展開し，基礎的な看護技術を実施する。
　（1）対象を看護の視点でアセスメントする方法を学ぶ。
　（2）対象の個別性を重視した看護の方法を学ぶ。
　（3）日常生活上のニーズをとらえ，基礎的な看護技術を実施する。
2）専門援助的な人間関係をつくる。
　（1）患者との関係を予測し，援助者としての自分を調える。
　（2）目標に向かって相互協力関係を成立させる。
3）臨床場面における看護師としての責務と姿勢・態度を学ぶ。
　（1）事故を予防し安全を促進する責任を学ぶ。
　（2）感染防止の実際を学ぶ。
　（3）生命の尊厳とプライバシーの保護の方法と重要性を学ぶ。
4）学生としての適切な態度・行動をとる。
　（1）患者・家族との適切なコミュニケーションをとる。
　（2）看護チームとの連携をとる。
　（3）他者からの評価を受け入れ，次の行動に活かす。
　（4）カンファレンスに積極的に参加する。
　（5）適切な言葉遣いをする。
　（6）身だしなみがよく，清潔感がある。
　（7）記録が適切であり，期限内に提出する。
　（8）収集した医療看護情報を，適切な時期に報告・伝達する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/3	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
3-4	9/3	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	江龍　伸子, 柏木　聖代, 大河原　知嘉子
5	9/3	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
6-10	9/4	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子
11-15	9/7	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木　聖代, 大河原　知嘉子

16-20	9/8	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
21-25	9/9	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
26-30	9/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
31-35	9/11	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
36-40	9/14	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
41-45	9/15	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子
46-47	9/16	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代, 大河原 知嘉子

授業方法

〔実習対象〕 基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者

〔実習期間〕 9月3日(木)～9月16日(水)

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

1)単位認定は、実習期間3/4以上の出席をもって行う。

2)実習時間の 60%以上の時間を参加することで出席とする。

3)遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。

成績評価の基準

病棟実習評価表、実習記録、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

1)基礎看護学実習の実習要項を読み、基礎看護学実習Ⅱの目的・目標を理解し、自身の目標を立てること。

2)基礎看護学Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術、基礎看護学Ⅲで学習した看護過程について、復習をすること。

3)夏休み期間中の看護学実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。

試験の受験資格

この実習に参加できる学生は、基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者に限る。

他科目との関連

これまでに学んだ基礎看護学等の知識・技術を実際の医療場面に活用し発展させる実習である。

履修上の注意事項

1)実習記録およびメモ類の取り扱いに留意し、看護者としての倫理的配慮を遵守して、守秘義務を果たすこと。 2)態度・身だしなみ・言葉遣いなど、学ぶ者としての基本的な事項を遵守すること。

備考

1)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しない。

2)SNS を通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012024				
科目名	成人看護学Ⅰ			科目ID	MN-232100-L
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult　Health　Nursing Ⅰ

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

共用講義室2（M＆Dタワー2階）、保健衛生学講義室4（3号館7階）ほか

授業の目的、概要等

成人看護学は，Ⅰ～Ⅲで構成している。そのうち，Ⅰは成人期にある人々の特徴を理解し，外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期，および慢性期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義、グループワーク、課題発表を通して学ぶ。これを通して，健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。

授業の到達目標

・成人期にある人々の特徴を理解できる。
・成人期の健康問題とその影響、必要な看護ケアを理解できる。
・外科的・内科的治療を必要とする患者の看護ケアを理解できる。
・回復期，慢性期，退院に関する看護ケアを理解できる。
1～2 回目：成人期の特徴と健康問題を理解できる。
3～5 回目：慢性病患者の特徴と看護について理解できる。
6 回目：手術を受ける患者の心身の特徴と看護について理解できる。
7 回目：手術看護の役割を理解できる。
8～9 回目：術後の心身の変化と看護について理解できる。
10 回目：救急医療システムと看護の役割について理解できる。
11,14 回目：がん患者の治療と特徴、看護について理解できる。
12 回目：災害サイクルと看護の役割について理解できる。
13,15 回目:退院調整活動に関して理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	田中　真琴	
2	4/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	田中　真琴	
3	4/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	田中　真琴	
4	5/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて	田中　真琴	
5	5/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(3)	患者理解とセルフマネージメントを支える看護	田中　真琴	
6	5/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(1)（総論・術前の看護）	手術を受ける患者の心身の特徴と術前における看護の実際	川上　明希	
7	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(2)（術中の看護）	手術室看護師の役割と看護の実際	川上　明希	
8	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(3)（術後の看護①）	術後急性期における看護（観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて）	川本　祐子	
9	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(4)（術後の看護②）	術後回復期における看護（後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について）	川本　祐子	

10	6/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子	
11	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	田中 真琴	
12	6/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	災害看護	災害サイクルにおける看護の役割	佐々木 吉子	
13	6/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	退院支援(1)	退院調整活動の理解	川上 明希	
14	6/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	田中 真琴	
15	6/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	退院支援(2)	退院調整活動の実際	川上 明希	

成績評価の方法

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験, 課題レポートにより評価する。
なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験、課題レポートにより評価する。
なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書等に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第15版)／小松浩子他:医学書院, 2018
臨床外科看護総論(第11版)／矢永勝彦, 髙橋則子 編,:医学書院, 2017

参考書

周手術期看護論(第3版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2014
周術期の臨床判断を磨く : 手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著,:医学書院, 2008
高齢者と成人の周手術期看護 術中／術後の生体反応と急性期看護(第2版)／竹内登美子 編著,:医歯薬出版, 2012
テーマによる参考図書の紹介

履修上の注意事項

解剖・生理学, 病態学を習得のこと。

備考

その他
授業日程、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F
川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00
不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012025				
科目名	成人看護学Ⅱ			科目ID	MN-232200-L
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Adult　Health　NursingⅡ

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

既習の病態学および成人看護学Ⅰをもとに，身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し,それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を、講義、事例検討、討論等を通して学ぶ。

授業の到達目標

アセスメント，一般的看護問題とその成因および看護活動が理解できる。

1～2 回目：脳神経系に障害のある患者の看護について理解できる。

3～4 回目：呼吸器系に障害のある患者の看護について理解できる。

5～6 回目：循環器系に障害のある患者の看護について理解できる。

7 回目：泌尿器系に障害のある患者の看護について理解できる。

8 回目：女性生殖器系に障害のある患者の看護について理解できる。

9 回目：運動器系に障害のある患者の看護について理解できる。

10 回目：膠原病・難病患者の看護について理解できる。

11 回目：感覚器系に障害のある患者の看護について理解できる。

12～13 回目：消化器系に障害のある患者の看護について理解できる。

14 回目：腎疾患患者の看護について理解できる。

15 回目：内分泌・代謝系に障害のある患者の看護について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(1)		田中　真琴
2	10/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(2)		田中　真琴
3	10/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(1)	「基礎編」	矢富　有見子
4	10/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(2)	「実践編」	矢富　有見子
5	10/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(1)	「急性期看護」	梅田　亜矢
6	10/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(2)	「回復期・慢性期看護」	梅田　亜矢
7	10/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	泌尿器系障害患者の看護		川上　明希
8	10/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	女性生殖器系障害患者の看護		川本　祐子
9	10/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	腎障害患者の看護		田中　真琴
10	11/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	運動器系障害患者の看護		植田　満美子
11	11/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	膠原病・難病患者の看護		鵜沢　久美子
12	11/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	感覚器系障害患者の看護		花出　正美
13	11/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(1)	「管腔臓器編」	田中　真琴
14	11/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(2)	「肝胆膵編」	田中　真琴
15	12/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	内分泌・代謝系障害患者の看護		内堀　真弓

成績評価の方法

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験，課題レポートにより評価する。

なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考図書に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

参考書

病期・病態・重症度からみた　疾患別看護過程＋病態関連図（第 3 版）／井上智子他：医学書院

エビデンスに基づく　疾患別看護ケア関連図／阿部俊子監修：中央法規出版

看護のための臨床病態学（改訂 3 版）／浅野嘉延他：南山堂

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論（第 14 版）／小松浩子他：医学書院, 2014

臨床外科看護総論（第 11 版）／矢永勝彦, 髙橋則子　編,：医学書院, 2017

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

前期での成人看護学Ⅰ（概論）および解剖・生理学, 病態学の授業資料や教科書等を参照し、内容をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

解剖学, 生理学, 病態学, 薬理学との知識を統合させながら, 講義内容の理解に努めること。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F

川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012026				
科目名	精神看護学			科目ID	MN-232300-L
担当教員	高野　歩, 栗林　一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Psychiatric　Nursing

【科目責任者】高野　歩

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

精神看護の前提となる、精神疾患の病態、精神科診断学、治療学等の精神医学の基礎知識を修得する。また、リエゾン精神医学・看護、司法精神医療等、精神医療の関連領域における治療の理論や方法について学ぶ。精神医療・精神保健福祉における法律、制度、施策に関する知識を修得し、わが国における課題について考察する。これらの内容を看護学の視点から再考し、看護職の役割や看護援助への活用について考察する。

授業の到達目標

1～9・13 回目：精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、障害学、診断学に基づいて評価する方法について理解することができる。また、薬物療法、心理社会的療法、精神科リハビリテーションの理論や方法について説明できる。

10 回目：司法精神医学における精神疾患の評価と精神鑑定について学び、司法精神医療の制度や治療について理解することができる。

11・12 回目：精神医療と精神科看護の歴史について理解を深め、わが国の精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策の実際や課題を理解することができる。

14 回目：リエゾン精神医学・看護について学び、身体疾患患者における精神的な問題と介入、リエゾン精神科医およびリエゾン精神看護専門看護師の役割やチーム医療の実際について理解することができる。

15、16 回目：心理社会的療法、セルフケアモデル、家族支援の理論や方法、ストレングスモデルやリカバリーの考え方に基づいた支援・看護について理解することができる。また、精神保健医療チームにおける看護職の役割や看護援助の方法について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神障害の分類、疫学	精神疾患の診断分類、障害学に基づく理解、精神障害の疫学、精神医療・精神保健福祉の概要	高野　歩, 栗林　一人
2	10/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	器質性精神病の診断と治療	意識障害・せん妄による精神症状、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状、診断、治療	竹内　崇, 高野　歩, 栗林　一人
3	10/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	統合失調症の診断と治療	統合失調症、妄想性障害の症状、診断、治療	田村　赳紘, 高野　歩, 栗林　一人
4	10/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	気分障害の診断と治療	うつ状態と躁状態、気分障害の症状、診断、治療	塩飽　裕紀, 高野　歩, 栗林　一人
5	10/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	神経症性障害、ストレス関連性障害、身体表現性障害およびパーソナリティ障害の診断と治療	神経症性障害の概念、不安障害、強迫性障害、解離性転換性障害、身体表現性障害／パーソナリティ障害の症状、診断、治療	松本　有紀子, 高野　歩, 栗林　一人
6	10/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	小児期に発症する行動・情緒障害の診断と治療	発達障害・素行障害の症状、診断、治療、支援の方法	三木　崇弘, 高野　歩, 栗林　一人
7	10/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	生物学的精神医学の到達点	脳科学から見た今後の精神医学、治療への応用	髙橋　英彦, 高野　歩, 栗林　一人
8	10/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	物質関連障害および嗜癖性障害群の診断と治療	物質使用障害、ギャンブル障害、ゲーム障害の症状、診断、治療	治徳　大介, 高野　歩, 栗林　一人
9	11/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用	田村　赳紘, 高野　歩, 栗林　一人

10	11/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	司法精神医学・看護	精神障害に起因する司法的問題、精神疾患の評価と精神鑑定の概要、司法精神医療の制度と治療	岡田 幸之, 高野 歩, 栗林 一人
11	11/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神医療と精神科看護の歴史	精神医療および精神科看護の歴史、精神障害者の人権とアドボカシー	長沼 洋一, 高野 歩, 栗林 一人
12	11/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策	精神保健福祉法と関連法規の概要、精神保健福祉法と入院制度、精神保健福祉施策の現状と課題	長沼 洋一, 高野 歩, 栗林 一人
13	11/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	てんかんの診断と治療	てんかん発作の病態と診断、治療、てんかん性精神障害に対する介入	稲次 基希, 高野 歩, 栗林 一人
14	11/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	リエゾン精神医学・看護	リエゾン精神医学・看護の概要、身体疾患患者における精神的な問題と介入、リエゾン精神看護専門看護師の役割	松岡 裕美, 高野 歩, 栗林 一人
15	12/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	心理社会的療法と看護(1)	心理社会的療法(心理教育、認知行動療法、SST など)の理論と方法、セルフケアモデルの理論と看護	高野 歩, 栗林 一人
16	12/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	心理社会的療法と看護(2)	家族支援の理論と方法、ストレングスモデルの理論と活用、リカバリー指向の支援・看護	高野 歩, 栗林 一人

授業方法　講義

授業内容　授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、学期末の筆記試験により評価する。

成績評価の基準　60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示　既習の関連する他科目の授業を復習しておくこと。

教科書　武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

日本精神科看護技術協会監修「改訂 精神看護学」中央法規出版、2006
中井久夫・山口直彦著「看護のための精神医学」医学書院、2001
融道男他監訳「ICD-10 精神及び行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン 新訂版」医学書院、2005
高橋三郎他訳「DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版」医学書院、2014
世界保健機関(WHO)「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版」中央法規、2002
笠原嘉「精神病」岩波書店、1998
神田橋條治「追補精神科診断面接のコツ」岩崎学術出版、1994
土居健郎「新訂方法としての面接」医学書院、1992
C.S. エイメンソン(松島義博他訳)「家族のための精神分裂病入門」星和書店、2001
松本キミ子「キミ子方式スケッチ入門」JTB、2001
J.R.ランデル他(松浦雅人、松島英介訳)「コンサルテーション・リエゾン精神医学ガイド」メディカル・サイエンス・インターナショナル、2002
白石弘巳・田上美千佳編著「事例にみるうつ病の理解とケア」精神看護出版、2006
田上美千佳編著「シリーズ・ともに歩むケア 家族にもケア―統合失調症 はじめての入院」精神看護出版、2004
中井久夫「精神科治療の覚書」日本評論社、1982
岩崎弥生・渡邉博幸編「新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健」メヂカルフレンド社、2002

他科目との関連　看護心理学、地域精神看護学、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項　WebClass の精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp
栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2)。
栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学研究室 2)

時間割番号	012002				
科目名	看護心理学			科目ID	MN-290100-L
担当教員	高野　歩, 栗林　一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	1～2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Nursing　psychology

【科目責任者】高野　歩

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な知識、技術を築くため、心のしくみと働きについて理解を深める。自分自身の心と身体を通して心身の健康およびストレスマネジメントについて学修し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。体験記や体験の語りから対象への共感性を高め、対象の心理を理解しながら行う支援についての基本的な考え方を身につける。

授業の到達目標

1 回目：人格診断、心理測定、自己分析の方法を自分自身に適用し、心のしくみと心の健康について理解を深めることができる。

2 回目：心と人格の発達について、理解を深め考えることができる。

3 回目：心の健康・身体の健康はつながっていることについて理解を深め、自身のストレスについて考えることができる。

4 回目：呼吸法や瞑想法を実際に体験することにより、ストレス対処の方法について理解を深めることができる。

5～7 回目：病気という体験やトラウマについて、当事者やその家族・支援者から体験談を聴き、語り合うことによって、当事者や家族の気持ちに寄り添い共感できる感性を培い、またセルフ・ヘルプグループやピアサポートの実際について知ることができ、病気の回復との関連について考えることができる。

8 回目：心の健康の維持と支援について理解を深めることができ、これまでの講義から看護心理学について考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心のしくみと心の健康	心のしくみと働き、心の健康とは、人格の構造、人格と精神状態の評価方法(心理測定法)、人間と環境との相互作用(応答的な環境)、対人関係とコミュニケーション	高野　歩, 栗林　一人
2	10/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心と人格の発達	エリクソンの発達図式、母子相互作用と乳幼児期の発達、青年期の挫折とアイデンティティ形成、中高年の危機と生涯発達	高野　歩, 栗林　一人
3	10/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心の健康・身体の健康	病気や障害のもたらす心の働きと理論、心の健康と身体の健康、心理的ストレスの発生、ストレスとコーピング	高野　歩, 栗林　一人
4	10/20	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	ストレス・マネジメント、心の健康への支援	代替療法と統合医療、マインドフルネスの概念、リラクセーション技法(呼吸法、ストレス低減法)	高野　歩, 栗林　一人
5	10/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	体験としての病（1）	がんに罹患した人々とその家族への支援	山﨑　智子, 高野　歩, 栗林　一人
6	11/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	体験としての病（2）	病気という体験① 病気を抱えること、「いのち」、セルフ・ヘルプグループ	井上　千恵美, 高野　歩, 栗林　一人
7	11/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	体験としての病（3）	病気という体験② がん患者とその家族を中心に、病気の受容、病と共に生きるということ	澁谷　裕, 高野　歩, 栗林　一人
8	12/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	心の健康の維持と支援	援助関係の発展、感性の育成	高野　歩, 栗林　一人

授業方法　講義、演習

授業内容　授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、課題レポートにより評価する。

成績評価の基準

60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読む、体験談を聞く等対象者の心理に関心をよせることを心がける。
対象の苦痛や苦悩等の体験を理解して支援する姿勢をもって臨んで欲しい。
自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

（＊講義中にも提示する）
日本精神科看護技術協会監修「改定 精神看護学」中央法規出版、2006
宮本真巳「感性を磨く技法2 異和感と援助者アイデンティティ」日本看護協会出版会、1996
宮本真巳「感性を磨く技法3 セルフケアを援助する」日本看護協会出版会、1996
服部祥子「生涯人間発達論」医学書院、2000
リチャード・ラザルス（本明寛他訳）「ストレスの心理学」実務教育出版、1991
E.H.エリクソン（西平直他訳）「アイデンティティとライフサイクル」誠信書房 、2011
ダニエル・ゴールマン（土屋京子訳）「EQ－こころの知能指数」講談社、1995
D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「赤ちゃんはなぜなくの ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（上）」星和書店、1985
D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「子どもはなぜあそぶの 続・ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（下）」星和書店、1986

他科目との関連

基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の看護心理学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先（メールアドレス）

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp
栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2）。
栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学研究室 2）

時間割番号	012027				
科目名	小児看護学Ⅰ			科目ID	MN-232400-L
担当教員	岡光　基子, 矢郷　哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pediatric　Nursing Ⅰ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

小児は成長発達する存在であり，大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達の視点から理解し，また，学校保健の視点から成長期にある幼児，児童，生徒，学生の健康の保持増進をはかるための，学校教育および学校保健管理活動について，講義，討論，演習などを通して学習する。

授業の到達目標

第1回:子ども観の変遷，小児保健統計，ヘルスプロモーションの概念について説明できる

第2回:乳児期の形態，運動，精神的発達、生活について説明できる

第3回:幼児期の形態，運動，精神的発達，生活について説明できる

第4回:学童期の形態，運動，精神的発達，生活について説明できる

第5回:思春期の形態，運動，精神的発達，生活について説明できる

第6回:学校保健の目的，対象，内容，方法，学校保健法について説明できる

第7回:学校保健管理の実際(健康診断・相談，生活・環境管理，学校安全)について説明できる

第8回:学校給食・栄養教育の意義・目的，食育推進事業の実際について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	子どもとは　小児の健康:子ども観の変遷　小児保健統計・ヘルスプロモーション	岡光　基子
2	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	乳児期の運動・精神的発達と生活の特徴	矢郷　哲志
3	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	幼児期の運動・精神的発達と生活の特徴	岡光　基子
4	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学童期の運動・精神的発達と生活の特徴	矢郷　哲志
5	6/5	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	思春期の運動・精神的発達と生活の特徴	幸本　敬子
6	6/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健総論:学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法	小出　由紀子
7	6/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際:健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全	小出　由紀子
8	6/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際:学校給食・栄養教育	島崎　聡子

授業内容

子どもの成長発達の理解，子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために，また，学校保健の理念と実践，技法を学ぶため，以下の講義内容を編成する。

成績評価の方法

定期試験，課題レポート，リフレクティブレポート，出席，授業への参加態度により総合的に評価する。

尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

初回の授業で課題を提示する。教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護 第 6 版／中野綾美編：メディカ出版, 2019
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2)：小児看護技術 第 4 版／中野 綾美編：メディカ出版, 2019
連絡先（メールアドレス）
岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
オフィスアワー
岡光 基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012028				
科目名	小児看護学演習Ⅰ			科目ID	MN-252500-S
担当教員	岡光　基子, 矢郷　哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所　保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

多様化しつつある子どもの環境および生活の中で，小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し，必要な看護ケアと技術を講義，討論などを通して学習する。

授業の到達目標

第1回：小児看護の特徴，医療システム，病気・入院による子どもと家族の反応について説明できる
第2回：小児の神経，運動器疾患の病態と治療について説明できる
第3回：小児の外科系疾患の病態と治療について説明できる
第4回：小児の内分泌・代謝性疾患の病態と治療について説明できる
第5回：小児の血液・腫瘍性疾患，アレルギー疾患，免疫疾患の病態と治療について説明できる
第6回：小児の循環器疾患，川崎病の病態と治療について説明できる
第7回：小児の腎疾患の病態と治療について説明できる
第8回：小児の呼吸器疾患，感染症の病態と治療，予防接種の要点について説明できる
第9回：急性疾患をもつ小児の観察・アセスメント，看護の要点について説明できる
第10回：1型糖尿病をもつ小児の生活，看護の要点について説明できる
第11回：周手術期にある小児と家族への看護の要点について説明できる
第12回：小児がんをもつ小児の生活，看護の要点について説明できる
第13回：慢性腎臓病をもつ小児の生活，看護の要点について説明できる
第14回：慢性疾患をもつ小児と家族への心理社会的支援について説明できる
第15回：ターミナル期にある小児の看護の要点について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	小児看護の対象と役割：小児看護とは（小児と医療システム）／小児を取り巻く環境Ⅰ：病気・入院による子どもと家族の反応	岡光　基子
2	9/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：神経、運動器疾患	荒木　聡
3	10/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：小児外科	岡本　健太郎
4	10/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：内分泌・代謝性疾患	小野　真
5	10/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：血液・腫瘍性疾患、アレルギー、免疫	梶原　道子
6	10/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：循環器、川崎病	細川　奨
7	10/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：腎疾患	宇田川　智宏
8	10/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論：呼吸器、感染症、予防接種	細川　奨
9	10/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	急性疾患をもつ小児の看護：小児の急性期の主要症状と看護	岡光　基子

10	10/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護：1型糖尿病をもつ小児と家族の看護	矢郷　哲志
11	11/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	急性疾患をもつ小児の看護：周手術期にある小児と家族の看護（外科系疾患）	村田　知佐恵
12	11/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護：小児がんをもつ小児と家族の看護	永吉　美智枝
13	11/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児と家族の看護：慢性腎臓病をもつ小児と家族の看護	矢郷　哲志
14	12/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護：慢性疾患をもつ小児と家族の心理社会的支援	村瀬　有紀子
15	12/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児と家族の看護：ターミナル期にある小児の看護	篠原　美代

授業内容

小児特有の疾患を理解し，看護実践に必要な知識とスキルを習得するための学習をする。

成績評価の方法

定期試験，リフレクティブレポート，出席，授業への参加態度により総合的に評価する。
尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

≪系統看護学講座　専門分野Ⅱ≫　小児看護学[2]　小児臨床看護各論（第13版）／奈良間　美保他：医学書院，2015
ナーシング・グラフィカ　小児看護学(1)：小児の発達と看護　第6版／中野綾美編：メディカ出版，2019

他科目との関連

小児看護学Ⅰで学んだ健康な小児の理解を基に，小児の疾患，小児看護の各論について学習する。解剖学，生理学で学んだ小児の特徴について知識を習得していることが必要である。

連絡先（メールアドレス）

岡光　基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp　3号館19F
矢郷　哲志:sycfn@tmd.ac.jp　3号館18F

オフィスアワー

岡光　基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012089				
科目名	地域保健看護学Ⅰ			科目ID	MN-232900-L
担当教員	佐々木　明子, 津田　紫緒[SASAKI AKIKO, TSUDA SHIO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community　Health　Nursing Ⅰ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

地域保健看護学Ⅰは，人々の健康課題やそれに関連する生活上の課題を，総合的に達成したり，解決するための基盤となるものである。

地域看護・公衆衛生看護は，地域の健康課題の把握に基づき，家庭や地域社会で生活する人々を対象とし，健康の保持・増進，疾病の予防，健康回復と悪化の予防，リハビリテーションなど地域における活動の基盤となる。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関係する諸制度を，歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特性を把握した上で，ライフサイクル，健康レベル，疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく，看護の方法の選択と，諸機関との協働で組織的に展開するための活動を習得する。

授業の到達目標

1)「1~8 回」地域看護・公衆衛生看護活動の目的，活動の成立要件，活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。

2)「1~8 回」ヘルスケアシステムにおける地域看護・公衆衛生看護の機能を理解する。

3)「5,6 回」地域看護・公衆衛生看護活動の法律・歴史を理解し，今後の活動について考えられる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	佐々木　明子
2	4/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	佐々木　明子, 津田　紫緒
3	4/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田　久美子
4	4/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田　久美子
5	5/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	佐々木　明子, 津田　紫緒
6	5/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	佐々木　明子, 津田　紫緒
7	5/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健・福祉行政と看護活動の展開	佐々木　明子, 津田　紫緒, 鹿島田　祐子
8	5/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護活動の実際	佐々木　明子, 津田　紫緒, 鹿島田　祐子

成績評価の方法

定期試験，レポート

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料（教科書、参考書を含む）を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いて振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学／上野昌江，和泉京子編,上野，昌江,和泉，京子,：中央法規出版，2016

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション　第1巻　地域看護学概論／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社，2007

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション　第3巻　ヘルスプロモーションの展開／清水洋子他監修：丸善出版株式会社，2007

(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社，2014

参考書

国民衛生の動向 2018/2019 2018 年 08 月号 [雑誌]: 厚生の指標 増刊／厚生労働統計協会／編集.:厚生労働統計協会, 2018-08

最新公衆衛生看護学 第2版 2016 年版 総論／宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編.:日本看護協会出版会, 2016

新版 保健師業務要覧 第3版 2018年版／井伊久美子、荒木田美香子、松本珠実、堀井とよみ、村嶋幸代、平野かよ子 編集:日本看護協会出版会, 2018

実践ヘルスプロモーション:precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン、マーシャル・W.クロイター 著、 神馬征峰 訳:医学書院, 2005

標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論:医学書院, 2015

最新保健学講座 1 公衆衛生看護学概論／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2015

衛生行政大要 改訂第 24 版:日本公衆衛生協会, 2016

地域看護学／福島道子 編:オーム社, 2007

他科目との関連

地域保健看護学は, 基礎看護学や臨床看護学の各科目との関連領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。

履修上の注意事項

本教科は, 講義のみではなく, 課題について考えるディスカッション, グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp 3号館 19F

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 明子:アポイントを取ったうえで随時実施

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話:03-5803-5350

時間割番号	012029				
科目名	在宅看護学Ⅰ			科目ID	MN-232600-L
担当教員	山﨑　智子, 内堀　真弓[YAMAZAKI TOMOKO, UCHIBORI MAYUMI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Home　Care　Nursing Ⅰ

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

保健医療福祉の中での在宅看護、特に訪問看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解する。

授業の到達目標

保健医療福祉の領域で、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々に対して、実際の看護提供の仕組みを理解した上で、看護の役割と実際を学ぶ。

1回目：在宅ケアのしくみを説明できる。

2回目：在宅看護の特徴を知り、ケアの実際を説明できる。

3回目：在宅における家族アセスメントの必要性を知り、家族支援の実際を説明できる。

4回目：慢性疾患療養者および高齢療養者の特徴を知り、看護の役割を説明できる。

5回目：終末期にある在宅療養者の特徴を知り、看護の視点を説明できる。

6回目：難病療養に関わる制度や社会の仕組みを知り、訪問看護の実際を説明できる。

7～8回目：精神疾患療養者への生活支援を知り、看護の実際を理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅看護学総論　在宅ケアのしくみ	内堀　真弓
2	10/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の特徴　ケアの実際	内堀　真弓
3	10/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅ケアにおける家族支援	山﨑　智子
4	10/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　慢性疾患療養者・高齢療養者	内堀　真弓
5	11/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　終末期療養者	内堀　真弓
6	11/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　難病療養者	内堀　真弓
7	11/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　精神疾患療養者	中野　真樹子
8	11/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　精神疾患療養者	中野　真樹子

授業方法

出席について：講義中に配布するレスポンスシートに、評価・感想を記入し、その提出を以って出席とする。

成績評価の方法

定期試験、レスポンスシート、随時実施する小テスト、課題レポート、出席状況、授業への参加態度により総合的に評価する。

なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

定期試験、レスポンスシート、随時実施する小テスト、課題レポート、出席状況、授業への参加態度により総合的に評価する。

なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に、教科書や配布する文献・資料等の該当箇所を読んでおくこと。

特に、在宅療養支援に関連する法制度については、参考書や事前配布資料、「保健医療福祉制度論」の資料を活用して事前に学習しておくこと。

教科書

在宅看護過程 ： 関連図で理解する／正野逸子, 本田彰子編著,正野, 逸子,本田, 彰子,：メヂカルフレンド社, 2018

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表 ； 秋山正子 [ほか執筆],河原, 加代子,秋山, 正子,小倉, 朗子,乙坂, 佳代,：医学書院, 2017

写真でわかる訪問看護アドバンス ： 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,：インターメディカ, 2016

他科目との関連 　3年次に学習する在宅看護学Ⅱ、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目であるので、2年次に履修および単位取得していることが進級に必要である。
連絡先（メールアドレス） 山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp 内堀　真弓:uchibori.chn@tmd.ac.jp　　3 号館 19F
オフィスアワー 山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと　3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室 内堀　真弓:事前連絡にて随時　3 号館 19 階在宅ケア看護学研究室2

第３学年

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/1	水										
2	木										
3	金										

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/6	月										
7	火			母性看護学Ⅰ(1)	2	成人看護学演習(1)	2	成人看護学演習(2)	2	〔自〕国際保健福祉C オリエンテーション	1
8	水	Global Nursing Communication Ⅱ(1)	①2②セミナー室10 ③セミナー室12	Global Nursing Communication Ⅱ(2)	①2②セミナー室10 ③セミナー室12						
9	木	小児看護学Ⅱ(1)	2	小児看護学演習Ⅱ(1)	2	母性看護学演習(1)	2			母性看護学Ⅰ(2)	2
10	金					地域精神看護学(1)	2				

	②	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月	老年看護学(1)	2	老年看護学(2)	2	精神看護学演習(1)	2	精神看護学演習(2)	2	〔自〕実践看護英語Ⅱ(1)	2
14	火	母性看護学Ⅱ(1)	2	母性看護学Ⅱ(2)	2	老年看護学演習(1)	実習室1				
15	水	〔自〕実践看護英語Ⅱ(2)	2	Global Nursing Communication Ⅱ(3)	①2②セミナー室10 ③セミナー室12						
16	木			Global Nursing Communication Ⅱ(4)	①2②セミナー室10 ③セミナー室12	小児看護学演習Ⅱ(2)	2 実習室2	小児看護学Ⅱ(2)	2	小児看護学Ⅱ(3)	2
17	金			地域保健看護学Ⅱ(1)	2	地域保健看護学Ⅱ(2)	2	地域精神看護学(2)	2	地域精神看護学(3)	2

	③	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月	老年看護学(3)	2	老年看護学(4)	2	精神看護学演習(3)	2	〔選〕リハビリテーション看護学(1)	2		
21	火	母性看護学Ⅰ(3)	2	母性看護学Ⅲ(1)	2	成人看護学演習(3)	実習室1～4	成人看護学演習(4)	実習室1～4	成人看護学演習(5)	実習室1～4
22	水	〔自〕実践看護英語Ⅱ(3)	2	Global Nursing Communication Ⅱ(5)	①2②セミナー室10 ③セミナー室12	成人看護学Ⅲ(1)	2	学内就職説明会(15時～)	1	学内就職説明会(15時～)	1
23	木	小児看護学演習Ⅱ(3)	2	小児看護学Ⅱ(4)	2	母性看護学Ⅰ(4)	2	母性看護学Ⅲ(2)	2	母性看護学Ⅲ(3)	2
24	金					地域精神看護学(4)	2	母性看護学Ⅱ(3)	2	母性看護学演習(2)	2

	④	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月	老年看護学(5)	2	老年看護学(6)	2	精神看護学演習(4)	2	〔選〕リハビリテーション看護学(2)	2		
28	火	母性看護学Ⅱ(4)	2	母性看護学Ⅲ(4)	2	老年看護学演習(2)	実習室1	老年看護学演習(3)	実習室1		
29	水	昭和の日									
30	木										
5/1	金					地域精神看護学(5)	2	~~Global Nursing Communication Ⅱ(6) TOEFL/ITP~~	延期	~~Global Nursing Communication Ⅱ(7) TOEFL/ITP~~	延期

	⑤	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木	成人看護学Ⅲ(2)	2	成人看護学Ⅲ(3)	2	小児看護学演習Ⅱ(4)	2	小児看護学演習Ⅱ(5)	2	小児看護学Ⅱ(5)	2
8	金	地域保健看護学Ⅱ(3)	2	地域保健看護学Ⅱ(4)	2					〔自〕実践看護英語Ⅱ(4)	2

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

	⑥	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月	老年看護学(7)	2	老年看護学(8)	2	精神看護学演習(5)	2	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(3)	2	母性看護学演習(3)	実習室2 実習室3
12	火	母性看護学Ⅱ(5)	2	母性看護学Ⅱ(6)	2	老年看護学演習(4)	実習室1	老年看護学演習(5)	実習室1	老年看護学演習(6)	実習室1
13	水			Global Nursing Communication Ⅱ(8)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12					〔自〕実践看護英語Ⅱ(5)	2
14	木			成人看護学Ⅲ(4)	2	母性看護学Ⅱ(7)	2	母性看護学Ⅲ(5)	2	母性看護学Ⅲ(6)	2
15	金					地域精神看護学(6)	2	在宅看護学演習(1)	2	在宅看護学演習(2)	2

	⑦	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月	老年看護学(9)	2	老年看護学(10)	2	精神看護学演習(6)	2	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(4)	2	〔自〕実践看護英語Ⅱ(6)	2
19	火	母性看護学Ⅱ(8)	2	母性看護学演習(4)	2	老年看護学演習(7)	講義室2 実習室1	老年看護学演習(8)	講義室2 実習室1	老年看護学演習(9)	講義室2 実習室1
20	水	Global Nursing Communication Ⅱ(9)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	Global Nursing Communication Ⅱ(10)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12						
21	木					小児看護学Ⅱ(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(7)	2
22	金	地域保健看護学Ⅱ(5)	2	地域保健看護学Ⅱ(6)	2	在宅看護学演習(3)	2	在宅看護学演習(4)	2	地域精神看護学(7)	2

	⑧	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月	老年看護学(11)	2	老年看護学(12)	2	精神看護学演習(7)	2	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(5)	講義室2 実習室1		
26	火	母性看護学Ⅲ(7)	2	母性看護学Ⅰ(5)	2	成人看護学演習(6)	実習室 1～4	成人看護学演習(7)	実習室 1～4	成人看護学演習(8)	実習室 1～4
27	水	〔自〕実践看護英語Ⅱ(7)	2	Global Nursing Communication Ⅱ(11)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	在宅看護学演習(5)	2 実習室2	在宅看護学演習(6)	2 実習室2		
28	木					母性看護学演習(5)	2	母性看護学演習(6)	2		
29	金	地域保健看護学Ⅱ(7)	2	地域保健看護学Ⅱ(8)	2	地域精神看護学(8)	2	在宅看護学演習(7)	2	在宅看護学演習(8)	2 実習室2

	⑨	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月	老年看護学(13)	2	老年看護学(14)	2	精神看護学演習(8)	2	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(6)	2		
2	火	母性看護学Ⅰ(6)	2	母性看護学Ⅰ(7)	2	老年看護学演習(10)	講義室2 実習室1	老年看護学演習(11)	講義室2 実習室1	老年看護学演習(12)	講義室2 実習室1
3	水	〔自〕実践看護英語Ⅱ(8)	2	Global Nursing Communication Ⅱ(12)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	母性看護学演習(7)	実習室 1～4	母性看護学演習(8)	実習室 1～4	母性看護学演習(9)	実習室 1～4
4	木			成人看護学Ⅲ(5)	2	小児看護学演習Ⅱ(8)	2	小児看護学演習Ⅱ(9)	2	小児看護学演習Ⅱ(10)	2
5	金	在宅看護学Ⅱ(1)	2	在宅看護学Ⅱ(2)	2	在宅看護学演習(9)	2 実習室1 実習室2	在宅看護学演習(10)	2 実習室1 実習室2		

	⑩	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月	老年看護学(15)	2	老年看護学(16)	2	精神看護学演習(9)	2	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(7)	講義室2 実習室1	〔選〕ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護学(8)	講義室2 実習室1
9	火			成人看護学Ⅲ(6)	2	母性看護学演習(10)	講義室2 実習室 1,2	母性看護学演習(11)	講義室2 実習室 1,2		
10	水	〔自・2〕実践看護英語Ⅱ(9)	2	Global Nursing Communication Ⅱ(13)	①2②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室6	疫学(1)	2	疫学(2)	2		
11	木	母性看護学演習(12)	講義室2 実習室 1,2	母性看護学演習(13)	講義室2 実習室 1,2	成人看護学Ⅲ(7)	2	成人看護学演習(9)	2 実習室 1～4	成人看護学演習(10)	2 実習室 1～4
12	金	在宅看護学Ⅱ(3)	2	在宅看護学Ⅱ(4)	2	在宅看護学演習(11)	2	在宅看護学演習(12)	2 実習室2		

2020年度時間割（看護学専攻：第3学年）

2020.4.1

	⑪	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月	老年看護学(17)	2	老年看護学(18)	2	精神看護学演習(10)	2	精神看護学演習(11)	2		
16	火	母性看護学Ⅰ(8)	2	母性看護学Ⅲ(8)	2	成人看護学演習(11)	実習室1～4	成人看護学演習(12)	実習室1～4	成人看護学演習(13)	実習室1～4
17	水			Global Nursing CommunicationⅡ(14)	①②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	疫学(3)	2	疫学(4)	2	〔自〕実践看護英語Ⅱ(10)	2
18	木	疫学(5)	2	疫学(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(11)	2	小児看護学演習Ⅱ(12)	2	小児看護学Ⅱ(7)	2
19	金	在宅看護学Ⅱ(5)	2	在宅看護学Ⅱ(6)	2	在宅看護学演習(13)	2	在宅看護学演習(14)	2		

	⑫	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月	老年看護学(19)	2	老年看護学(20)	2	精神看護学演習(12)	2	精神看護学演習(13)	2		
23	火	疫学(7)	2	疫学(8)	2	成人看護学演習(14)	実習室1～4	成人看護学演習(15)	実習室1～4	成人看護学演習(16)	実習室1～4
24	水	Global Nursing CommunicationⅡ(15)	①②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	Global Nursing CommunicationⅡ(16)	①②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12	成人看護学Ⅲ(8)	2	小児看護学Ⅱ(8)	2		
25	木	小児看護学演習Ⅱ(13)	2	小児看護学演習Ⅱ(14)	2	老年看護学演習(13)	実習室1～4	老年看護学演習(14)	実習室1～4	老年看護学演習(15)	実習室1～4
26	金	在宅看護学Ⅱ(7)	2	在宅看護学Ⅱ(8)	2	在宅看護学演習(15)	講義室2 実習室2 実習室3	在宅看護学演習(16)	講義室2 実習室2 実習室3		

	⑬	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月	老年看護学(21)	2	老年看護学(22)	2	精神看護学演習(14)	2	精神看護学演習(15)	2		
30	火	小児看護学演習Ⅱ(15)	2	保育園実習オリエンテーション（各園）							
7/1	水			Global Nursing CommunicationⅡ(17)	①②ｾﾐﾅｰ室10 ③ｾﾐﾅｰ室12						
2	木					母性看護学演習(14)	実習室2,3,4 談話室	母性看護学演習(15)	実習室2,3,4 談話室	母性看護学演習(16)	2 実習室2
3	金	保育園実習オリエンテーション（各園）									

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/6	月	老年看護学(23)	2	老年看護学(24)	2	精神看護学演習(16)	2				
7	火										
8	水										
9	木	前期定期試験									
10	金	前期定期試験									

	②										
7/13	月	前期定期試験									
14	火	前期定期試験									
15	水	前期定期試験									
16	木	前期定期試験									
17	金	前期定期試験									

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

	⑮										
7/20	月	保育園実習									
21	火	保育園実習									
22	水										
23	木	海の日									
24	金	スポーツ日									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/27	月										
28	火										
29	水										
30	木	オープンキャンパス(予定)									
31	金										

夏季休業　7/27(月)～

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

(後期)

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/14	月	小児看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)				臨地実習					
15	火	臨地実習									
16	水	臨地実習								〔自〕Learning Medical English(1)	セミナー室 4
17	木	臨地実習									
18	金										

	②	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	秋分の日									
23	水	臨地実習								〔自〕Learning Medical English(2)	セミナー室 4
24	木	在宅看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)									
25	金	臨地実習									

	③	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月	小児看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)				臨地実習					
29	火	臨地実習									
30	水									〔自〕Learning Medical English(3)	セミナー室 4
10/1	木	臨地実習									
2	金										

	④	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月	臨地実習									
6	火										
7	水			卒業論文Ⅰ(1)	2					〔自〕Learning Medical English(4)	セミナー室 4
8	木	臨地実習									
9	金										

	⑤	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	創立記念行事									
13	火	臨地実習									
14	水	卒業論文Ⅰ(2)	情報検索室	卒業論文Ⅰ(3)	情報検索室					海外研修報告会	1
15	木	臨地実習									
16	金										

	⑥	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月	臨地実習									
20	火										
21	水			卒業論文Ⅰ(4)	4					〔自〕Learning Medical English(5)	セミナー室 4
22	木	臨地実習									
23	金										

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

	⑦	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月	臨地実習									
27	火										
28	水			卒業論文Ⅰ(5)	2					〔自〕Learning Medical English(6)	セミナー室 4
29	木	臨地実習									
30	金										

	⑧	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月	臨地実習									
3	火	文化の日									
4	水			卒業論文Ⅰ(6)	2					〔自〕Learning Medical English(7)	セミナー室 4
5	木	臨地実習									
6	金										

	⑨	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月	小児看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)				臨地実習					
10	火	臨地実習									
11	水									看護のみ〔自〕Learning Medical English(8)	セミナー室 4
12	木	臨地実習									
13	金										

	⑩	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	臨地実習									
17	火										
18	水	卒業論文Ⅰ(7)	2	卒業論文Ⅰ(8)	2						
19	木	臨地実習									
20	金										

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

	⑪	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火	臨地実習									
25	水										
26	木	臨地実習									
27	金										

	⑫	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月	臨地実習									
12/1	火										
2	水										
3	木	臨地実習									
4	金										

	⑬	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月	小児看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)				臨地実習					
8	火	臨地実習									
9	水	卒業論文Ⅰ(9/10)/卒論発表会									1･2他
10	木	臨地実習									
11	金										

	⑭	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月	臨地実習									
15	火										
16	水	卒業論文Ⅰ(11)	2	卒業論文Ⅰ(12)	2	学内進路説明会	2				
17	木	臨地実習									
18	金										

	⑮	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										
22	火										
23	水										
24	木										
25	金										

冬季休業　12/22(火)～

2020年度時間割(看護学専攻:第3学年)

2020.4.1

	①	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火										
6	水			卒業論文Ⅰ(13)	2						
7	木										
8	金										

	②	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火	臨地実習									
13	水	卒業論文Ⅰ(14)	情報検索室	卒業論文Ⅰ(15)	情報検索室						
14	木	臨地実習									
15	金										

	③	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/18	月	臨地実習									
19	火										
20	水			卒業論文Ⅰ(16)	情報検索室						
21	木	臨地実習									
22	金										

	④	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/25	月	臨地実習									
26	火										
27	水										
28	木	臨地実習									
29	金										

	⑤	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
2/1	月	臨地実習									
2	火										
3	水										
4	木	臨地実習									
5	金										

	⑥	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
2/8	月					在宅看護学実習報告会	2	在宅看護学実習報告会	2		
9	火					老年看護学実習振り返り学習(講義室1)			1		
10	水										
11	木	建国記念日									
12	金										

春季休業 2/15(月)～

時間割番号	012031				
科目名	疫学			科目ID	MN-330100-L
担当教員	緒方　泰子, 横山　徹爾[OGATA YASUKO, Tetsuji Yokoyama]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Epidemiology

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

疫学は，人間集団を対象にして，疾病，異常，障害，さらに，健康の頻度（率）の分布を記述し，これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと，集団レベルで，原因不明の疾病の原因を追求する学問である。

授業の到達目標

1.疫学の概要と、有病率・罹患率・死亡率等の疾病頻度の指標を説明できる。（総論 1）
2.記述疫学の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。（総論 1）
3.症例・対照研究、コホート研究、介入研究の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。（総論 2,3）
4.観察研究における交絡の意味と、因果関係に関する Hill の判断基準を説明できる。（総論 4）
5.循環器疾患の動向とリスク因子について説明できる。（各論 1）
6.がんの動向とリスク因子について説明できる。（各論 2）
7.環境が健康に与える影響を疫学的に考察できる。（各論 3）
8.健康課題解決のための疫学研究を提案できる。（演習）

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	総論 1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山　徹爾
2	6/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	総論 2	記述疫学、横断研究、生態学的研究	横山　徹爾
3	6/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	総論 3	症例・対照研究、コホート研究、介入研究	横山　徹爾
4	6/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	総論 4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山　徹爾
5	6/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	各論 1	循環器疾患の疫学	横山　徹爾
6	6/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	各論 2	がんの疫学	横山　徹爾
7	6/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	各論 3	環境問題と疫学	横山　徹爾
8	6/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	演習	健康問題の解決	横山　徹爾

授業方法

講義とグループワーク演習。

授業内容

総論では，疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では，わが国における生活習慣病対策や疫学研究等を材料にして，疫学方法論の知識を深める。演習では，具体的な事例を題材にして，健康問題の発見，当該健康問題の原因追及，予防対策の樹立，予防対策の実施，予防対策の評価をシミュレーションし，疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。

成績評価の方法

筆記試験，課題レポートにより評価する予定。

成績評価の基準

筆記試験，課題レポートで採点し，60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患，がん，感染症，その他一般的な疾患の定義，症状，診断，治療，予防の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル，例えば，平均値，標準偏差，平均値の差の検定，率の差の検定，相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。

試験の受験資格

規定の出席条件を満たしていること。

教科書
疫学入門演習（第 3 版）: 原理と方法／田中平三 著,:南山堂, 1998
参考書
はじめて学ぶやさしい疫学 : 疫学への招待／日本疫学会 監修,田中平三, 秋葉澄伯 総編集,:南江堂, 2010 空間疫学への招待 : 疾病地図と疾病集積性を中心として／丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦 著,:朝倉書店, 2007
他科目との関連
衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は, 疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方, 疫学で使われる手法は卒業論文, 学位論文などの研究にも密接に結びついている。
履修上の注意事項
教科書は必携
連絡先（メールアドレス）
緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階
オフィスアワー
緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012032A				
科目名	Global Nursing Communication Ⅱ			科目 ID	MN-310300-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS, Warren Ashley Robert, Warren L Elizabeth]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Nursing Communication Ⅱ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　3 号館 講義室 2、M&D タワーｾﾐﾅｰ室 10 とｾﾐﾅｰ室 12

授業の目的、概要等

医療ケアや患者とのコミュニケーションに関連する英語を学ぶ。さらに、患者-看護師のロールプレイを行い、17 回目の口述試験の準備を行う。

学生の英語運用能力(TOEL スコア)により 3 クラス作成し、少人数制で行う。ネイティブの英語教員が概念を紹介し、小グループでのディスカッションに参加する。

ネイティブの英語教員による英語の授業により英語力のみならず異文化感受性能力の変化を向上させる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 1:（自宅勉強） Unit 2: Don't worry	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
2	4/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 3: How are you feeling?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN, MAYO MARIA GIANINA
3	4/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 4: Take the elevator please.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
4	4/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 5: What are your symptoms?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, MAYO MARIA GIANINA
5	4/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 6: Where does it hurt?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
6	5/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	TOEFL 受験		近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
7	5/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	TOEFL 受験		近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
8	5/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 7: How long have you had these symptoms?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
9	5/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 8: Have you ever had any serious illnesses?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
10	5/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 9: I'm going to take a blood sample.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH

11	5/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 10: You need to have an x-ray.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
12	6/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 11: Let me take your vital signs.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
13	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 6		Unit 12: Your surgery will be tomorrow.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
14	6/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 13: There are three kinds of medicine.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
15	6/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 14: Are you worried about anything?	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
16	6/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Unit 15: It's time to be discharged.	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH
17	7/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2, 共用セミナー室 10, 共用セミナー室 12		Oral examination and essay	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH

授業方法

前週の復習、小テスト、事前学習の確認、ディスカッション、ロールプレー

授業内容

割り当てられた宿題をして、教科書で授業に来てください。 また、最終的な口頭試験に備えて、看護師/患者のロールプレイを練習します。

Seikyo から教科書を購入する[Lifesaver Basic English in Medical Situations ISBN:978-4-7773-6036-9]

成績評価の方法

Class participation: 50%

Final exam: oral and essay 35%

TOEFL: 15%

成績評価の基準

Students will be graded based on their active participation in group and pair discussion, their attendance and exams.

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答え考え、その内容及び講義資料を持参すること。ロールプレイの準備もしてくること。

試験の受験資格

(有) 口頭試験とエッセイ

教科書

Lifesaver : basic English in medical situations／井上真紀, 佐藤利哉著,井上, 真紀,佐藤, 利哉,:マクミランランゲージハウス, 2005

履修上の注意事項

事前学習は必ず実施してくること。　ネイティブの英語教員による英語の授業により異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:毎週月曜日 PM 4:00-5:00 1 号館―4 階 教授室

時間割番号	012033				
科目名	卒業論文Ⅰ			科目ID	MN-330400-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Thesis Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

講義室2、情報検索室

授業の目的、概要等

研究の基礎知識、文献の読み方・まとめ方、研究計画書の書き方の基本について学ぶ。情報検索室において実際文献検索を行い、4年次の卒業論文Ⅱに向けた準備を行う。文献のクリティークを通して論文の内容をうのみにするのではなく、批判的に読む訓練を行う。英語の論文を読むことで英語論文に慣れ、日本国内のことのみならず、世界的に視野を広げることを目指す。4 年生の卒業論文発表会に参加することで、1 年後の目標を明確にする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

日本語の論文のみならず、英語の論文を読むことで視野を広げ、英語論文に慣れる（7、8、13-16 回）。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

看護・保健専門職における研究の意義と必要性を理解する。看護の質の向上のためにはどのような研究が必要か考えることができる（1-5,9-12 回）。

論文のクリティークのグループワークを通して、自分の意見を述べ、他の学生の意見を取り入れ協力することで、全体としてより完成度の高いアウトカム（クリティークのまとめ）を導くことができる（8 回）。

3. 問題提起・解決能力の修得

看護実践としてルチンで行われていることに対し、その意義やエビデンスに基づく看護実践であるか考え、先行研究からの情報も踏まえ、看護研究テーマとして取り上げることができる。

原著論文のクリティークを行うことができる（6-8 回）。

4. 自己学習能力・創造性の形成

他の課題や実習期間なども考慮して時間管理し、授業に臨むことができる（1-16 回）。

4 年次の卒業論文の進め方を理解し、研究テーマを絞り、テーマに沿った方法を検討するプロセスを理解することができる。

研究計画書の書き方を理解する（13 回）。

研究を行いたい分野を決め、関連する文献のまとめができる（14-16 回）。

5. 国際性の形成

日本国内のことのみならず、英語論文も読んで世界的にどのような先行研究が行われ、どのような看護研究が必要かを考えることができる（1－16 回）。海外の講師の授業を聴き、質問することができる（15 回）。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	看護研究の基礎知識	看護研究とは何か　看護研究の種類、方法の特徴	近藤　暁子
2	10/14	08:50-10:20	情報検索室	看護研究の基礎知識	文献検索の意義と方法　PubMed CINAHAL での検索方法	近藤　暁子, 澁川　穂積
3	10/14	10:30-12:00	情報検索室	看護研究の基礎知識	研究の倫理	小笹　由香
4	10/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	看護研究の基礎知識	質的研究	近藤　暁子
5	10/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	看護研究の基礎知識	量的研究	近藤　暁子
6	11/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	文献の読み方	クリティークの方法	近藤　暁子
7	11/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	論文講読	英語原著論文講読	近藤　暁子
8	11/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	論文講読	英語原著論文グループディスカッション・発表	近藤　暁子
9	12/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤　暁子
10	12/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤　暁子

11-12	12/16	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	
13	1/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	研究計画書	研究計画書の書き方	近藤 暁子
14	1/13	08:50-10:20	情報検索室	文献研究	図書館での演習	近藤 暁子
15	1/13	10:30-12:00	情報検索室	文献検索	文献研究の例	近藤 暁子
16	1/20	10:30-12:00	情報検索室	文献検索	図書館での演習	近藤 暁子

授業方法

講義、原著論文講読、文献検索演習、4 年生の卒論発表会への参加も含む。

講義は教員が一方的に話すのではなく、適宜学生に質問する。この回答内容により評価は行わないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。自発的な発言者がない場合は名簿からランダムに指名する。

講義の際、卒業生が卒業論文をもとに雑誌に発表した論文(日本語・英語)を例として取り上げながら、論文の読解方法、研究テーマの絞り方、研究計画書の書き方、論文の書き方を学ぶ。1コマは海外の講師とSkypeで中継し、講義を受ける。教員は適宜通訳するが英語を聴くよう努力すること。

12 月 9 日は 4 年生の卒業論文発表会に出席し、1 年後に自分が発表することを想定し、目標を明確にする。

毎回授業の最後にリアクションペーパーを配布するので、その日に学んだこと、印象に残ったことを記述し、講義終了後に回収する。授業開始時の出欠確認とリアクションペーパーの提出を持ってその日の出席とする。

12 月 16 日は 4 年生の卒業論文Ⅱの分野を決める方法についてのオリエンテーションを行う。必ず出席すること。

授業内容

看護研究の基本、文献の読み方、研究計画書の書き方、文献検索

成績評価の方法

参加度・学習態度 30%、文献クリティーク 30% 、最終課題 40%

1) 参加度・学習態度 30%:出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。電車が遅延した場合は遅延証明を得てその裏に名前を書いて提出すること。遅延証明がある場合にも 45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認めにくいので、電車の遅延なども考慮し、早めに登校することを勧める。

2) 文献クリティーク(英語 1 文献) 30%:7、8 回で行った英語論文のクリティークについて、グループワークおよび講義内での解説を聞いた上で理解したことを各自まとめて提出する。(提出期限 1 月 8 日 24 時)

3)最終課題 40%:14、16 回の情報検索室での演習で自分の興味のある論文を少なくとも 3 文献選んで読み、その研究論文を指定した書式内にまとめる(英語論文少なくとも1本を含む3論文の文献リストを作成する。1文献につき2ページ以内、最大6ページ以内にまとめる)(提出期限:2 月 9 日 24 時 課題提出遅れ(1 日につき-1 点))

準備学習等についての具体的な指示

実習中の講義であるが、時間管理を行い、事前学習・事後学習を行うこと。

教科書

黒田裕子の看護研究 Step by Step 第 2 版／黒田裕子 著,黒田, 裕子, 1954-,:医学書院, 2017

参考書

看護研究サポートブック : ワークシートで研究計画書がラクラク完成!／足立はるゑ 著,:メディカ出版, 2017

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 編著,:医歯薬出版, 2007

よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 : 量的研究のエキスパートをめざして／横山美江 編,:医歯薬出版, 2011

履修上の注意事項

情報検索室で講義の時は 4F 廊下から直接入ってください(図書館閲覧室側からは入れません)。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目 ID	MN-492500-L
担当教員	沢辺　元司[SAWABE MOTOJI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】沢辺　元司

主な講義場所　MDタワー22F　共用セミナー室4

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/16	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第2章　心血管疾患	小試験+通読	沢辺　元司
2	9/23	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第3章　呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺　元司
3	9/30	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第4章　神経疾患	小試験+通読	沢辺　元司
4	10/7	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第5章　胃腸疾患	小試験+通読	沢辺　元司
5	10/21	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第6・7章　筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺　元司
6	10/28	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第8・9章　免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺　元司
7	11/4	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第 10・11 章　腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺　元司
8	11/11	16:20-17:50	共用セミナー室 4	第 12 章　生殖器疾患	小試験+通読	沢辺　元司

授業方法　講義形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

教科書

Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016

上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷板を購入してください。

参考書　特に指定しない。

他科目との関連

解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書（約 5,000 円）はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。

参照ホームページ　教科書のリンクです

連絡先（メールアドレス）

沢辺　元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp　3号館 16F　内線 5370

オフィスアワー

沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが，事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3 号館 16 階

時間割番号	012087				
科目名	実践看護英語Ⅱ			科目ID	MN-392900-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

実践看護英語Ⅱ
【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

3号館8階講義室2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。自文化について理解を深め、日本文化以外を持つ対象に対して英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答に応じる。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得
今年のテーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成
文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3. 問題提起・解決能力の修得
ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
4. 自己学習能力・創造性の形成
ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。
5. 国際性の形成
ワシントン大学の学生に対し、英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答、建設的なディスカッションをすることで、英語でのコミュニケーションを躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	・ワシントン大学の学生に対して自己紹介文を入力する　・ワシントン大学の学生の自己紹介に対してコメント・質問を入力する。 https://padlet.com/kniitsu/Spring2020Intro	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加
2	4/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy and technology	CARLSON REBECCA LYNN	
3	4/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy in healthcare	CARLSON REBECCA LYNN	
4	5/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Videogames and Healthcare	Jonathan Corliss	
5	5/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Accessibility and Gamification in Health and Technology	Jonathan Corliss	
6	5/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Resilience and culture　・ワシントン大学の学生の質問に回答する。　・プレゼンのパワーポイント作成・アップロード(5月20日24時まで) https://padlet.com/kniitsu/presentation	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加

7	5/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤 暁子, 新津 晃右	ワシントン大学の学生と共同講義
8	6/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤 暁子, 新津 晃右	ワシントン大学の学生と共同講義
9	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Political system and current issues in Hong Kong	近藤 暁子, VICO Chiang	
10	6/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	UW の学生のホームページプロジェクトを評価** COIL の感想***	近藤 暁子, 新津 晃右	

授業方法

講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2 コマワシントン大学の学生と共有する。その他ワシントン大学の学生とオンラインでのディスカッションを行う。

授業内容

1) 講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2－5 コマ)。

3) 香港の教員と Skype をつなぎ、講義およびディスカッションを行う(9 コマ)

4) 5 コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL)と共同で行う(1、6－8、10 コマ)。そのうちの 2 コマはワシントン大学の学生とインターネットで中継して共有し、本学の学生は日本文化の紹介を行い、ワシントン大学の学生はそれに対する質問を行う(8－9コマ)。その他3コマはワシントン大学の学生と自己紹介についてお互い質問およびコメントを行い(1コマ)、ワシントン大学のレジリエンスについてのホームページプロジェクトについてのオンラインでの評価・コメントを行う(10 コマ)。

*4 月 13 日の「プレゼンのテーマを考える」は、下記①②の中から各自選択する。

①ワシントン大学の学生のプロジェクトの中から1つ選んで特に日本の状況について紹介する:

* Loss & Grief
* Disaster
* Rape and other sexual assault
* Military
* Terrorism
* Poverty
* Serious mental illness

②日本の伝統的文化(習慣)について紹介する:例えば、正月やお盆の行事と意味などの紹介。

**6 月 17 日の UW の学生のホームページプロジェクトの評価は指定の評価表に従って入力する。

***COIL の感想は下記内容について自由記述する。これは成績とは無関係であり、今後の授業の進め方の参考にしたいので、忌憚のない意見を自由に記述していただきたい。

① General comments about the experience in this class

② What did you learn in this class, especially regarding cultural difference and similarity?

③ How can you utilize what you learned in this class for nursing?

④ How do you think you can improve your communication skills based on what you learned in this class?

成績評価の方法

全体的参加度:30%(出席状況、授業中の積極的な発言)

COIL 参加度(ワシントン大学の学生とのコミュニケーションとプロジェクト評価):40%

最終プレゼンテーション:30%(1 つの文化について調べたことを英語でプレゼンし、ワシントン大学の学生と質疑応答する。ワシントン大学の学生からのフォードバック・評価も含

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書 Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer
他科目との関連 国際保健看護学
履修上の注意事項 履修要件：TOEFL450 点以上
連絡先（メールアドレス） 近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
オフィスアワー 近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012083				
科目名	国際保健福祉 C			科目 ID	MN-392800-Z
担当教員	緒方　泰子[OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare C

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）　　等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に　日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告書を作成するとともに、海外研修報告会において適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	緒方　泰子
2	10/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方　泰子

授業方法

事前研修の参加、海外研修、海外研修報告会

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

- 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
- グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること
- 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
- 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット 主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。 参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。 海外研修への参加と積極的な活動、10 月 17 日(水)5 限目実施予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。
他科目との関連 国際保健福祉 A, 国際保健福祉 B, 国際保健福祉 D,国際保健看護学
履修上の注意事項 ・ 4 月 11 日(月)16 時 20 分～合同オリエンテーション(3 号館 18 階 保健衛生学講義室 1)に参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である ・ ワシントン(米国)研修参加者は、実践看護英語(Ⅰ)/(Ⅱ)/(Ⅲ)のいずれかを研修前後に受講することが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること
備考 本科目履修後のお願い ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること 保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他 ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
連絡先(メールアドレス) 緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012034				
科目名	成人看護学Ⅲ			科目ID	MN-330500-L
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Adult　Health　NursingⅢ

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

成人看護学を取り巻く最近注目されている話題についての概要を講義やグループ討論等を通して学ぶ。これにより国内外での社会の動きに目を向ける意識をより高めることと，社会的ニーズの変化に対応すべく看護の役割を果たしている第一線の看護の専門家の努力や開拓の困難さを学ぶ。

授業の到達目標

・各話題について，注目される社会的背景や概要を理解する。

・各話題についての開拓者としての努力や困難さを理解し、質疑ができる。

1 回目：専門職としての看護の発展について理解する。

2 回目：NP、看護管理者の活動の実際を理解する。

3 回目：CNS の活動の実際を理解する。

4 回目：臨床研究を支えるリサーチナースの役割（国内外の動向）を理解する。

5 回目：チーム医療における看護の役割を理解する。

6 回目：看護過程の発表・討論の準備ができる。

7 回目：エイズ治療の現状を踏まえ、コーディネータや看護の役割を理解する。

8 回目：高度先進・先端医療における看護の役割を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	専門職としての発展	専門職集団としての発展、専門職者としての成長について	田中　真琴	
2	5/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	NP および看護管理者としての活動	アメリカでの Advanced nurse および本邦での看護管理者としての　取り組み	鈴木　美穂	
3	5/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	CNS の活動	CNS(Clinical Nurse Specialist)の役割と活動内容	荒井　知子	
4	5/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	リサーチナースの役割	臨床研究を支えるリサーチナースの役割（国内外の動向）	藤原　紀子	
5	6/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	チーム医療	クリティカルケア看護におけるチーム医療	古厩　智美	
6	6/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	事例発表　フィードバック		田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子	
7	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	HIV/AIDS コーディネーターナースの役割	めざましく発展するエイズ治療の現状をふまえた HIV/AIDS 患者の看護ケア	杉野　祐子	
8	6/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	先端医療と看護の役割	高度医療・先端医療に果たす看護の役割	山中　源治	

授業内容

各講義は，５～１０分間の質疑応答時間を設けることがあるので，積極的な質疑を行うこと。

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

授業への出席・参加状況およびレポートにより評価する。レポートについては、授業内で提示する。

準備学習等についての具体的な指示 事前に各話題についての知識をまとめておく。 事前課題がある場合は提出すること。
教科書 各担当者の指定による。
他科目との関連 成人看護学Ⅰ，Ⅱを習得しておくこと。
履修上の注意事項 医療関係の時事的話題をとりあげた新聞やテレビ番組からも情報を得ることも心がけること。
連絡先（メールアドレス） 田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F 川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F 川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F
オフィスアワー 田中　真琴:月曜～金曜　AM9:00-PM18:00 不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012035				
科目名	成人看護学演習			科目ID	MN-350600-S
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Adult Health Nursing

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室（3号館17階）

授業の目的、概要等

成人看護学の一部として3年次に，既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて，成人期にあり，急性，慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を，患者体験を含めて段階的に修得する。

授業の到達目標

2年での学習を基礎に，上記内容を習得し，臨地実習が円滑に展開できるようにする。

1～2 回目：成人患者の看護過程の方法を理解し、事例についてグループ討論ができる。

3～5 回目：体液管理の基礎と合併症予防の方法を理解し、実践できる。1 例目の看護過程のグループ討論ができる。

6～8 回目：手術患者・重症患者の観察と報告方法を理解し、基礎的な技術を実践できる。1 例目の事例に関してグループ討論ができる。

9～10 回目：1 例目の看護過程のまとめを発表し討論できる。2 例目の事例に関してグループ討論ができる。

11～13 回目：創傷ケアと基本的な術後援助について理解し、基礎的な技術を実践できるようになる。2 例目の看護過程をグループで討論できる。

14～16 回目：回復促進・悪化予防のケアについて理解し、基礎的な技術を実践できる。2 例目の看護過程をグループで討論し、まとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	13:00-16:10	TV 会議システム（遠隔授業）	看護過程概論	オリエンテーション、成人患者の看護過程の具体的方法論、成人期にある事例について、看護アセスメント・看護計画立案	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子
3-5	4/21	13:00-17:50	TV 会議システム（遠隔授業）	技術演習・看護過程演習①	体液管理の基礎、術前呼吸訓練、血糖管理	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子, 青木　春恵, 黒田　式子
6-8	5/26	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習②	手術患者・重症患者の観察と合併症予防	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子, 青木　春恵, 黒田　式子
9-10	6/11	14:40-17:50	保健衛生学科講義室 2	技術チェック	技術の確認	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子, 青木　春恵, 黒田　式子
11-13	6/16	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習③	創傷ケア・術後離床に対するケア	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子, 青木　春恵, 黒田　式子
14-16	6/23	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習④	吸引、経管栄養に対するケア	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子, 青木　春恵, 黒田　式子

授業内容

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験（N3前期）、演習に臨む身だしなみや態度、レポートや看護過程などの記録物により評価する。

なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

事前学習の資料を配布するので学習して演習を受けること。

参考書

高齢者と成人の周手術期看護 : 術中／術後の生体反応と急性期看護(第 2 版)／竹内登美子 編著,:医歯薬出版, 2012

周術期の臨床判断を磨く : 手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著,:医学書院, 2008

看護のための臨床病態学(改訂 3 版)／浅野嘉延, 吉山直樹 編集,:南山堂, 2017

周手術期看護論(第 3 版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2014

臨床外科看護総論(第 11 版)／矢永勝彦, 髙橋則子 編,:医学書院, 2017

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第 15 版)／小松浩子他:医学書院, 2018

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

基礎看護学に引き続き, 他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり, 臨地実習(成人看護学実習)を円滑に行う上で必須の科目であるので, 積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

技術演習に関しては, 学内での演習であるが, 臨地実習と同じ心構えで臨み, 服装, 態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012036				
科目名	成人看護学実習			科目ID	MN-370700-E
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Clinical Practice of Adult Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】田中　真琴

授業の目的、概要等

さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち，その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め，既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により，必要な看護を指導者とともに実践し，評価することを学ぶ。

授業の到達目標

1）患者の健康・機能障害を理解し，援助する。
　（1）健康・機能障害の原因・誘因を理解する。
　（2）患者の自覚症状・他覚症状を把握する。
　（3）健康状態を系統的に観察する。
　（4）患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し，適切な援助をする。
　（5）行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。
　（6）患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。
2）生命が脅かされている場合には，生命維持・回復のための看護活動ができる。
3）　異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。
　（1）予測される悪化因子を指摘する。
　（2）悪化の徴候を早期に発見し，予防的な看護活動を行う。
　（3）機能回復のための適切な看護活動を行う。
4）健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し，援助を行う。
　（1）患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。
　（2）日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。
　（3）日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。
　（4）患者の症状，苦痛を和らげるような援助を行う。
　（5）患者の心理的・社会的問題を把握する。
　（6）患者の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
　（7）自己管理を阻害する因子を指摘する。
　（8）自己管理ができるように援助する。
　（9）患者に必要な社会的資源を列挙する。
　（10）日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。
　（11）家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
5）リハビリテーション期における援助を行う。
　（1）リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。
　（2）病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。
6）在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。
　（1）患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。
　（2）退院後の生活目標に向けて，適切な援助を行う。
7）医療チームにおける看護師の役割を理解する。
　（1）医師，その他の関係職種の役割を理解する。
　（2）チームにおける看護師の役割を理解する。
8）以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。
　（1）情報収集する。
　（2）収集した情報を分析，統合し，看護診断する。
　（3）具体的な目標を設定する。

（4）目標達成のための看護活動を計画する。
（5）計画した看護活動を実践する。
（6）展開した看護過程を評価する。
9）看護専門職としてふさわしい態度を身につける。
（1）看護技術の一般的手順と原則をふまえ，患者の個別性を加味し，実施においては十分な復習と準備を行う。
（2）患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。
（3）患者の持てる力を生かした援助方法を考える。
（4）情報収集を看護援助に生かすとともに，看護援助をしながら情報収集をする。
（5）援助を提供する側・される側の視点から，のぞましい手順や方法を考え，実践する。
（6）グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。
（7）看護とは何かを考え，学究的態度（文献活用・事例検討）で実習する。
（8）丁寧で親切な接遇を心がける。
（9）連絡・報告には責任をもつ。
（10）受け持ち看護師や指導者に相談し，助言やコメントを積極的に得ようと努める。
（11）看護援助の実践に先立ち，患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
2	9/29	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
3	10/1	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
4	10/2	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
5	10/5	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
6	10/6	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
7	10/8	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
8	10/9	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
9	10/12	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
10	10/13	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
11	10/15	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
12	10/16	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
13	11/2	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
14	11/5	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
15	11/6	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
16	11/9	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

17	11/10	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
18	11/12	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
19	11/13	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
20	11/16	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
21	11/17	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
22	11/19	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
23	11/20	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
24	11/30	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
25	12/1	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
26	12/3	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
27	12/4	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
28	12/7	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
29	12/8	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
30	12/10	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
31	12/11	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
32	12/14	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
33	12/15	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
34	12/17	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
35	1/12	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
36	1/14	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
37	1/15	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
38	1/18	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
39	1/19	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
40	1/21	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

41	1/22	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
42	1/25	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
43	1/26	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
44	1/28	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
45	1/29	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
46	12/18	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席状況、実習に臨む態度、身だしなみおよび記録物により評価する。

準備学習等についての具体的な指示

看護実践に必要な基礎技術を復習すること(実習室での練習日を設ける)。

看護過程や実習病棟の疾患と看護については特に復習してのぞむこと。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012037				
科目名	地域精神看護学			科目ID	MN-330800-L
担当教員	高野　歩, 栗林　一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community　Psychiatric　Nursing

【科目責任者】高野 歩

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

地域に暮らす人々の精神的健康を守るための精神保健医療福祉をめぐる社会状況と制度やシステムについて理解する。看護職が地域の社会資源を活用しながら精神障害者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて担うべき役割について学修する。

授業の到達目標

1 回目：精神障害者が地域で暮らすということについて理解を深め、身近なものとしてイメージすることができる。また退院促進、地域移行、地域定着支援という精神障害者をめぐる社会状況に関する理解を深めることができる。

2 回目：地域における精神障害者への多職種連携による支援の実際と、看護師が行う支援と役割について理解を深めることができる。

3 回目：リカバリーとスティグマについて、その考え方、構造について理解し、アンチスティグマについて考えることができる。

4 回目：保健所・市区町村における精神保健看護の実際について知ることができ、地域で暮らす精神障害者に対する保健師の支援について考えることができる。

5 回目：アディクションとしての自傷について理解を深め、支援について考えることができる。

6 回目：社会復帰支援について学修し、社会資源や精神科デイケアでの実際の援助内容、就労支援について理解を深めることができる。

7 回目：災害時のメンタルヘルスと支援について理解し、考えることができる。

8 回目：地域における精神科アウトリーチによる支援の実際について知り、精神科訪問看護、精神科アウトリーチについて考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	地域精神保健看護　精神障害者が地域で暮らすということ	地域精神保健看護とは、退院促進、地域移行、地域定着支援、精神障害と生活障害、自立支援をめぐる課題	高野　歩, 栗林　一人
2	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	精神障害者への地域支援	精神障害者への地域での相談支援事業、地域活動支援センターでの事業、就労継続支援事業、グループホーム	高野　歩, 栗林　一人
3	4/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	リカバリーとスティグマ	リカバリーの考え方、スティグマの構造、アンチスティグマ	松長　麻美, 高野　歩, 栗林　一人
4	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神保健福祉をめぐる社会状況と看護職による精神障害者への地域支援	保健所・市区町村における精神保健看護、地域精神保健のシステムと地域資源	陣立　良太, 高野　歩, 栗林　一人
5	5/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	アディクションの理解と支援	アディクションの要因、支援の実際（治療プログラム、自助グループなど）	松本　俊彦, 高野　歩, 栗林　一人
6	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	社会復帰支援	社会資源、精神科デイケアの理念と活動、就労支援	金子　慈史, 高野　歩, 栗林　一人
7	5/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	災害時のメンタルヘルス	災害時のメンタルヘルス支援、Psychological First Aid	宮本　有紀, 高野　歩, 栗林　一人
8	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神科アウトリーチによる支援の実際	精神科訪問看護、精神科アウトリーチにおける看護師の支援の実際と役割	木戸　芳史, 高野　歩, 栗林　一人

授業方法　講義

授業内容　別表参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、リフレクティブレポート、学期末の筆記試験により評価する。

成績評価の基準

60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

既習の関連する他科目の授業を復習しておくこと。

地域精神看護学は、精神保健医療福祉をめぐる社会状況と密接に関わっているため、日頃から関連するニュース等に関心を持ち情報収集をしておくことが望ましい。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

公益財団法人日本訪問看護財団監修／萱間真美、寺田悦子編著「精神科訪問看護」中央法規出版、2015

マリー・ダナヒー他著／菊池安希子監訳「臨床が変わる！PT・OT のための認知行動療法入門」医学書院、2014

ダグラス・ターキングトン著／菊池安希子他訳「リカバリーをめざす統合失調症の認知行動療法ワークブック」星和書店、2016

松本俊彦著「アルコールとうつ・自殺ー「死のトライアングル」を防ぐために」岩波書店、2014

松本俊彦著「自分を傷つけてしまう人のためのレスキューガイド」法研、2018

安西信雄編著「地域ケア時代の精神科デイケア実践ガイド」金剛出版、2006

信田さよ子「DV と虐待ー家族の暴力に援助者ができること」医学書院、2002

浅野弘毅著「精神科デイケア学―治療の構造とケアの方法」M.C.MUSE Inc、2015

宮本真巳・安田美弥子編著「アディクション看護」医学書院、2008

宮本真巳他編著「実践精神科看護テキスト 14 薬物・アルコール依存症看護」精神看護出版、2008

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）「ユースアドバイザー養成プログラム(改訂版):関係機関による個別的・継続的な若者支援体制の確立にむけて」内閣府、2010

他科目との関連

看護心理学、精神看護学、精神看護学演習、社会福祉学、産業保健学、健康管理論等の科目と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の地域精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先（メールアドレス）

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2）。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください（3 号館 18 階精神保健看護学研究室 2）

時間割番号	012038				
科目名	精神看護学演習			科目ID	MN-350900-S
担当教員	高野 歩, 栗林 一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Psychiatric Nursing Seminar

【科目責任者】 高野 歩

主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)

授業の目的、概要等

演習を通じて精神看護の実践に必要な援助の理論と方法を修得する。精神障害を有する人における精神疾患と生活障害との関連について、生物・心理・社会モデルやセルフケアモデルによりアセスメントし、必要な看護援助を考案する方法を修得する。援助的な対人関係を構築する技術を身につけ、精神障害を有する人の回復、成長、自立を支援するための知識と技術を修得する。グループワークを通して、他者と協働して学習する能力を養う。

授業の到達目標

1 回目:精神看護の目的と機能について理解を深め、生物・心理・社会モデルに基づくアセスメント方法を理解することができる。

2～4 回目:精神障害の病態や症状(幻覚・妄想、抑うつ・躁状態、不安、心的外傷、物質依存・行動嗜癖、自傷・自殺)に応じた看護について理解を深め、援助方法を説明することができる。

5 回目:精神障害を有する人の体験談を聞き、精神障害を抱えて生きることについて理解を深め、リカバリー指向の支援のあり方について考察することができる。

6 回目:精神看護における援助関係構築やコミュニケーション技法に関する理論を理解し、自分自身のコミュニケーションスタイルについて振り返り、コミュニケーションを看護実践に活かす方法を修得することができる。

7 回目: セルフケアモデルに基づくアセスメントや支援の考え方と方法を理解を深め、またストレングスモデルの理論と看護援助への活用について理解することができる。

8・9、12～15 回目:模擬事例(統合失調症、うつ病、アルコール使用障害)を用いて看護援助に必要な情報を収集しアセスメントする方法、アセスメントに基づき看護計画を立案する方法を身につけることができる。

10・11 回:認知行動療法の理論を理解し、基本的な技法を修得することができる。

16 回目:精神看護における看護過程展開について理解を深め、精神看護学実習に必要な知識と技術を整理することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神看護の目的と機能	精神的健康の維持と増進、精神看護の役割と機能、生物・心理・社会モデル、精神保健医療福祉の現状と課題	高野 歩, 栗林 一人
2	4/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	病態や症状に応じた看護(1)	幻覚・妄想状態の理解と看護、自閉・意欲低下・認知機能障害の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人
3	4/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	病態や症状に応じた看護(2)	抑うつ・躁状態の理解と看護、不安や心的外傷の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人
4	4/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	病態や症状に応じた看護(3)	物質依存・行動嗜癖の理解と看護、自傷・自殺に対する看護	高野 歩, 栗林 一人
5	5/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神障害と共に生きる	精神障害を抱えて生きるということ、リカバリー指向の支援のあり方	高野 歩, 栗林 一人
6	5/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	援助的な対人関係の構築	患者・看護師関係とコミュニケーション、異和感の対自化、プロセスレコードの活用	高野 歩, 栗林 一人
7	5/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	セルフケアモデルに基づく看護	セルフケアモデルに基づくアセスメント、ストレングスモデルの理解と活用	高野 歩, 栗林 一人
8	6/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習1	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人
9	6/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習1	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人

10	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	認知行動療法の基礎と実践(1)	認知行動療法の理論	菊池 安希子, 高野 歩, 栗林 一人
11	6/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	認知行動療法の基礎と実践(2)	認知行動療法の基本的手法の理解	菊池 安希子, 高野 歩, 栗林 一人
12	6/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習2	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人
13	6/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習2	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人
14	6/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習3	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人
15	6/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習3	精神看護における情報収集とアセスメント、看護計画の立案・検討・発表	高野 歩, 栗林 一人
16	7/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	看護過程のまとめ	精神看護における看護過程のまとめ、精神看護学実習について	高野 歩, 栗林 一人

授業方法　講義および演習

授業内容　授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、課題レポートにより評価する。

成績評価の基準　60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

精神看護学で学んだ各精神疾患の症状や治療について復習しておくこと。精神障害を有する人の理解を深めるために、体験記を読んでおくことを奨励する。

教科書　武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

日本精神科看護技術協会監修「改訂 精神看護学」中央法規出版、2006
萱間真美編集「パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護第2版」照林社、2014
田中美恵子編集「精神看護学第2版—学生－患者のストーリーで綴る実習展開」医歯薬出版株式会社、2015
萱間真美「リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術」医学書院、2016
宮本真巳「感性を磨く技法1 看護場面の再構成」日本看護協会出版会、1995
宮本真巳「感性を磨く技法4 面接技法から学ぶ」日本看護協会出版会、1998
宮本真巳「援助技法としてのプロセスレコード」精神看護出版、2003
野島佐由美監修「実践看護技術学習支援テキスト精神看護学」日本看護協会出版会、2002
日本精神科看護技術協会「改訂版 精神科看護の専門性をめざしてⅠ、Ⅱ、Ⅲ」精神看護出版、2002
白石弘巳, 田上美千佳「事例にみるうつ病の理解とケア」精神看護出版、2006
田上美千佳「家族にもケア: 統合失調症はじめての入院」 精神看護出版、2004
日本精神科看護技術協会編「実践精神科看護テキスト第9巻退院調整」 精神看護出版、2012
宮本真巳他編著「実践精神科看護テキスト14 薬物・アルコール依存症看護」精神看護出版、2008
日本精神科看護技術協会編「 実践精神科看護テキスト改訂版第2巻 対人関係/グループアプローチ/家族関係」 精神看護出版、2011
武井麻子「グループという方法」医学書院、2002
モートン・キッセン(佐治守夫他訳)「集団精神療法の理論」誠信書房、1996
パトリシア・ダイクス(末安民生他訳)「精神科クリニカルパス」医学書院、2000
ジュディス・シュルツ(田崎博一訳)「看護診断にもとづく精神看護ケアプラン」医学書院、1997

他科目との関連　看護心理学、精神看護学、地域精神看護学、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項　WebClass の精神看護学演習のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp　　栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館18階精神保健看護学分野研究室2)。
栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館18階精神保健看護学研究室2)

時間割番号	012039				
科目名	精神看護学実習			科目ID	MN-371000-E
担当教員	高野　歩, 栗林　一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing

【科目責任者】高野　歩

授業の目的、概要等

1）精神科病棟において入院患者 1 名を受け持ち、関わりを発展させるとともに、関わりの経過について綿密な振り返りを行い、自己理解、患者理解を深める。こうした理解に基づいて、感情活用能力の発揮を通じた援助関係づくりと、患者の抱えている課題の解決に向けた援助の試みを併せて実践する。このような実習への取組みを通じて、精神疾患患者だけでなく健康問題を持つあらゆる人を対象とする精神的支援の実践能力を高める。

2）精神科通所施設において、地域で生活する利用者の社会参加の実態にふれることを通じて、精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法や要点について学ぶ。さらには、入院から地域生活に至る過程についての統合的な視点に基づいて、看護職に求められる役割と、それに見合った援助方法について理解を深める。

3）実習体験を振り返って吟味するために、看護場面の再構成法を用いた「プロセスレコード」、患者の抱えている問題を明確にして解決策を導き出す「問題の明確化」の2つの方法を用いる。これらの方法を体得することによって、看護師、援助職としての生涯学習の基礎を作る。

授業の到達目標

1. 患者との対人関係において、自己理解を深めると共に患者の持つ問題の明確化を図ることができる。
2. 患者や医療スタッフ、教員とのやりとりの振り返りにより、自己の対人関係の特徴について理解を深めると共に、自分は患者に対してどのような印象を与え、どのような影響を及ぼす傾向があるかについて認識を深めることができる。
3. 看護者－患者関係をふまえてセルフケア看護援助の観点から評価し、ケア方針を立案し、必要な援助の実施・評価・修正を行うことを通じて、チーム医療の一端を担うと共に、看護師としての専門性確立の基礎をつくることができる。
4. 精神に疾患や障害を持つ人の治療環境・生活環境ならびにそのような環境の中で生きる患者の体験について理解を深めることを通じて、地域における生活自立と社会参加に向けた支援の一端を担うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/12	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
2	10/13	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
3	10/15	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
4	10/16	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
5	10/19	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
6	10/20	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
7	10/22	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
8	10/23	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
9	10/26	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
10	10/27	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
11	10/29	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
12	10/30	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
13	11/2	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
14	11/4	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
15	11/5	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
16	11/6	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
17	11/26	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
18	11/27	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
19	11/30	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人
20	12/1	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野　歩, 栗林　一人

21	12/2	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
22	12/3	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
23	12/4	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
24	1/25	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
25	1/26	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
26	1/28	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
27	1/29	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
28	2/1	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
29	2/2	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
30	2/4	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人
31	2/5	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人

授業方法

実習

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポート

成績評価の基準

実習への出席状況 20%

実習への取り組み 50%

記録物・レポート 30%

準備学習等についての具体的な指示

対象とのかかわりを重視するため、欠席・遅刻・早退をしないように心身の体調管理に注意する。

これまでに学んだ関連する講義・演習の内容を復習しておく。

実習の成果ではなく、自分が対象にどれだけかかわったか、自己理解他者理解が深まったのかの過程が重要である。そのために、必要時、教員や指導員を活用してほしい。

教科書

萱間直美編集「パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護第 2 版」、照林社、2014

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学分野研究室 2)。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 18 階精神保健看護学研究室 2)

時間割番号	012040				
科目名	小児看護学Ⅱ			科目ID	MN-331100-L
担当教員	岡光　基子, 矢郷　哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Pediatric　NursingⅡ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

小児看護学の実践に必要な基礎的知識，アセスメント技術，看護技術を講義や演習を通して習得する。また，小児を取り巻く保健・医療・福祉の最新の動向に触れながら，様々な健康問題や障害をもつ小児と，きょうだい児を含めたその家族を理解し，求められる看護支援について考察する。

なお，この授業は小児看護学演習Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標

第1回：小児及び家族のアセスメントの方法，ツール，留意点について説明できる

第2回：小児の発達アセスメントの方法を理解し，シュミレートすることができる

第3回：疾患をもつ小児の家族およびきょうだい児への看護の要点について説明できる

第4回：小児科外来における看護師の役割と看護の要点について説明できる

第5回：障害をもつ小児と家族の生活と看護の要点について説明できる

第6回：疾患をもつ小児における看護技術（採血、輸液、検査等）の手順，要点について説明できる

第7回：虐待の予防と発見における看護師の役割と看護の要点について説明できる

第8回：心疾患をもつ小児と家族への看護の要点について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	小児のアセスメント：小児の観察技術，アセスメントツールの活用	岡光　基子
2	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	子どもの発達のアセスメント	藤本　昌樹
3	4/16	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	家族およびきょうだい児への支援	熊谷　祐美
4	4/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	小児の継続看護：小児科外来における看護	矢郷　哲志
5	5/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	障がい児の看護：在宅における子どもの看護	鈴木　征吾
6	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	子どもの病気と看護技術（ビデオ学習）	岡光　基子, 矢郷　哲志
7	6/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	子どもの虐待：虐待の予防と発見	岡光　基子
8	6/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	心疾患をもつ小児と家族の看護	権守　礼美

授業内容

小児看護学Ⅰ，小児看護学演習Ⅰにおいて学習した小児看護の実践に必要な基本的知識，技術の上に積み重ねる構成で，小児看護実践に必要な知識及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。グループ・ワークを中心とした小児看護学演習Ⅱと組み合わせて，自ら学び，実践に活用できる技能を習得する。

成績評価の方法

定期試験，リフレクティブレポート，出席，授業への参加態度により総合的に評価する。

尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論（第 13 版）／奈良間　美保他：医学書院，2015

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護　第 6 版／中野　綾美他：メディカ出版，2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2)：小児看護技術　第 4 版／中野　綾美他：メディカ出版，2019

2年時に購入済みのものを使用する。

参考書
廣瀬たい子　編著：看護のための乳幼児精神保健（金剛出版）
他科目との関連
小児看護学Ⅰ，小児看護学演習Ⅰ，在宅看護学Ⅰ
連絡先（メールアドレス）
岡光　基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp　3 号館 19F
矢郷　哲志:sycfn@tmd.ac.jp　3 号館 18F
オフィスアワー
岡光　基子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012041				
科目名	小児看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-351200-S
担当教員	岡光　基子, 矢郷　哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Pediatric NursingⅡ

【科目責任者】 岡光 基子

主な講義場所　保健衛生学講義室2（3号館8階），看護学実習室2（3号館17階）

授業の目的、概要等

小児の成長発達を踏まえて，日常生活援助の要点や遊びの意義などについて理解を深める。さらに，グループワークを通して，主な小児疾患の病態生理を理解し，病気を持つ小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を多用な視点から捉えながら，求められる看護を考察することで，小児看護学領域における看護の思考過程を学習する。

なお，この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標

第1－2回：小児の栄養および日常生活の援助の要点，小児にとっての遊びの意義や特徴について説明できる。

第3－10回：事例に基づいて，疾患の病態生理，治療，検査，処置，成長発達，看護技術及び留意点を理解し，看護過程を展開することができる。

第11－14回：グループワークを通して学習した内容を適切な方法で発表し，質疑応答・ディスカッションを通して理解を深めることができる。

第15回：保育園実習の目的，目標，スケジュール，注意事項について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	子どもの生活と看護：子どもの栄養、日常生活の援助	矢郷　哲志
2	4/16	13:00-14:30	看護学実習室2	小児看護学演習Ⅱ	子どもの生活と看護：子どもの栄養、日常生活の援助	岡光　基子, 矢郷　哲志
3	4/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ オリエンテーション	岡光　基子, 矢郷　哲志
4	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク	岡光　基子, 矢郷　哲志
5	5/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク（オフィスアワー）	梶原　道子, 矢郷　哲志, 岡光　基子
6	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク	岡光　基子, 矢郷　哲志
7	5/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク	岡光　基子, 矢郷　哲志
8	6/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク	岡光　基子, 矢郷　哲志
9	6/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク（発表資料チェック）	岡光　基子, 矢郷　哲志
10	6/4	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ グループワーク（発表資料のチェック）	岡光　基子, 矢郷　哲志
11	6/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ 発表	岡光　基子, 矢郷　哲志
12	6/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ 発表	岡光　基子, 矢郷　哲志
13	6/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ 発表	岡光　基子, 矢郷　哲志
14	6/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾍﾟｰｼｪﾝﾄ 発表	岡光　基子, 矢郷　哲志
15	6/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	保育園実習オリエンテーション	岡光　基子, 矢郷　哲志

授業内容

小児特有の疾患を持つペーパー・ペイシェントを教材として，グループワークを通して，成長発達，疾患の病態生理，家族背景などを学習，アセスメントし，看護過程を展開しながら，看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し，ディスカッションする。

成績評価の方法

定期試験，課題レポート，出席，グループワークへの参加態度，メンバーシップ，発表資料，発表内容により総合的に評価する。

尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示 教科書を読んで事前学習しておくこと。
教科書 ≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 13 版)／奈良間 美保他:医学書院, 2015 ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 6 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2019 ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第 4 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2019 演習に必要な資料は開講時に配布する。 教科書は, 2年時に購入済みのものを使用する。
参考書 開講時に参考文献リストを配布する。
他科目との関連 これまでの小児看護学の学習を統合して, 看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する。
履修上の注意事項 グループワークを基本とした授業なので, 自己学習・出席を重視する。
連絡先(メールアドレス) 岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F 矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
オフィスアワー 岡光 基子:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012042				
科目名	小児看護学実習			科目ID	MN-371300-E
担当教員	岡光　基子, 矢郷　哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Pediatric Nursing

【科目責任者】 岡光 基子

授業の目的、概要等

小児と家族に対する実際のケアを通して，発達する小児の特徴を理解する。また，健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに，対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し，小児看護を実践するための基礎的能力と技術・態度を養う。

授業の到達目標

本実習は，小児看護学学内実習と保育園実習，および病棟での臨床実習から構成される。

（1） 小児看護学学内実習

目的:小児看護に必要なスキルを習得する。

目標:

1）小児看護に必要な技術を習得する。

2）小児，特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケ-ション方法を理解し，習得する。

（2）臨地実習（保育園実習）

目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して学び，成長・発達の特徴を把握する。

目標:

1）子どもの成長・発達，および生活を理解する。

2）子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。

3）小児の生活における保健行動，健康管理の概要を知る。

（3）臨床実習（病棟実習）

目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して，小児の特徴を理解し，小児とその家族の必要としている援助を考え，実施する。

目標:

1）疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。

2）健康障害が，小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。

3）健康障害をもつ小児と家族への看護のために，対象を理解し，必要な援助を行う能力を養う。

4）小児をとりまく医療，保健，福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。

（4）学生に期待するもの

1）既習の学習を統合して，実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。

2）実習期間中，各自の学習目標を明確にし，それに向かって意欲的に取り組む。

3）小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。

4）実習期間中は自己の健康管理に注意する。

5）感染源とならないために，抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種を受ける等の対策が推奨される。

6）スタッフの一員であり，かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/20	08:30-17:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習　詳細については実習要項参照	岡光　基子, 矢郷　哲志
2	7/21	08:30-17:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習　詳細については実習要項参照	岡光　基子, 矢郷　哲志

3	9/28	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
4	9/29	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
5	10/1	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
6	10/5	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
7	10/6	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
8	10/9	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
9	11/9	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
10	11/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
11	11/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
12	11/16	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
13	11/17	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
14	11/20	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
15	12/7	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
16	12/8	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
17	12/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
18	12/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
19	12/15	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
20	12/18	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
21	1/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
22	1/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
23	1/18	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
24	1/19	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
25	1/21	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
26	1/22	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志

27	2/1	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
28	2/2	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
29	2/3	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
30	2/4	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
31	2/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子, 矢郷 哲志

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

病棟実習及び保育園実習における出席状況、実習に臨む態度、実習及び記録の内容、課題レポート等により総合的に評価する。必要出席日数は本学試験規則に準じる。

準備学習等についての具体的な指示

実習オリエンテーション時に課題を提示する。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3 号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子:随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012043				
科目名	母性看護学Ⅰ			科目ID	MN-331400-L
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JIYUNKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅰ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）　ZOOM の場合はこの限りではない。

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学の概論を学習する。母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について，個人，家族，集団，地域社会に対する看護展開，多様な文化背景や価値観に考慮した看護展開を考える視点を養う。

授業の到達目標

母性看護学の中心的な概念であるリプロダクティブヘルス／ライツの考え方を理解する。それをもとに、母性看護学のケア対象を、様々な側面から捉え、身体的・心理的・社会的特徴を理解し，健康の保持増進に向けた看護の基本的な考え方や理論を理解する。

リプロダクティブヘルス／ライツの概念の発祥と日本の女性の状況について説明できる(①)。

DV や性暴力などによって起こりうる健康問題と急性期対応について理解できる(③⑧)。

女性の生殖に関わる身体の機能と周産期の変化について説明できる(②)。

現在の生殖補助医療に関わる医療の基礎について説明できる(④)。

LGBTI の基礎知識について説明できる。また医療の課題について考えることができる(⑥⑦)。

異常のある児の家族に対する看護ケアの根拠について説明できる(⑤)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	解剖学テスト　母性看護学オリエンテーション　リプロダクティブヘルスに関するディスカッション	大久保　功子，三隅　順子
2	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	女性生殖機能	石川　智則
3	4/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	性感染症・性暴力被害者の看護	三隅　順子
4	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	不妊・出生前診断	辰巳　嵩征
5	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	異常のある児と家族の看護	大久保　功子
6	6/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	セクシュアル・マイノリティーと医療	笠原　士織，三隅　順子
7	6/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	セクシュアル・マイノリティーと医療	三隅　順子，笠原　士織
8	6/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	DV 被害者の急性期看護	三隅　順子

授業方法　講義、反転授業

授業内容

周産期女性の身体のみならず社会的な背景などについて広く課題を考えられるようなテーマで講義を行う。

成績評価の方法

学期末テスト，その他レポート及び講義への出席率から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

成績評価の基準

60 点以上で合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

リプロダクティブヘルスにかかわる社会的な時事等をとらえておくこと。また、各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習をしておくこと。

またレポート課題などは事前に提示するので、各自関連する文献等の収集をすること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2/3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2013

母性看護学／大平光子, 齋藤いずみ, 定方美恵子, 長谷川ともみ, 三隅順子 編集,:南江堂, 2014

母性看護学／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集,:南江堂, 2012

フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで／加納尚美、李節子、家吉望み:医歯薬出版, 2016

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・我妻堯:リプロダクティブヘルス, 南江堂, 2002.

・砂川秀樹、RYOJI:カミングアウト・レターズ, 太郎次郎社エディタス, 2007.

・長沖暁子:AID で生まれるということ, 萬書房, 2014.

参考書

リプロダクティブヘルス : グローバルな視点から性の健康をみつめる／我妻堯 著,:南江堂, 2002

女性の看護学 : 母性の健康から女性の健康へ／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:メヂカルフレンド社, 2000

カミングアウト・レターズ : 子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji, 砂川秀樹 編,:太郎次郎社エディタス, 2007

AID で生まれるということ : 精子提供で生まれた子どもたちの声／非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ, 長沖暁子 編著,:萬書房, 2014

母と子のアタッチメント : 心の安全基地／ボウルビィ 著,二木武 監訳,:医歯薬出版, 1993

ウェルネスからみた母性看護学過程＋病態関連図／佐世正勝:医学書院, 2012

他科目との関連

この授業は, 母性看護学Ⅱ, Ⅲ, 母性看護学演習の基礎となる内容である。

履修上の注意事項

専門的な知識, 対応経験のある講師が講義に来る。欠席すると再度聴講することは難しい。授業のテーマに対して積極的に質問をし、自分の看護に対する考え方の基盤作りに努めるとともに、対象理解に必要な材料を批判的に見る習慣をつけてほしい。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で利用した写真等も含め十分に配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学コースで適宜 up する。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012044				
科目名	母性看護学Ⅱ			科目ID	MN-331500-L
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JIYUNKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Maternal and Infant NursingⅡ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程とそこから逸脱した状況に関する病態生理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の早期発見と予防、ならびに診療の補助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標

母性看護学の対象，特に妊産褥婦と新生児の身体的特徴を理解し，健康の保持増進，正常からの逸脱の予防と早期発見、適切な看護を提供するために必要な医学的知識を習得する。

妊娠期、分娩時の異常とアセスメント項目を説明できる(②④)。
胎児・胎盤の異常とアセスメント項目を説明できる(①)。
母乳栄養(褥婦の進行性変化)のメカニズムについて説明できる(③)。
新生児の適応、異常とアセスメント項目について説明できる(⑤⑦⑧)。
褥婦の異常とアセスメント項目を説明できる（⑥）。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	齊藤　和毅
2	4/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	胎児・胎盤系の生理・機能	大久保　功子
3	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村　真澄
4	4/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	異常分娩	宮坂　尚幸
5	5/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保　功子
6	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	産褥期の観察とアセスメント	三隅　順子
7	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保　功子
8	5/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	新生児の観察とアセスメント	大久保　功子

授業方法

講義

成績評価の方法

小テストを適時行う。学期末試験，出席率から総合的に評価する。母性看護学の領域でよく用いられる専門用語に関しては，テストに出題されるので学習しておくこと。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする

準備学習等についての具体的な指示

周産期ににかかわる医学的な基礎知識を習得するために、各講義に関連した解剖学、生理学などの基礎医学のテキストを用い予習をしておくこと。

その上で、周産期特有の生理・異常を学ぶことができれば理解は深まる。また医学に関しては、常に新しい情報を得ておかなければ、その看護を考える上でも支障がでるので、各自関連する文献等の収集を継続すること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子，中込さと子 編,：メディカ出版，2013

母性看護学／大平光子，齋藤いずみ，定方美恵子，長谷川ともみ，三隅順子 編集,：南江堂，2014

母性看護学／大平光子，井上尚美，大月恵理子，佐々木くみ子，林ひろみ 編集,：南江堂，2012

：社

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①，メディカ出版，2012.

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ，中央法規，2011.

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ，中央法規，2011.

・大鷹美子監訳：ウィリアムス臨床産科マニュアル，株式会社メジカルビュー社，2009

参考書

ウィリアムス臨床産科マニュアル／大鷹美子 監訳：メジカルビュー社，2009

母と子のアタッチメント ： 心の安全基地／ボウルビィ 著,二木武 監訳,：医歯薬出版，1993

みえる生命誕生 ： 受胎・妊娠・出産／池ノ上克，前原澄子 監訳,SARAH BREWER, SHAONI BHATTACHARYA, JUSTINE DAVIES, SHEENA MEREDITH, PENNY PRESTON 著,：南江堂，2013

ウェルネスからみた母性看護学過程＋病態関連図／佐世正勝：医学書院，2012

その他，講義の進行の伴い，参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は，母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。この科目及び母性看護学演習の単位を取得していない場合，母性看護学実習には参加できない。

履修上の注意事項

二年次に学習した専門基礎科目の内容の復習をしてから受講して欲しい。 3 年になって 2 回目の講義で解剖学テストを行う。

備考

個人情報の保護については、自分自身のことのみならず、患者情報、講義で使用した写真などについても十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先（メールアドレス）

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp ３号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期：毎週火曜日午後

後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く）

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012045				
科目名	母性看護学Ⅲ			科目ID	MN-331600-L
担当教員	大久保　功子, 三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JIYUNKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Maternal and Infant NursingⅢ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども，および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標

妊娠、分娩、産褥期の女性と新生児に対する看護の基本的な考え方を理解する。さらに，看護計画の立案，実施・評価を行うための基本的な知識を習得し，健康状態のアセスメントが行えることを目標とする。

妊娠期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(①②③)。

分娩期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(④)。

新生児の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑤⑦)。

産褥期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑥⑧)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保　功子	
2	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保　功子	
3	4/23	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保　功子	
4	4/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	産婦の看護ケア	三隅　順子	
5	5/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	大久保　功子	講師:佐藤千鶴
6	5/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	褥婦の看護ケア	三隅　順子	
7	5/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保　功子	
8	6/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	産後の女性への退院支援	三隅　順子	

授業方法

講義、他

成績評価の方法

小テストを適時行う。学期末試験，出席率から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、基礎看護学や成人看護学で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子，中込さと子　編,:メディカ出版，2013

母性看護学／大平光子，井上尚美，大月恵理子，佐々木くみ子，林ひろみ　編集,:南江堂，2012

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92　単行本 － 2015/5／堀内成子

・ナーシンググラフィカ　母性看護実践の基本　母性看護学①，メディカ出版，2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅰ，中央法規，2011.

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ，中央法規，2011.
・Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳)：健康増進のためのウェルネス看護診断，南江堂
・ 本庄英雄，宮中史子：周産期エキスパートナーシング　改訂第2版，南江堂，2003.
・ マレー・エンキン，他：妊娠・出産ケアガイド，医学書院，1999.
・ 平山宗宏：母子健康・栄養ハンドブック，医師薬出版，2000.
・ 堀内成子：産褥・退院支援ガイドブック，ペリネイタルケア 2003 年夏季増刊，メディカ出版，2003.
・ 北川真理子，内山和美：今日の助産　改訂第2版，南江堂，2009.

参考書

健康増進のためのウェルネス看護診断／Karen M.Stolte [著],小西恵美子，太田勝正　共訳.：南江堂，1997
周産期エキスパートナーシング／本庄英雄，宮中文子　編.：南江堂，2003
妊娠・出産ケアガイド ： 安全で有効な産科管理／マレー・エンキン　[ほか]著,北井啓勝　監訳.：医学書院エムワイダブリュー，1997
今日の助産 ： マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子，内山和美　編集,生田克夫　医学監修.：南江堂，2013
ウェルネスからみた母性看護学過程＋病態関連図／佐世正勝：医学書院，2012
その他，講義の進行の伴い，参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は，母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論，看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

講義では，学生に問題を投げかけ，学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ，他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で用いた写真などに関して十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先（メールアドレス）

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　３号館 19F
三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅　順子:前期：毎週火曜日午後
後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く）
アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。
場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012046				
科目名	母性看護学演習			科目ID	MN-351700-S
担当教員	大久保　功子, 三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JIYUNKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所　保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室2（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。

授業の到達目標

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

母性看護学ⅠⅡⅢで学んだことを活かし、ペーパークライエントのアセスメントができる。

母性看護学ⅠⅡⅢで学んだことを活かし、ペーパークライエントに対する看護計画ができる。

アセスメント手技の実演ができる。

ケアの手技の実演ができる。

模擬クライエントに対する保健指導の実演ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学演習	妊産褥婦ケア：食事アセスメント	大久保　功子, 三隅　順子
2	4/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学演習	授乳に関する援助	井村　真澄
3	5/11	16:20-17:50	看護学実習室 2, 看護学実習室 3	母性看護学演習	模擬分娩見学	中根　直子, 三隅　順子, 河合　蘭, 成田　実紅
4	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学演習	産褥事例の看護計画立案　発表準備（グループワーク）	三隅　順子
5-6	5/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学演習	産褥事例看護過程の展開　看護計画グループ発表	三隅　順子, 大久保　功子
7-9	6/3	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	母性看護学演習	技術テストにむけての技術練習：妊産婦・褥婦・新生児/妊産婦へのフットケア	三隅　順子
10-11	6/9	13:00-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	母性看護学演習	技術テスト：妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習：沐浴	三隅　順子, 大久保　功子
12-13	6/11	08:50-12:00	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	母性看護学演習	技術テスト：妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習：沐浴	三隅　順子, 大久保　功子
14-15	7/2	13:00-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	母性看護学演習	褥婦の退院に向けた保健指導：ロールプレイ	三隅　順子, 大久保　功子, 舘ヶ澤　寿香
16	7/2	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学演習	実習オリエンテーション　各病棟から	大久保　功子, 三隅　順子, 瀬戸　愛

授業方法

グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど

授業内容

実習に出て用いる思考および技術の基礎の練習。テストに向けての練習は WebClass にアップした技術デモの視聴や実習室での実演で準備すること。

成績評価の方法

レポート, 技術テスト,ロールプレイから総合的に評価する。出席を重視する。全出席の場合は加点、欠席は減点対象となる。

・レポート点【10%】:表紙がついているか、見出しが適切か、段落ごとに 1 マス下げてあるか、適切な文献で根拠を押さえているか、自分の意見・考察が述べられているか、それらの区別がつくように書いているか、指定文字数にほぼ達しているか、文献を複数用いているか、文献リストの書き方が正しいかなどで評価する。

・技術演習テスト【45%(妊産婦 15 褥婦 15 新生児 15)】:各項目とも合否どちらかとする。 Web Class に up する映像を視聴し、事前練習してテストに臨むこと。特別な事情がない限り、視聴履歴がないことも減点対象とする。

・看護過程＆ロールプレイ【40%】:準備/発表内容/態度、看護過程記録の期限内提出と内容で評価する。

成績評価の基準

総合で 60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2007

母性看護学／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集,:南江堂, 2012

七訂食品成分表 2018／香川明夫:女子栄養大学出版部, 2018

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり 分担編集,堀内,成子, 1955-,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,:南江堂, 2015

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進 純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ＆A, MCメディカ出版, 2003.

・ レズリー・ページ:新助産学, メディカ出版, 2002.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳:農山漁村文化協会, 1999

出産革命のヒロインたち : アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳,:メディカ出版, 1997

母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集,:医学書院, 2012

マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:真興交易医書出版部, 2012

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2006

母性／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

佐世正勝、石村由利子:ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図、医学書院、2012.

他科目との関連 この科目は，母性看護学と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため，既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。
履修上の注意事項 演習は身体を使って練習することがメインであるため，欠席すると同じレベルの補習はできないので注意していただきたい。
参照ホームページ WebClass の母性看護学演習のコースに適宜資料をアップする。
連絡先（メールアドレス） 大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　３号館 19F 三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 三隅　順子:前期：毎週火曜日午後 後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く） アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。 場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012047				
科目名	母性看護学実習			科目ID	MN-371800-E
担当教員	大久保　功子，三隅　順子[OKUBO NORIKO, MISUMI JIYUNKO]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Practice of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所　看護学実習室2（3号館17階）、附属病院、賛育会病院ほか

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，周産期の女性に関する看護計画立案と実践を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程および基礎技術を習得する。

授業の到達目標

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子，大久保　功子
2	9/29	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
3	10/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
4	10/2	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
5	10/5	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
6	10/6	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
7	10/8	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
8	10/9	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
9	10/13	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子，大久保　功子
10	10/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
11	10/16	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
12	10/19	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
13	10/20	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
14	10/22	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
15	10/23	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
16	10/26	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子，大久保　功子
17	10/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子，大久保　功子
18	10/29	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子，大久保　功子
19	10/30	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
20	11/2	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子，大久保　功子
21	11/5	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子，大久保　功子
22	11/6	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子
23	11/9	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子，大久保　功子

24	11/10	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
25	11/12	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
26	11/13	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子
27	11/16	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
28	11/17	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
29	11/19	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
30	11/20	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
31	11/24	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子
32	11/25	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
33	11/26	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
34	11/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 大久保 功子
35	11/30	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
36	12/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
37	12/3	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
38	12/4	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
39	12/7	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子
40	12/8	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
41	12/10	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
42	12/11	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
43	12/14	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
44	12/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
45	12/17	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
46	12/18	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
47	1/12	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子
48	1/14	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
49	1/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
50	1/18	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
51	1/19	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
52	1/21	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
53	1/22	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
54	1/25	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 大久保 功子
55	1/26	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
56	1/28	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
57	1/29	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
58	2/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
59	2/2	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子

60	2/4	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子
61	2/5	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子

授業方法

病院での受持に対する看護過程の展開実習および見学実習。

授業内容

受持への看護過程を展開し、指導者とともに看護を提供する。

成績評価の方法

臨床での思考, 態度, 技術の側面から総合的に評価する。具体的な評価項目については実習記録物に添付する。出席を重視する。

成績評価の基準

思考を 40%、技術 25%、態度 35%で評価する。評価基準は実習要項および記録物に評価表として添付する。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

試験の受験資格　母性看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、演習を修了していること。

モジュールの単位判定　3／4 の出席があること。

教科書

母性看護技術／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2007

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり 分担編集,堀内, 成子, 1955-,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,:南江堂, 2015

・ナーシンググラフィカ　母性看護実践の基本　母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31　母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条　お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・北山眞理子ら:今日の助産, 南江堂, 2013.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学　考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版　マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2016.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進　純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A, MCメディカ出版, 2003.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳,:農山漁村文化協会, 1999

ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図／佐世正勝, 石村由利子:医学書院, 2012

母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集,:医学書院, 2012

マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子, 1957-,:真興交易(株)医書出版部, 2016

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美惠子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2006

その他, 演習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連 この科目は，母性看護学と同時に受講することを前提として計画され，後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため，既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。
履修上の注意事項 演習が主体であるため，欠席すると補習はできないので注意してほしい。
備考 個人情報の保護については、患者情報の記録への取り扱いに注意し病棟外での会話を慎むこと、また患者のみならず自分自身の情報についても安全のために注意して扱うこと。
連絡先（メールアドレス） 大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　３号館 19F 三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 三隅　順子:前期：毎週火曜日午後 後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く） アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。 場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012048				
科目名	老年看護学			科目ID	MN-331900-L
担当教員	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹[OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE, SASAKI Miki]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）ほか

授業の目的、概要等

高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれらに対する基本的な支援技術を習得する。老年期にある対象を理解するための基本的概念・理論を学ぶ。また、老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り，医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。

授業の到達目標

・教育方針

老年看護学の教育方針は，老年期にある対象を理解し，看護援助を創造していく知識と技術を養うことである。さらに，学問としての老年看護学の確立に資することを目指している。

・教育目標

1）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の特徴を理解し説明できる。（1～24）

2）高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれらに対する基本的な支援について理解し説明できる。（5～24）

3）高齢者と家族に対する看護援助の基本を理解し説明できる。（1、8、10、12、14、16、18～24）

4）高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動、看護の役割について理解し説明できる。（3、4、10-23）

5）多くの人生経験をつんだ高齢者を尊重する態度を養う。（1～24）

＊（　）内は授業の回を表す

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/13	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。　高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
3	4/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	薬物動態・静態の加齢変化と高齢者に与薬する薬物の特徴、薬剤管理の基本的知識について学ぶ。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
4	4/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	特別養護老人ホームなど、医療機関以外での看護師の役割について学ぶ。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 川﨑　千鶴子
5-6	4/27	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
7	5/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
8	5/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
9	5/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
10	5/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年症候群・高齢者の転倒やせん妄の実際と予防ケア、身体抑制の方法や身体抑制回避・解除に向けた取り組みについて学ぶ。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 和田　奈美子
11	5/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
12	5/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 望月　太敦

13	6/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
14	6/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	認知症の病態および症状とその基本的支援方法を学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 村山 紀子
15	6/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
16	6/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者看護における倫理的ジレンマとそれに対する意思決定プロセスを学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 長尾 祥子
17	6/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
18	6/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	退院支援、地域と病院の連携、看護の継続などの実態及びこれらに関する高齢者における課題について学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 乙坂 佳代
19	6/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
20	6/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者ケアにおけるリスク管理	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
21	6/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者と終末期について学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
22	6/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
23	7/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者の事例をもとに看護過程におけるアセスメント、看護目標、看護ケア、評価指標を整理する。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
24	7/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者の事例をもとに看護過程におけるアセスメント、看護目標、看護ケア、評価指標を整理する。	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

授業方法　講義・グループワーク・プレゼンテーション・モデルケースを使用しての看護展開

成績評価の方法

学期末の試験を主とし，出席状況、課題への取り組み姿勢（グループワーク等）、課題レポートなどを総合的に評価する。課題への取り組み姿勢等授業への参加状況を重視する。

テキストや配布資料等に記載された英語（単語や文章）をそのまま試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

準備学習等についての具体的な指示

授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み（グループワーク）、学習成果を発表する機会を設けている。課題についての事前準備学習（情報収集、資料作成など）が必要となる。課題には、老年医学等の英文の専門書を用いて行うものも含まれる。

試験の受験資格　本学試験規則に準ずる

教科書　最新 老年看護学 第3版 2018年版／水谷信子，水野敏子，高山成子，三重野英子，會田信子 編.：日本看護協会出版会，2017

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント ： 手技と事例で学ぶ ： 老化を理解して、異常を見逃さない! ： オールカラー ： 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,：メディカ出版，2017

Ham's Primary Care Geriatrics: A Case-Based Approach (Expert Consult: Online and Print), 6th edition ／Richard Ham Philip Sloane Gregg Warshaw Jane Potter Ellen Flaherty：Saunders，2013

生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子，萩野悦子，内ケ島伸也，井出訓 編集,：医学書院，2016

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集,：医学書院，2016

認知症ケアガイドブック = GUIDEBOOK FOR DEMENTIA CARE／日本看護協会 編集,日本看護協会,：照林社，2016

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため，病態学，生理学などの基礎的な医学知識や基礎・成人看護学における内容をふまえながら，高齢者の特徴等にもとづく看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項　1）授業中の入退室は，原則として認めない。 2）授業日時、内容は変更することがある。

連絡先（メールアドレス）　緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3号館19階

オフィスアワー　緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012049				
科目名	老年看護学演習			科目ID	MN-352000-S
担当教員	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹[OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE, SASAKI Miki]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室1（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメント技術について，演習を通じて習得する。

授業の到達目標

・教育方針

高齢化社会を迎え，老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため，身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。老年看護学での教育方針は，老年期にある対象を理解した上で，看護援助の知識に基づいた技術をグループワークや実習などの体験から養うことである。演習では，老年看護に今後ますます必要とされるフィジカルアセスメントを系統的に学習し、基本技術を身につける。

・教育目標

1）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき演習を行える。（1-15）

2）老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。（1～15）

＊（ ）内は授業の回を表す

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	13:00-14:30	看護学実習室1	老年看護学演習	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄとは何か　査定の基本技術・生活状況・精神状態（認知機能・うつ）	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
2	4/28	13:00-14:30	看護学実習室1	老年看護学演習	腹部のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
3	4/28	14:40-16:10	看護学実習室1	老年看護学演習	摂食・嚥下機能のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 雨宮　輝美
4	5/12	13:00-14:30	看護学実習室1	老年看護学演習	患者のニーズのアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
5	5/12	14:40-16:10	看護学実習室1	老年看護学演習	頭頸部（頭髪・頭蓋・目・耳・鼻・口）のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
6	5/12	16:20-17:50	看護学実習室1	老年看護学演習	皮膚のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 松下　真由子
7	5/19	13:00-14:30	看護学実習室1	老年看護学演習	胸部（心臓）のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
8	5/19	14:40-16:10	看護学実習室1	老年看護学演習	認知症のケア	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
9	5/19	16:20-17:50	看護学実習室1	老年看護学演習	呼吸器のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
10	6/2	13:00-14:30	看護学実習室1	老年看護学演習	神経系のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
11	6/2	14:40-16:10	看護学実習室1	老年看護学演習	筋骨格系のアセスメント	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
12	6/2	16:20-17:50	看護学実習室1	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括1	湯本　淑江, 緒方　泰子, 佐々木　美樹

13-15	6/25	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹, 永野 みどり

成績評価の方法

出席の有無, 参加態度, 実技試験, 課題レポートなどを総合的に評価する。
また試験において、テキストや配布資料で掲載された英語(単語、英文)を引用することがあるため、よく理解をしておくこと。

準備学習等についての具体的な指示

講義・演習内容について、テキストの当該個所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくとなおよい。配布資料には、英文による専門書の内容も含まれる。

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド = Physical Assessment Ultimate Guide／藤崎郁 執筆,伴信太郎 医学監修・実技指導,:学研メディカル秀潤社, 2017

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない! : オールカラー : 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,:メディカ出版, 2017
根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集,:医学書院, 2016
生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子, 萩野悦子, 内ケ島伸也, 井出訓 編集,:医学書院, 2016

他科目との関連

老年看護学をふまえて, 演習を行う。

履修上の注意事項

1)実習着については, 随時指定する。 2)授業中の入退室は認めない。 3)原則として欠席は認めない。 4)授業日時、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012050				
科目名	リハビリテーション看護学			科目ID	MN-392100-L
担当教員	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹[OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE, SASAKI Miki]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Rehabilitation Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所　保健衛生学講義室2（3号館8階）ほか

授業の目的、概要等

リハビリテーションについての概念や理論について学ぶとともに，その基本的な技術や看護について実習を通して修得する。

授業の到達目標

1）リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに，リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や，ノーマライゼーション，QOLの観点から捉える。（1～8）

2）リハビリテーション看護の概念，対象，方法を学び，リハビリテーションチームにおける看護，他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。（1～8）

3）リハビリテーション分野における活動，作業療法，言語療法等の基本を理解する。（2、4、7）

＊（　）内は授業の回を表す

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションチーム（1）	リハビリテーション医学総論、運動器・脳血管疾患のリハビリテーション、廃用症候群	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 酒井　朋子
2	4/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学の実際（1）	脊椎損傷を持つ患者へのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 室岡　陽子
3	5/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護の実際（2）	摂食嚥下障害におけるリハビリテーション看護	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 仙　みづえ
4	5/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションチーム（4）	言語療法とは何か、言語療法士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構語障害)	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 大庭　優香
5	5/25	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーションチーム（3）	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 岡安　健
6	6/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションチーム（2）	リハビリテーションにおける多職種連携	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 大川　智恵子
7	6/8	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーションチーム（5）	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、作業療法の種類と評価法、作業療法訓練	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹, 新田　淳子
8	6/8	16:20-17:50	看護学実習室1	リハビリテーション看護の実際（3）	高齢者へのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護・多職種連携	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹

授業方法

講義・グループワーク・リハビリテーション看護に関するケア技術の体験学習

成績評価の方法

1）授業，演習に関した課題レポートより評価する。

2）出席日数は認定の基準とする。

※課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文（英文）をもとに作成する。研究論文（英文）は後日提示する。

準備学習等についての具体的な指示

講義内容についてテキストで基本的な知識を押さえておくこと。各テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。

また後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。

参考書 リハビリテーション看護：障害をもつ人の可能性とともに歩む／酒井郁子，金城利雄 編：南江堂，2010
他科目との関連 解剖学，生理学，疾病論などの医学知識，基礎看護学，ライフサイクル別看護学，在宅ケア論，地域看護学系の教科目のみならず，社会福祉学，保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。 後期の臨地実習でリハビリテーション病院を希望する者は、この科目を履修すること。ただし、病院の受け入れ人数には制限がある。
履修上の注意事項 1）授業中の入退室は認めない。 2）実習の際の服装について，随時指示する。 3）授業日時、内容は変更することがある。
連絡先（メールアドレス） 緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012051				
科目名	老年看護学実習			科目ID	MN-372200-E
担当教員	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹[OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE, SASAKI Miki]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Gerontological Nursing Practicum

【科目責任者】緒方泰子

授業の目的、概要等

老年期にある人と家族の特徴を理解し，対象の個別性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で，看護実践を展開する。

授業の到達目標

（1）老年期にある人とその家族（以下，対象者とする）の身体的・心理的・社会的側面を統合し，全体像をとらえ，看護過程を展開する。

1）情報収集

ア）対象者の身体的側面の情報を収集する。

（健康障害の経過，治療，予後など）

イ）対象者の心理的側面の情報を収集する。

（生きがいなど対象者が大切にしていることも含める）

ウ）家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。

2）アセスメント

ア）対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。

イ）対象者の自立と依存のバランスを考え，自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。

ウ）対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。

エ）対象者の特徴を統合し，全体像を図示し，説明する。

オ）看護問題について，個別性を反映した適切な表現で記述する。

3）計画立案

ア）看護問題に対し，長期的・短期的目標を設定する。

イ）状況に合わせて，看護上の問題の優先順位をつける。

ウ）対象者の個別性を考慮し，実施可能な看護援助を記述する。

エ）スタッフとの連携を図るため，計画を説明し共有する。

4）計画の実施

ア）対象者の安全・安楽を考慮し，的確な技術で実施する。

イ）看護援助に対する対象者の反応に応じて，計画を修正する。

ウ）実施した看護援助の状況を，スタッフに説明することができる。

5）評価

ア）目標への達成度の評価を記述する。

イ）評価に基づき，看護計画を修正する。

（2）保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し，看護の役割，活動内容について考える。

1）対象者に関わる保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。

2）看護と介護を比較し，共通点，相違点を考える。

3）看護の役割・活動の課題と展望を考える。

（3）高齢者の専門医療機関（老人病院）や施設の特徴を理解する。

一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について，基本的なシステムの違いを知るとともに，ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。

*各実習期間を通じて上記目標が達成される

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	9/28	08:50-17:50	看護学実習室 1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹
6-10	9/29	08:50-17:50	その他（保・高齢社会	老年看護	詳細については実習要項参照	緒方　泰子, 湯本　淑江, 佐々木　美樹

			看護ケア開発学分野)	学実習		
11-15	10/1	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
16-20	10/2	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
21-25	10/5	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
26-30	10/6	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
31-35	10/8	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
36-40	10/9	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
41-45	10/13	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
46-50	10/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
51-55	10/16	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
56-60	10/19	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
61-65	10/26	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
66-70	10/27	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
71-75	10/29	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
76-80	10/30	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
81-85	11/2	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
86-90	11/5	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
91-95	11/6	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
96-100	11/9	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
101-105	11/10	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
106-110	11/12	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
111-115	11/13	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
116-120	11/26	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
121-125	11/30	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
126-130	12/1	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

131-135	12/3	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
136-140	12/4	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
141-145	12/7	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
146-150	12/8	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
151-155	12/10	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
156-160	12/11	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
161-165	12/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
166-170	12/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
171-175	1/12	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
176-180	1/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
181-185	1/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
186-190	1/18	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
191-195	1/19	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
196-200	1/21	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
201-205	1/22	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
206-210	1/25	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
211-215	1/26	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
216-220	1/28	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
221-225	1/29	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹
226-227	2/9	13:00-16:10	保健衛生学科講義室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 湯本 淑江, 佐々木 美樹

授業内容

（詳細については実習要項参照）

成績評価の基準

出席状況、実習への取組態度、看護計画等の記録物の内容、課題レポートにより総合的に評価する。必要出席日数は本学試験規則に準ずる。

準備学習等についての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を押さえておくことで、実習が順調に進む。

参考書

ユマニチュード入門／本田美和子, イヴ・ジネスト, ロゼット・マレスコッティ 著,:医学書院, 2014

図解・症状からみる老いと病気とからだ／高橋龍太郎 著,:中央法規出版, 2002

高齢者の看護技術 : カラー写真で学ぶ／大塚眞理子 編著,:医歯薬出版, 2012

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図／阿部俊子 監修,小板橋喜久代, 山本則子 編集,:中央法規出版, 2013

高齢者排尿障害マニュアル : より適切な対応をめざして／老人泌尿器科学会 編,:メディカルレビュー社, 2002

高齢者介護施設の褥瘡ケアガイドライン／高齢者施設における褥瘡ケアガイドライン作成委員会 編,:中央法規出版

整形外科／加藤光宝 編,:中央法規出版, 2011

高次脳機能障害学／石合純夫 著,:医歯薬出版, 2012

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19 階

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012053				
科目名	地域保健看護学Ⅱ			科目ID	MN-332400-L
担当教員	佐々木　明子, 津田　紫緒[SASAKI AKIKO, TSUDA SHIO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community　Health　NursingⅡ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

地域看護・公衆衛生看護の対象を、個人だけではなく家族の枠組みで捉え、その基礎となる家族看護学の理論と実際を学ぶ。

授業の到達目標

1）「1~8 回」家族看護学の理論と実際の家族への支援について理解する。

2）「1~8 回」乳幼児から高齢者までを対象とする地域看護・公衆衛生看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族の健康課題を把握し，看護の支援の方法を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解する。

3）「3~8 回」家族に対する支援の実際について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族および家族看護学の概念と理論	佐々木　明子, 津田　紫緒
2	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族および家族看護学の概念と理論	佐々木　明子, 津田　紫緒
3	5/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族の健康課題に応じた家族支援	津田　紫緒
4	5/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族に対する支援の実際	佐々木　明子, 津田　紫緒
5	5/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族に対する支援の実際	野村　政子
6	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	地域における家族支援の実際1	野村　政子
7	5/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族に対する支援の実際	野村　政子, 佐々木　明子
8	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	地域における家族支援の実際2	佐々木　明子, 津田　紫緒

成績評価の方法

授業の参加態度、授業日毎のレポート等の取り組み状況および課題レポートにより総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料（参考書を含む）を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

教科書

(DVD)地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション(丸善出版株式会社)

参考書

家族看護学：理論と実践／鈴木和子、渡辺裕子　著：日本看護協会出版会，2012

家族生活力量モデル：アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会　編著：医学書院，2002

家族看護学：理論とアセスメント／Marilyn M. Friedman　著、野嶋佐由美　監訳：へるす出版，1993

地域看護学講座2　家族ケア（第 2 版）／島内節　編：医学書院，1999

公衆衛生看護学／上野昌江，和泉京子　編集,：中央法規出版，2016

他科目との関連 母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連するので、これまでの各領域での学習を振り返りつつ、家族看護の視点で統合することが必要である。
履修上の注意事項 本科目は、講義のみではなく，課題について考えるディスカッション，グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。
連絡先（メールアドレス） 佐々木　明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp　　3号館 19F 津田　紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2　03-5803-4573　tsuda.phn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 佐々木　明子:アポイントを取ったうえで随時実施 津田　紫緒:アポイントをとった上で随時実施 電話：03-5803-5350

時間割番号	012054				
科目名	在宅看護学Ⅱ			科目ID	MN-332500-L
担当教員	山﨑　智子, 内堀　真弓[YAMAZAKI TOMOKO, UCHIBORI MAYUMI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Home　Care　NursingⅡ

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

在宅現場で、保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮し、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実際を理解し、看護職の役割と実際を理解する。

授業の到達目標

在宅の場面で、保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮し、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を理解する。

1回目：在宅ケアを支える法制度・社会の仕組みについて説明できる。

2回目：訪問看護に関わる介護保険制度について理解できる。

3回目：在宅療養者の生活を支える外来看護の役割を知り、看護のあり方を考察できる。

4回目：医療施設等との連携・協働の実際を知り、退院支援・退院調整について理解できる。

5～6回目：在宅におけるケアマネジメントの理論と実際について理解できる。

7～8回目：在宅療養者の事例をもとに看護過程の方法を知り、グループ間で討議、発表できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/5	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅ケアを支える法制度・社会のしくみ	岡部　明子
2	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	訪問看護に関わる介護保険制度	岡部　明子
3	6/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養支援の実際　外来看護を通して	内堀　真弓
4	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	医療施設等との連携・協働の実際	内堀　真弓
5	6/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	石塚　由美子
6	6/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	石塚　由美子
7	6/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習　看護過程	内堀　真弓
8	6/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習　看護過程	内堀　真弓

授業方法

出席について：講義中に配布するレスポンスシートに、評価・感想を記入し、その提出を以って出席とする。

成績評価の方法

定期試験、レスポンスシート、出席状況、授業への参加態度により総合的に評価する。

なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

定期試験、レスポンスシート、出席状況、授業への参加態度により総合的に評価する。

なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に、教科書や事前配布の文献・資料等を読んでおくこと。

介護保険等の法制度に関しては、2 年次「保健医療福祉制度論」の学習内容を振り返り、参考書等の関連資料に目を通しておくこと。

在宅看護過程については、教科書1の第Ⅰ・Ⅱ章をよく読んでおくこと。

教科書

関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,正野, 逸子,本田, 彰子,：メヂカルフレンド社, 2018

在宅看護技術／正野逸子, 本田彰子 編著,：メヂカルフレンド社, 2015

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表 ; 秋山正子 [ほか執筆],河原, 加代子,秋山, 正子,小倉, 朗子,乙坂, 佳代,：医学書院, 2017

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2016 :インターメディカ
他科目との関連 2年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。
連絡先（メールアドレス） 山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp 内堀　真弓:uchibori.chn@tmd.ac.jp　　3 号館 19F
オフィスアワー 山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと　3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室 内堀　真弓:事前連絡にて随時　3 号館 19 階在宅ケア看護学研究室2

時間割番号	012055				
科目名	在宅看護学演習			科目ID	MN-352600-S
担当教員	山﨑　智子, 内堀　真弓[YAMAZAKI TOMOKO, UCHIBORI MAYUMI]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：seminar of Home Care Nursing

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室（3号館17階）

授業の目的、概要等

療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。

授業の到達目標

訪問看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、リハビリテーション技術、摂食嚥下等に関する技術の理論と実際について理解し、事例を通して具体的看護援助の方法を身につける。

1～2回目：事例を通して在宅看護過程を知り、生活を重視した展開方法を理解できる。

3～4回目：在宅療養者の摂食嚥下の援助の目的と特徴を知り、理論と実践を理解できる。

5～6回目：在宅リハビリテーションの目的と特徴を知り、基礎知識と技術を習得できる。

7～8回目：在宅酸素療法の目的と特徴を知り、基礎知識と技術を習得できる。

9～10 回目：褥瘡予防の目的と特徴を知り、予防ケアに必要な基礎知識と技術を習得できる。

11～12 回目：難病療養者の呼吸管理の目的と特徴を知り、コミュニケ―ションの基礎知識と技術を習得できる。

13～14 回目：高齢者の事例を用いて在宅看護過程についてグループで討議し、展開できる。

15～16 回目：ロールプレイ演習を通して、事例への看護の実際を体験することで、在宅看護の特徴を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	オリエンテーション・在宅療養環境のアセスメント	内堀　真弓
2	5/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	看護過程　事例:がん終末期療養者の看護	内堀　真弓
3-4	5/22	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	在宅療養者の摂食嚥下の援助:理論と実際	戸原　玄
5-6	5/27	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2	在宅看護学演習	移動・移乗の援助技術、および在宅リハビリテーション	髙井　豊
7	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の看護　在宅酸素療法　在宅看護過程　事例:COPD 療養者の看護	岡部　明子
8	5/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の看護　在宅酸素療法　在宅看護過程　事例:COPD 療養者の看護	内堀　真弓, 岡部　明子
9-10	6/5	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 1	在宅看護学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤　貴子, 石原　由花, 内堀　真弓
11-12	6/12	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理（人工呼吸療法）・コミュニケーション方法	中山　優季
13-14	6/19	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	看護過程　事例:高齢者の看護	内堀　真弓, 遠藤　貴子
15-16	6/26	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	在宅看護学演習	看護過程　ロールプレイ演習	山﨑　智子, 遠藤　貴子, 内堀　真弓, 石原　由花, 森下　奈美

授業方法

出席について：講義中に配布するレスポンスシートに、評価・感想を記入し、その提出を以って出席とする。

成績評価の方法 定期試験、レスポンスシート、出席状況、授業およびグループワークへの参加態度、課題レポートにより総合的に評価する。 なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。
成績評価の基準 定期試験、レスポンスシート、出席状況、授業およびグループワークへの参加態度、課題レポートにより総合的に評価する。 なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。
準備学習等についての具体的な指示 演習前に、該当する事項に関して教科書や参考書を用いて予習しておくこと。
教科書 関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,正野, 逸子,本田, 彰子,:メヂカルフレンド社, 2018 在宅看護技術／正野逸子, 本田彰子編著,正野, 逸子,本田, 彰子,:メヂカルフレンド社, 2015
参考書 写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子 監修,:インターメディカ, 2016
他科目との関連 在宅看護学実習で必要な看護技術および看護過程の展開を学ぶ。
連絡先（メールアドレス） 山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp 内堀　真弓:uchibori.chn@tmd.ac.jp　　3 号館 19F
オフィスアワー 山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室 内堀　真弓:事前連絡にて随時 3 号館 19 階在宅ケア看護学研究室2

時間割番号	012056				
科目名	在宅看護学実習			科目ID	MN-372700-E
担当教員	山﨑　智子, 内堀　真弓[YAMAZAKI TOMOKO, UCHIBORI MAYUMI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Home Care Nursing

【科目責任者】山﨑　智子

授業の目的、概要等

在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その看護提供のシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。

授業の到達目標

1) 訪問看護実習

・ 訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。

・ 訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。

・ 同行訪問により在宅での看護提供の実際を学ぶ。

・ 在宅療養に必要な社会資源の活用について学ぶ。

2) ケアマネジメント実習

・ 介護保険、および福祉制度等の仕組みを理解する。

・ 居宅介護支援に関する具体的ケア提供の方法を理解する。

・ 療養者を取り巻く関係施設、および各専門職との連携、マネジメントについて理解する。

3) 退院支援および継続看護実習

・ 医療施設等から在宅療養への移行期に求められる、療養者の状況のアセスメントについて理解する。

・ 医療施設等から在宅療養への移行期において、目標設定、および必要な援助を見出す退院計画について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/24	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習オリエンテーション	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
2	9/28	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
3	9/29	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
4	10/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
5	10/2	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
6	10/5	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
7	10/6	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
8	10/8	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
9	10/9	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
10	10/12	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
11	10/13	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
12	10/15	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
13	10/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
14	10/19	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
15	10/20	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
16	10/22	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
17	10/23	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
18	10/26	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
19	10/27	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
20	10/29	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
21	10/30	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
22	11/2	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓
23	11/5	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀　真弓

24	11/6	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
25	11/9	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
26	11/10	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
27	11/12	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
28	11/13	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
29	11/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
30	11/17	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
31	11/19	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
32	11/20	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
33	11/24	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
34	11/26	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
35	11/27	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
36	11/30	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
37	12/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
38	12/3	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
39	12/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
40	12/7	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
41	12/8	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
42	12/10	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
43	12/11	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
44	12/14	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
45	12/15	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
46	12/17	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
47	12/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
48	1/12	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
49	1/14	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
50	1/15	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
51	1/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
52	1/19	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
53	1/21	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
54	1/22	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
55	1/25	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
56	1/26	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
57	1/28	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
58	1/29	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
59	2/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
60	2/2	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
61	2/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
62	2/5	12:50-14:20	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	内堀 真弓
63	2/8	14:30-16:00	保健衛生学科講義室２	在宅看護学実習報告会	詳細については実習要項参照	内堀 真弓

授業内容

＊ 詳細については実習要項参照

成績評価の方法

評価対象者は4分の3以上の出席日数を満たす者とする。

出席状況、実習への取り組みの姿勢と態度、カンファレンスへの参加状況、実習記録内容、評価面接から総合的に評価する。

成績評価の基準

評価対象者は4分の3以上の出席日数を満たす者とする。

出席状況、実習への取り組みの姿勢と態度、カンファレンスへの参加状況、実習記録内容、評価面接から総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

実習までに自転車に乗れるようにしておくこと。

在宅看護学Ⅱ・在宅看護学演習の学習で用いた在宅看護過程の教科書・資料を用いて情報収集と整理・アセスメントについて復習し、在宅看護における看護計画立について振り返りをしておくこと。

ケアマネジメント実習に向け、自分の住んでいる地域の地域包括支援センターについて調べておくこと。

教科書

関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,正野, 逸子,本田, 彰子,:メヂカルフレンド社, 2018

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子 監修,押川, 真喜子, 1960-,:インターメディカ, 2016

在宅看護技術／正野逸子, 本田彰子 編著,正野, 逸子,本田, 彰子,:メヂカルフレンド社, 2015

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

内堀　真弓:uchibori.chn@tmd.ac.jp　　3 号館 19F

オフィスアワー

山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと　3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

内堀　真弓:事前連絡にて随時　3 号館 19 階在宅ケア看護学研究室2

第４学年

2020年度時間割（看護学専攻：第4学年）

2020.4.1

（前期）　　・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科目　　・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	①	総合実習	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
3/30	月											
31	火											
4/1	水											
2	木											
3	金											

	①		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/6	月	総合実習Ⅱ										
7	火				国際保健看護学(1)	4					〔自〕国際保健福祉D オリエンテーション	1
8	水				卒業論文Ⅱ(1)	各研究室						
9	木				看護の統合と実践Ⅱ(1)	4	地域保健看護学Ⅲ(1)	1	地域保健看護学Ⅲ(2)	1		
10	金						緩和ケア看護学Ⅰ(1)	1	緩和ケア看護学Ⅰ(2)	1		

	②		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月	総合実習Ⅱ	総合実習Ⅰ・Ⅱオリエンテーション	4			地域保健看護学Ⅲ(3)	4	地域保健看護学Ⅲ(4)	4	〔自〕実践看護英語Ⅲ(1)	2
14	火		国際保健看護学(2)	4	国際保健看護学(3)	4						
15	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(2)	2	卒業論文Ⅱ(2)	各研究室						
16	木				看護の統合と実践Ⅱ(2)	4	地域保健看護学演習(1)	1	地域保健看護学演習(2)	1		
17	金						緩和ケア看護学Ⅰ(3)	1	緩和ケア看護学Ⅰ(4)	1		

	③		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月	総合実習Ⅱ					~~地域保健看護学　北区での実習オリエンテーション 13:30～15:30~~					
21	火											
22	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(3)	2	卒業論文Ⅱ(3)	各研究室			学内就職説明会 (15時～)	1	学内就職説明会 (15時～)	1
23	木		~~地域保健看護学　足立区での実習オリエンテーション~~				地域保健看護学Ⅲ(5)	1	地域保健看護学演習(3)	1		
24	金						緩和ケア看護学Ⅰ(5)	1	緩和ケア看護学Ⅰ(6)	1		

	④		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月	総合実習Ⅱ					地域保健看護学演習(4)	4	地域保健看護学演習(5)	4		
28	火				国際保健看護学(4)	4						
29	水		昭和の日									
30	木	総合実習Ⅱ										
5/1	金								~~TOEFL/ITP(2・3年で受験しなかった学生)~~	延期	~~TOEFL/ITP(2・3年で受験しなかった学生)~~	延期

	⑤		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月		みどりの日									
5	火		こどもの日									
6	水		振替休日									
7	木	総合実習Ⅱ			看護の統合と実践Ⅱ(3)	4	地域保健看護学演習(6)	1	地域保健看護学演習(7)	1		
8	金						緩和ケア看護学Ⅰ(7)	1	緩和ケア看護学Ⅰ(8)	1	〔自〕実践看護英語Ⅲ(4)	2

2020年度時間割(看護学専攻:第4学年)

2020.4.1

	⑥		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月	総合実習Ⅱ			産業保健学(1)	4	地域保健看護学Ⅲ(6)	4	地域保健看護学Ⅲ(7)	4	保健統計学(1)	情報検索室
12	火		国際保健看護学(5)	1	国際保健看護学(6)	1	健康教育学演習(1)	1	健康教育学演習(2)	1	健康教育学演習(3)	1
13	水				卒業論文Ⅱ(4)	各研究室					〔自〕実践看護英語Ⅲ(5)	2
14	木		看護の統合と実践Ⅱ(4)	4	看護の統合と実践Ⅱ(5)	4	地域保健看護学演習(8)	1	地域保健看護学演習(9)	1		
15	金						〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(1)	1	〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(2)	1		

	⑦		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月	総合実習Ⅱ	産業保健学(2)	4	産業保健学(3)	4	地域保健看護学Ⅲ(8)	4	地域保健看護学Ⅲ(9)	4	〔自〕実践看護英語Ⅲ(6)	2
19	火		国際保健看護学(7)	4	国際保健看護学(8)	4	健康教育学演習(4)	1	健康教育学演習(5)	1	健康教育学演習(6)	1
20	水		卒業論文Ⅱ(5)	各研究室	卒業論文Ⅱ(6)	各研究室						
21	木				看護の統合と実践Ⅱ(6)	4	地域保健看護学演習(10)	1	地域保健看護学演習(11)	1	地域保健看護学演習(12)	1
22	金						〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(3)	1	〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(4)	1		

	⑧		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月	総合実習Ⅱ	保健統計学(2)	情報検索室	産業保健学(4)	4	地域保健看護学Ⅲ(10)	4	地域保健看護学Ⅲ(11)	4		
26	火		国際保健看護学(9)	4	国際保健看護学(10)	4	健康教育学演習(7)	1	健康教育学演習(8)	1	健康教育学演習(9)	1
27	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(7)	2	卒業論文Ⅱ(7)	各研究室						
28	木		看護の統合と実践Ⅱ(7)	4	看護の統合と実践Ⅱ(8)	4	地域保健看護学演習(13)	1	地域保健看護学演習(14)	1		
29	金						〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(5)	1	〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(6)	1		

	⑨		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月	総合実習Ⅱ			産業保健学(5)	4	地域保健看護学Ⅲ(12)	4	地域保健看護学Ⅲ(13)	4	保健統計学(3)	情報検索室
2	火		国際保健看護学(11)	4	国際保健看護学(12)	4	健康教育学演習(10)	1	健康教育学演習(11)	1	健康教育学演習(12)	1
3	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(8)	2	卒業論文Ⅱ(8)	各研究室						
4	木				看護の統合と実践Ⅱ(9)	4	地域保健看護学Ⅲ(14)	1	地域保健看護学Ⅲ(15)	1		
5	金						〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(7)	1	〔選〕緩和ケア看護学Ⅱ(8)	1		

	⑩		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月	総合実習Ⅱ	産業保健学(6)	4	産業保健学(7)	4	看護の統合と実践Ⅱ(10)	4	看護の統合と実践Ⅱ(11)	4	保健統計学(4)	情報検索室
9	火		国際保健看護学(13)	4	国際保健看護学(14)	4	健康教育学演習(13)	1	健康教育学演習(14)	1	健康教育学演習(15)	1
10	水		〔自〕実践看護英語Ⅲ(9)	2	卒業論文Ⅱ(9)	各研究室						
11	木		産業保健学(8)	4								
12	金											

	⑪		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月	総合実習Ⅱ	保健統計学(5)	情報検索室	保健統計学(6)	情報検索室	看護の統合と実践Ⅱ(12)	4	看護の統合と実践Ⅱ(13)	4	看護の統合と実践実習オリエンテーション	4
16	火				国際保健看護学(15)	4	地域保健看護学演習(15)	4	地域保健看護学演習(16)	4		
17	水				卒業論文Ⅱ(10)	各研究室					〔自〕実践看護英語Ⅲ(10)	2
18	木											
19	金											

2020年度時間割(看護学専攻:第4学年)

2020.4.1

	①		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月		保健統計学(7)	情報検索室(入口4F)	保健統計学(8)	情報検索室(入口4F)	看護の統合と実践Ⅱ(14)	4	看護の統合と実践Ⅱ(15)	4		
23	火		前期定期試験									
24	水		前期定期試験									
25	木		前期定期試験									
26	金		前期定期試験									

	①		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月											
30	火		看護の統合と実践実習:包括医療統合教育(チーム医療入門)									
7/1	水		看護の統合と実践実習:包括医療統合教育(チーム医療入門)									
2	木		看護の統合と実践実習(場所:症例検討室/午前は講義室2、午後は講義室1も使用)									
3	金		看護の統合と実践実習(場所:(終日)講義室2)									

	②		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/6	月		看護の統合と実践実習									
7	火		看護の統合と実践実習									
8	水		看護の統合と実践実習									
9	木		看護の統合と実践実習									
10	金		看護の統合と実践実習									

	③		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/13	月		看護の統合と実践実習									
14	火		看護の統合と実践実習									
15	水		看護の統合と実践実習									
16	木		看護の統合と実践実習(場所:症例検討室)									
17	金		看護の統合と実践実習(場所:症例検討室)									

	④		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/20	月		看護の統合と実践実習 (場所:講義室2)							16:10～17:10 総合実習Ⅰオリエンテーション		2
21	火		看護の統合と実践実習 発表会(11時～17時 症例検討室)									
22	水											
23	木		海の日									
24	金		スポーツ日									

			8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/27	月											
28	火											
29	水											
30	木		オープンキャンパス(予定)									
31	金											

夏季休業 7/28(火)～

(後期) ※臨地実習の詳細については, 別途連絡する。

2020年度時間割(看護学専攻:第4学年)

2020.4.1

	①		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/7	月	総合実習Ⅱ										
8	火											
9	水		卒業論文Ⅱ									
10	木											
11	金		臨地実習(保健衛生学講義室2)									2

	②		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/14	月	総合実習Ⅰ・Ⅱ	臨地実習 / 総合実習Ⅰ(講義室1)									
15	火		臨地実習 / 地域保健看護学実習									
16	水		卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(1)	セミナー室 4
17	木		臨地実習									
18	金											

	③		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月		敬老の日									
22	火		秋分の日									
23	水	総合実習Ⅰ・Ⅱ	卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(2)	セミナー室 4
24	木		臨地実習									
25	金		臨地実習									
			総合実習1							1		

	④		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
29	火											
30	水		卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(3)	セミナー室 4
10/1	木		臨地実習									
2	金											

	⑤		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
6	火											
7	水		卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(4)	セミナー室 4
8	木		臨地実習									
9	金											

	⑥		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月		創立記念行事									
13	火	総合実習Ⅱ	臨地実習									
14	水		卒業論文Ⅱ								海外研修報告会	1
15	木		臨地実習									
16	金											

	⑦		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
20	火											
21	水		卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(5)	セミナー室 4
22	木		臨地実習									
23	金											

2020年度時間割（看護学専攻：第4学年）

2020.4.1

	⑧		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
27	火											
28	水		卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(6)	セミナー室 4
29	木		臨地実習									
30	金											

	⑨		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月		臨地実習									
3	火		文化の日									
4	水	総合実習Ⅱ	卒業論文Ⅱ								〔自〕Learning Medical English(7)	セミナー室 4
5	木		臨地実習									
6	金											

	⑩		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
10	火											
11	水		卒業論文Ⅱ								看護のみ〔自〕Learning Medical English(8)	セミナー室 4
12	木		臨地実習									
13	金											

	⑪		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	総合実習Ⅱ	臨地実習									
17	火											
18	水		卒業論文Ⅱ									
19	木		臨地実習									
20	金		地域保健看護学実習実習報告会									1,2

	⑫		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	総合実習Ⅱ	勤労感謝の日									
24	火											
25	水		卒業論文Ⅱ									
26	木											
27	金											

	⑬		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月											
12/1	火											
2	水		卒業論文Ⅱ									
3	木											
4	金											

2020年度時間割(看護学専攻:第4学年)

2020.4.1

	⑭		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月											
8	火											
9	水		卒業論文Ⅱ									
10	木											
11	金											

	⑮		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月											
15	火											
16	水		卒業論文Ⅱ									
17	木											
18	金											

	⑯		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月											
22	火											
23	水											
24	木											
25	金											

冬季休業　12/21(月)～

	⑰		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月											
5	火											
6	水											
7	木											
8	金											

	①											
1/11	月		成人の日									
12	火											
13	水											
14	木											
15	金											

	②											
1/18	月											
19	火											
20	水											
21	木											
22	金											

春季休業　1/25(月)～

卒 業 式　3/25(木)

時間割番号	012058				
科目名	保健統計学			科目ID	MN-430200-L
担当教員	緒方　泰子, 寺本　妙子[OGATA YASUKO, TERAMOTO TAEKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Health　Statistics

【科目責任者】緒方　泰子

主な講義場所

情報検索室（M&Dタワー4階）

授業の目的、概要等

本科目では保健統計学の基礎を学ぶ。客観的指標であるデータの収集，処理・分析，結果の解釈という一連の流れを理解し，科学的根拠として捉えられる数量的表現の理解を目指す。演習も取り入れ，実際にパソコン上でデータ処理を試みる。

授業の到達目標

1 回目：記述統計学の基本用語を説明できる。度数分布表，ヒストグラムの作成や統計量（平均値，標準偏差）の算出が適切にできる。

2 回目：相関，回帰，確率分布について説明できる。2 つの変数について散布図を描き，相関係数と回帰式を算出することができる。

3 回目：母集団と標本について説明し，母集団平均を推定することができる。

4 回目：統計的仮説検定について説明し，2 つの平均値の差の検定（t検定）を適切に実行することができる。

5 回目：ノンパラメトリック検定について説明し，クロス集計，及び χ^2 検定を適切に実行することができる。

6 回目：分散分析について説明し，一元配置分散分析，及び二元配置分散分析を適切に実行することができる。

7 回目：人口動態統計について説明し，人口動態データの分析，及び解釈を適切におこなうことができる。

8 回目：量的研究のデザインに適したデータの処理，統計的分析について説明し，結果の解釈を適切におこなうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/11	16:20-17:50	情報検索室	保健統計の概要（Ⅰ）	尺度，記述統計学（度数分布，代表値，散布度），データ処理の演習	寺本　妙子
2	5/25	08:50-10:20	情報検索室	保健統計の概要（Ⅱ）	相関，回帰，確率分布，データ処理の演習	寺本　妙子
3	6/1	16:20-17:50	情報検索室	母集団統計値	母集団と標本，母集団平均の推定	寺本　妙子
4	6/8	16:20-17:50	情報検索室	仮説検定（Ⅰ）	統計的仮説検定，平均値の差の検定	寺本　妙子
5	6/15	08:50-10:20	情報検索室	仮説検定（Ⅱ）	ノンパラメトリック検定	寺本　妙子
6	6/15	10:30-12:00	情報検索室	分散分析	一元配置分散分析，二元配置分散分析，多重比較	寺本　妙子
7	6/22	08:50-10:20	情報検索室	演習（Ⅰ）	人口統計，データ処理の演習	寺本　妙子
8	6/22	10:30-12:00	情報検索室	演習（Ⅱ）	量的研究のデザイン，データ処理の演習	寺本　妙子

授業内容

授業は双方向型の講義と演習を中心に進める。毎回の演習では課題用ワークシート（授業中に配布）を活用し，パソコンでデータ処理に取り組む（Microsoft Excel 使用）。課題は毎回提出し，到達目標の達成を目指す。

成績評価の方法

平常点（出席，授業への参加態度，演習の取り組み，ワークシートの活用）と定期試験で総合的に評価する。定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容は，参考書（別記）に基づいて構成されているので，該当箇所を事前学習しておくことを勧める。

参考書

やさしい保健統計学（改訂第 5 増補版）＝Health Statistics Made Simple／縣俊彦著,県，俊彦,：南江堂，2019

ナースのための統計学／高木廣文 著,高木，広文,1950-,：医学書院，2009

連絡先（メールアドレス）

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012059A				
科目名	国際保健看護学			科目ID	MN-430400-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：International Health Nursing

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　講義室 4

授業の目的、概要等

諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。模擬患者を想定した留学生と英語でコミュニケーションをとる演習を通して国内の外国人患者への対応方法について学ぶ。

海外で活動経験のある講師や実際日本の病院で外国人患者の対応を行っている講師の話を聞き、異文化につて理解し、異文化を持つ対象に対する対応方法や活動の意義について学ぶ。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

諸外国の医療や看護の現状を理解し、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる（1-10, 15 回）。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

模擬患者を使用して日本語の話せない患者と英語等でコミュニケーションをとり、異文化を持つ対象のニーズを把握する感性を身に付ける(13-14 回)。

日本国内における外国人の医療/健康問題について考えることができる。異文化を持つ患者のアセスメントができる（11-14 回）。

3. 問題提起・解決能力の修得

我が国の移民や難民の受け入れの状況を知り、どのように対応していけばよいか両従事者の立場のみならず一般市民としての対応方法・問題に対する姿勢を身に付ける（11、15）。

4. 自己学習能力・創造性の形成

「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について述べることができる（最終課題）。

5. 国際性の形成

異文化や違う価値観を持つ他者とコミュニケーションを取り、正しい・正しくないではなく、違いとして理解し、受け入れることができる（1－15 回）。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	Introduction to Global Health Nursing　国際保健看護学概論 1	グローバルヘルスと看護	近藤　暁子
2	4/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学概論 2	開発途上国における健康課題とその背景	駒形　朋子
3	4/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学概論 3	日本国内の課題：移民・難民対応	駒形　朋子
4	4/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	先進国の医療・看護 1	米国の看護教育・保険制度	Ann L. Eckhardt, 近藤　暁子
5	5/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	先進国の医療・看護 2	Nursing study in the United States	近藤　暁子
6	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 1	日本の国際協力	ODA 政策と JICA の保健医療協力	田中　雅彦
7	5/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	熱帯地域の健康課題と看護 1	ベトナムでのマラリアコントロール	駒形　朋子

8	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	熱帯地域の健康課題と看護2	モンゴル、ラオス、カンボジアでの看護活動の実際	森山 潤
9	5/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	イスラム文化圏での看護	パキスタンにおける健康課題と看護	駒形 朋子
10	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際活動	国際機関の活動と国際保健医療協力	中村 桂子
11-12	6/2	08:50-12:00	保健衛生学科講義室4	国内の国際化1	難民ワークショップ　国内における外国人患者への看護	二見 茜
13-14	6/9	08:50-12:00	保健衛生学科講義室4	国内の国際化2	日本語を話せない患者への対応演習	近藤 暁子, 二見 茜
15	6/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国内の国際3	世界の人口問題/移民の受け入れについてディスカッション	近藤 暁子

授業方法

1） 講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。

2） 講義は教員が一方的に話すのではなく、適宜学生に質問する。この回答内容により評価は行わないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。自発的な発言者がない場合は名簿からランダムに指名する。

3） 外国人患者への対応演習は、留学生に自分の患者体験からの事例を作成してもらい、日本語が話せないという想定で患者を演じてもらう。学生は英語もしくは留学生の言語、筆談、ゼスチャーなどを使用して対象の状態を理解し、必要な看護援助を考える。6～5 人ずつのグループに別れ、グループでまとめたものをプレゼンし、提出する。

4）毎回授業の最後にリアクションペーパーを配布するので、その日に学んだこと、印象に残ったことを記述し、講義終了後に回収する。授業開始時の出欠確認とリアクションペーパーの提出を持ってその日の出席とする。

授業内容

諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。模擬患者を想定した留学生と英語でコミュニケーションをとる演習を通して国内の外国人患者への対応方法について学ぶ。

成績評価の方法

参加度(30%)、WHO の役割の日本語訳（10%）、日々のリアクションペーパー （15%）、 模擬患者のアセスメント(20%) 最終レポート(35%)

1） 参加度(30%)：出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は2回で1回の欠席とする。電車が智案した場合は遅延証明を得てその裏に名前を書いて提出すること。遅延証明がある場合にも 45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められないので、電車の遅延なども考慮し、早めに登校することを勧める。

2） WHO の役割の日本語訳（10%）：内容を正確に理解しているか。翻訳された日本語の表現力も評価する。

3） 日々のリアクションペーパー （15%）：その回の目標が達成できているかどうか評価する。

4） 模擬患者のアセスメント(20%)：グループごとに患者役の留学生の話を聞き、必要な情報を収集する。1.事前準備・対策、2. 情報収集したこと、3. アセスメントと看護ケア、4. 演習を通して感じたことや今後の対策についてまとめ、グループごとに提出する。

最終レポート：「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について(A4 1 ページ以内にまとめる)。

準備学習等についての具体的な指示

WHO http://www.who.int/en/ と JICA https://www.jica.go.jp/ の役割について学習して来ること。

試験の受験資格　2/3 以上の出席

履修上の注意事項

本科目において異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。　やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012060				
科目名	産業保健学			科目ID	MN-430500-L
担当教員	森田　久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Occupational　Health　Nursing

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

働く人の健康指導と健康管理，並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり，その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。

授業の到達目標

産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して，そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には，保健師としての倫理観と人格が求められ，保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。

産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され，社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ，自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき，望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。

＜各回の到達目標＞

1 回目：産業保健の概要を理解し、現在問題となっていること、改善すべき点について説明できる。

2 回目：産業保健の理念、歴史、法律について説明できる。

3 回目：産業看護活動の具体的内容について説明できる。

4～5 回目：労働者の心の健康支援について具体例をあげながら説明できる。

6 回目：労働災害について説明できる。

7～8 回目：衛生管理、人事労務管理について説明できる。また、事例演習に積極的に参加し、発言できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「産業保健学総論」　地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田　久美子
2	5/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」　産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	水野　恵理子
3	5/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「産業看護活動」　産業看護活動の実際、ハラスメント、自殺対策等について学ぶ。	水野　恵理子
4	5/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「労働者の心の健康支援１」　疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	水野　恵理子
5	6/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「労働災害」　職業性疾病、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田　久美子
6	6/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」　関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え方、人事労務問題への対応について学ぶ。	森田　久美子,長谷川　梢
7	6/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「人事労務管理2」　事例演習（判例検討）	森田　久美子,長谷川　梢
8	6/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室４	産業保健学	「労働者の心の健康支援２」　予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	水野　恵理子

授業方法

講義および与えられた課題をもとにグループディスカッション、発表を行う。
随時、国家試験の過去問などの演習に取り組む。

授業内容

公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして，働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく，仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。
そのためには，健康な人も健康に障害を持った人も，労働という営みの中で，保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列挙しながら，産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病（職業性疾患）・産業災害とその対策や予防方法などについて理解を深める。

成績評価の方法

学期末定期試験および授業の参加態度等により評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

参考書

眞野喜洋，遠藤立一（監著）：健康管理者のための公衆衛生学，圭文社，東京
眞野喜洋（監著）：スタンダード公衆衛生学，文光堂，東京
松田正巳他：対象別地域看護活動、医学書院
平山朝子，宮地文子（編集）：産業保健指導論，公衆衛生看護大学体系＃6，日本看護協会出版会，東京
(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生の指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京
森　晃爾（編集）：産業保健ハンドブック，労働調査会，東京
中央労働災害防止協会：労働衛生のしおり，東京
成人地域看護活動（地域看護学講座 No7），医学書院
など産業保健に関する書籍はすべて参考となるが，購入の折にはできるだけ新しい数値の乗った統計データを有するものから選ぶこと。

他科目との関連

地域保健看護学とは密接な関係にあり，クロス・オーバーする領域が多い。　母性，成人老人，精神の各保健学，看護学とも関連性が高い。　基礎学力としての生理学，薬理学，病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。

履修上の注意事項

産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので，日頃からマスメディアの医療が関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012061				
科目名	健康教育学演習			科目ID	MN-450600-S
担当教員	森田　久美子[MORITA KUMIKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Health　Education

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。

授業の到達目標

健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。

＜各回の到達目標＞

1，2回目：健康教育の目的、対象、手法を理解し説明できる。

3－6回目：健康教育において、テーマの選定から計画、実施、評価の一連の流れを理解し説明できる。

7，8回目：健康教育の計画書の立案ができる。

9，10 回目：健康教育の理論について理解し、説明できる。

11－14 回目：健康教育に必要な媒体の考案・作成ができる。

15－16 回目：設定したテーマにあった健康教育のデモ発表ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/12	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育の理論と展開方法	綾部　明江
3	5/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育　総論　　構成的エンカウンターの体験、講義動機づけ面接法　他	森田　久美子
4-6	5/19	13:00-17:50	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	個人を対象とした健康教育の実際　ヘルスコミュニケーション、個別指導場面のロールプレイ、自己課題シートに基づいた面接、ディスカッション	森田　久美子
7	5/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	集団を対象とした健康教育の実際　　健康教育のテーマの決め方、計画書の作成方法	森田　久美子
8-9	5/26	14:40-17:50	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	グループワーク①　　健康教育実施のための情報収集、テーマ設定、計画書の作成	森田　久美子
10-12	6/2	13:00-17:50	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	グループワーク②　　健康教育に必要な媒体の作成、発表練習	森田　久美子, 津田　紫緒
13-15	6/9	13:00-17:50	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育発表会、まとめ	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒

授業方法

演習を中心にして個人ワーク、グループワーク、発表を行う。

成績評価の方法

レポート、プレゼンテーションにより評価する。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい

。

教科書

・Educational Video Online　地域看護活動とヘルスプロモーション/
　続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、
　2007・2008/2013・2014

・DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　公衆衛生看護活動に
　おける健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013

参考書

・松本千明著：健康行動理論の基礎, 医歯薬出版株式会社

・畑　栄一、土井由利子編：行動科学　健康づくりのための理論と応用

・国民衛生の動向

・佐々木明子、井原一成編：新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度②公衆衛生学,
　メヂカルフレンド社

他科目との関連

健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかり習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことも多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。保健師コース選択者は健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

連絡先（メールアドレス）

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012062				
科目名	卒業論文Ⅱ			科目ID	MN-460700-S
担当教員	緒方　泰子, 森田　久美子[OGATA YASUKO, MORITA KUMIKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Thesis Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

担当教員：看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員

看護学専攻主任

主な講義場所

所属分野の研究室等（配置分野の教員の指示に従う）

所属分野の決定を受けた後，所属分野の教員に研究指導場所等の確認を取ること。

授業の目的、概要等

選択したテーマに沿って，指導教員から実際の研究指導を受ける。

指導教員のもとで研究を行い，論文をまとめる。

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』を参照のこと。

授業の到達目標

卒業論文では，看護・保健に関する研究のプロセスを学ぶことを通じて，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，発表の仕方の基本を習得させることを目的とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
2	4/15	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
3	4/22	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
4	5/13	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
5-6	5/20	08:50-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
7	5/27	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
8	6/3	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
9	6/10	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
10	6/17	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
11-15	9/9	08:50-17:50		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
16-19	9/16	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
20-23	9/23	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
24-27	9/30	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
28-31	10/7	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
32-35	10/14	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
36-39	10/21	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
40-43	10/28	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
44-47	11/4	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
48-51	11/11	08:50-16:10		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
52-56	11/18	08:50-17:50		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
57-61	11/25	08:50-17:50		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
62-66	12/2	08:50-17:50		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	佐々木　明子, 山﨑　智子
67-71	12/9	08:50-17:50		卒論発表会	卒論発表会	佐々木　明子, 山﨑　智子
72-76	12/16	08:50-17:50		卒論まとめ		佐々木　明子, 山﨑　智子

授業方法

所属分野の方針にしたがって研究を行う。

授業内容

学生による主体的な研究活動

〔日時〕授業開始から卒論発表会までの間の原則水曜日 2 時限。

所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価及び単位認定を参照のこと。

研究指導を担当した各分野長が，研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

卒業研究論文と卒業研究発表で評価する。

1）卒業研究論文

卒業論文と卒業論文抄録を提出する。

形　式 ：別紙（卒業論文フォーム）の規定に従う。

期限までに提出のない者は単位を認定しない。

2）卒業研究発表

1人につき発表5分，討論2分程度。

Power Point を使用した口頭発表を行う。

成績評価の基準

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

卒業論文Ｉで学習した研究概説，研究倫理，外国語文献検索方法については復習をしておくこと。

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会（APA）著,前田樹海，江藤裕之，田中建彦　訳.：医学書院，2011

看護研究 ： 原理と方法／D.F.ポーリット，C.T.ベック　著,近藤潤子　監訳,後藤桂子，新道幸恵，松岡惠，高木廣文，羽山由美子　訳.：医学書院，2010

大学院のシラバスも参考にすること。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するので，全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され，当該分野において教授，准教授，講師および助教が指導教員（研究指導の責任者）となり、教員全員が指導にあたる。指導する学生数は原則として教授4名，准教授3名，講師2名，助教 1 名とする。

・成績は，各分野において論文と発表から評価し,専攻主任が認定する。

連絡先（メールアドレス）

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　 3 号館 19 階

森田　久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森田　久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L
担当教員	沢辺　元司[SAWABE MOTOJI]				
開講時期	2020 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Learning Medical English

【科目責任者】沢辺　元司

主な講義場所　MDタワー22F　共用セミナー室4

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/16	16:20-17:50	共用セミナー室４	第2章　心血管疾患	小試験+通読	沢辺　元司
2	9/23	16:20-17:50	共用セミナー室４	第3章　呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺　元司
3	9/30	16:20-17:50	共用セミナー室４	第4章　神経疾患	小試験+通読	沢辺　元司
4	10/7	16:20-17:50	共用セミナー室４	第5章　胃腸疾患	小試験+通読	沢辺　元司
5	10/21	16:20-17:50	共用セミナー室４	第6・7章　筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺　元司
6	10/28	16:20-17:50	共用セミナー室４	第8・9章　免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺　元司
7	11/4	16:20-17:50	共用セミナー室４	第 10・11 章　腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺　元司
8	11/11	16:20-17:50	共用セミナー室４	第 12 章　生殖器疾患	小試験+通読	沢辺　元司

授業方法　講義形式

成績評価の方法　講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

教科書

Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016

上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷板を購入してください。

参考書　特に指定しない。

他科目との関連　解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書（約 5,000 円）はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。

参照ホームページ

教科書のリンクです

連絡先（メールアドレス）

沢辺　元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp　３号館 16F　内線 5370

オフィスアワー

沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが，事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3 号館 16 階

時間割番号	012088				
科目名	実践看護英語Ⅲ			科目ID	MN-492700-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

実践看護英語Ⅲ
【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

3号館8階講義室2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。自文化について理解を深め、日本文化以外を持つ対象に対して英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答に応じる。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得
今年のテーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成
文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3. 問題提起・解決能力の修得
ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
4. 自己学習能力・創造性の形成
ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。
5. 国際性の形成
ワシントン大学の学生に対し、英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答、建設的なディスカッションをすることで、英語でのコミュニケーションを躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	・ワシントン大学の学生に対して自己紹介文を入力する　・ワシントン大学の学生の自己紹介に対してコメント・質問を入力する。 https://padlet.com/kniitsu/Spring2020Intro	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加
2	4/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy and technology	CARLSON REBECCA LYNN	
3	4/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Empathy in healthcare	CARLSON REBECCA LYNN	
4	5/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Videogames and Healthcare	Jonathan Corliss	
5	5/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Accessibility and Gamification in Health and Technology	Jonathan Corliss	
6	5/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Resilience and culture　・ワシントン大学の学生の質問に回答する。　・プレゼンのパワーポイント作成・アップロード(5月20日24時まで) https://padlet.com/kniitsu/presentation	近藤　暁子, 新津　晃右	各自PCにて参加

7	5/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤 暁子, 新津 晃右	ワシントン大学の学生と共同講義
8	6/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	自文化・異文化理解	Introduction of Japanese culture and discussion with students from University of Washington (students' presentation)	近藤 暁子, 新津 晃右	ワシントン大学の学生と共同講義
9	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Political system and current issues in Hong Kong	近藤 暁子, VICO Chiang	
10	6/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	異文化理解	UW の学生のホームページプロジェクトを評価** COIL の感想***	近藤 暁子, 新津 晃右	

授業方法

講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2 コマワシントン大学の学生と共有する。その他ワシントン大学の学生とオンラインでのディスカッションを行う。

授業内容

1) 講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2－5 コマ)。

3) 香港の教員と Skype をつなぎ、講義およびディスカッションを行う(9 コマ)

4) 5 コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL)と共同で行う(1、6－8、10 コマ)。そのうちの 2 コマはワシントン大学の学生とインターネットで中継して共有し、本学の学生は日本文化の紹介を行い、ワシントン大学の学生はそれに対する質問を行う(8－9コマ)。その他3コマはワシントン大学の学生と自己紹介についてお互い質問およびコメントを行い(1コマ)、ワシントン大学のレジリエンスについてのホームページプロジェクトについてのオンラインでの評価・コメントを行う(10 コマ)。

*4 月 13 日の「プレゼンのテーマを考える」は、下記①②の中から各自選択する。

①ワシントン大学の学生のプロジェクトの中から1つ選んで特に日本の状況について紹介する:

* Loss & Grief
* Disaster
* Rape and other sexual assault
* Military
* Terrorism
* Poverty
* Serious mental illness

②日本の伝統的文化(習慣)について紹介する:例えば、正月やお盆の行事と意味などの紹介。

**6 月 17 日の UW の学生のホームページプロジェクトの評価は指定の評価表に従って入力する。

***COIL の感想は下記内容について自由記述する。これは成績とは無関係であり、今後の授業の進め方の参考にしたいので、忌憚のない意見を自由に記述していただきたい。

① General comments about the experience in this class

② What did you learn in this class, especially regarding cultural difference and similarity?

③ How can you utilize what you learned in this class for nursing?

④ How do you think you can improve your communication skills based on what you learned in this class?

成績評価の方法

全体的参加度:30%(出席状況、授業中の積極的な発言)

COIL 参加度(ワシントン大学の学生とのコミュニケーションとプロジェクト評価):40%

最終プレゼンテーション:30%(1 つの文化について調べたことを英語でプレゼンし、ワシントン大学の学生と質疑応答する。ワシントン大学の学生からのフォードバック・評価も含む)

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書
Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer
他科目との関連
国際保健看護学
履修上の注意事項
履修要件：TOEFL450 点以上
連絡先（メールアドレス）
近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
オフィスアワー
近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012084				
科目名	国際保健福祉 D			科目 ID	MN-492600-Z
担当教員	緒方　泰子[OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare D

【科目責任者】看護学専攻主任　佐々木　明子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

- セイナヨキ応用科学大（フィンランド共和国）
- ラオス保健科学大学（ラオス人民民主共和国）
- ワシントン州（米国）　　等

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に　日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告書を作成するとともに、海外研修報告会において適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等）	佐々木　明子
2	10/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	海外研修報告会	佐々木　明子

授業方法　事前研修の参加、海外研修、海外研修報告会

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

- 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
- グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること
- 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
- 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格　試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修への参加と積極的な活動、10 月 17 日(水)5 限目実施予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

他科目との関連 国際保健福祉 A, 国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健看護学
履修上の注意事項 ・ 4 月 11 日(月)16 時 20 分～合同オリエンテーション(3 号館 18 階　保健衛生学講義室 1)に参加すること　・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと　・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である　・ ワシントン(米国)研修参加者は、実践看護英語(Ⅰ)/(Ⅱ)/(Ⅲ)のいずれかを研修前後に受講することが必須である　・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと　・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること
備考 本科目履修後のお願い ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること 　保健衛生学科　海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス　他 ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
連絡先(メールアドレス) 緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012077				
科目名	地域保健看護学Ⅲ			科目ID	MN-492100-L
担当教員	佐々木　明子, 津田　紫緒[SASAKI AKIKO, TSUDA SHIO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Community　Health　NursingⅢ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。成人高齢者と母子・心身障害児及び，感染症・災害・健康危機管理における，地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント，保健看護活動の展開方法，評価の視点を学ぶ。

授業の到達目標

1)「1~15 回」成人高齢者・母子・心身障害児及び，感染症・災害・健康危機管理における保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムについて理解する。

2)「1 回」心身障害児の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

3)「5,8,9,15 回」地域における成人高齢者・難病者の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

4)「3,4,6,7 回」地域における母子の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

5)「10,11 回」地域における感染症に対する保健看護活動の展開方法と評価ついて理解する。

6)「12,13 回」地域における看護管理活動の展開方法と評価について理解する。

7)「14 回」離島における保健看護活動の展開方法と評価ついて理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	野村　政子
2	4/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学Ⅲ	災害時・健康危機管理時の保健活動の展開	津田　紫緒
3	4/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム	清水　洋子
4	4/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(妊産婦への保健看護活動)	清水　洋子
5	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学Ⅲ	成人期の保健福祉施策と保健医療福祉システム	新井　久美子
6	5/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診，相談，学級)	清水　洋子
7	5/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	清水　洋子
8	5/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開(健康診査、健康相談)	山口　忍
9	5/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	小倉　朗子
10	5/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核，感染症，エイズに対する保健活動の展開)	加藤　たか子，津田　紫緒
11	5/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核，感染症，エイズに対する保健活動の展開)	加藤　たか子，津田　紫緒
12	6/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	久保田　米子
13	6/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	久保田　米子
14	6/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学Ⅲ	離島における保健活動の展開	丸山　あかね
15	6/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学Ⅲ	高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者への虐待予防活動)	佐々木　明子

成績評価の方法

定期試験，レポート

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料（教科書、参考書を含む）を事前に読んでおき、グループ討議時には、積極的に参加すること。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江, 和泉京子 編集,上野, 昌江,和泉, 京子,：中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2018/2019 2018 年 08 月号 (厚生の指標)／一般財団法人 厚生労働統計 協会：厚生労働統計協会, 2018

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 4 巻 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 公衆衛生看護活動における健康教育／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007・2008/2013・1014

参考書

最新保健学講座 3 公衆衛生看護活動論 1 ライフステージの特性と保健活動／金川克子 編：メヂカルフレンド社, 2015

最新保健学講座 4 公衆衛生看護活動論 2 心身の健康問題と保健活動／金川克子 編：メヂカルフレンド社, 2015

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生学／佐々木明子、井原一成 編集：メヂカルフレンド社, 2016

標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術／中村裕美子：医学書院, 2016

新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学／辺見弘 監修、小井土雄一、山西文子 編：メヂカルフレンド社, 2013

最新 保健学講座 7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編：メヂカルフレンド社, 2015

保健師業務要覧 2018 年版／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編,井伊, 久美子,荒木田, 美香子,松本, 珠実,：日本看護協会出版会, 2018

最新公衆衛生看護学 第 3 版 2019 年版／宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編,：日本看護協会出版会, 2018

他科目との関連

成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 保健統計学, 関連法規, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。

履修上の注意事項

関連の科目を十分復習してのぞむこと。

連絡先（メールアドレス）

佐々木 明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp ３号館 19F

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室 2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 明子:アポイントを取ったうえで随時実施

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話：03-5803-5350

時間割番号	012078				
科目名	地域保健看護学演習			科目ID	MN-492200-S
担当教員	佐々木　明子, 津田　紫緒[SASAKI AKIKO, TSUDA SHIO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Community Health Nursing

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

地域保健看護活動の具体的な手法である地区診断と地域の保健福祉資源，家庭訪問・相談，地区組織活動等の活動方法について学ぶ。地域特性の把握，地域のヘルスニーズのアセスメント，計画の立案，活動の展開方法，評価に必要な知識と技術を習得する。

授業の到達目標

1~9 回目

1）地域の人々の生活，地域保健システム，地域の社会資源など地域特性について理解する。

2）地域診断の目的と展開方法，評価方法を学ぶ。

3）健康相談活動の目的・技法を理解する。

4）地区組織活動の目的・展開方法を理解する。

5）家庭訪問の実施方法を習得する。

10 回目~14 回目

1）特定の地域を設定し、グループで地域診断を展開する。

2）グループで展開した地域診断のプロセス、結果を発表し、討議を通して理解を深める。

15、16 回目

1）児童相談所の活動目的、機能、保健師の役割を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	わが国の地域保健看護活動，展開の指針	佐々木　明子, 津田　紫緒
2	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断の目的，展開方法	佐々木　明子, 津田　紫緒
3	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地区活動の展開方法と評価	新井　久美子
4	4/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部　明江
5	4/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部　明江
6	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断の展開方法と評価演習	佐々木　明子, 津田　紫緒
7	5/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域保健看護学実習オリエンテーション　地域診断演習 1	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
8	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1，看護学実習室 2	地域保健看護学演習	健康相談の目的、方法	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
9	5/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1，看護学実習室 2	地域保健看護学演習	新生児訪問演習	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
10	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 2　まとめ・グループワーク	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
11	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 2　まとめ・グループワーク	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
12	5/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 2　まとめ・グループワーク	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
13	5/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 3　地域診断発表会	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
14	5/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 3　地域診断発表会	佐々木　明子,

						森田　久美子, 津田　紫緒
15	6/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室４	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	佐々木　明子, 津田　紫緒
16	6/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室４	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	佐々木　明子, 津田　紫緒

成績評価の方法

レポート, プレゼンテーション

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料（教科書、参考書を含む）を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いて振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江, 和泉京子 編集,上野, 昌江,和泉, 京子,：中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2018/2019 2018 年 08 月号 (厚生の指標)／厚生統計協会 編：厚生労働統計協会, 2018

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第２巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術／錦織正子他監修：丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第２巻 公衆衛生看護学活動における健康相談／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第３巻 公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2014

教科書６ (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第４巻 公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

教科書７ (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

教科書８【教材用】母子健康手帳 はいはい(C) H31 年度版、株式会社母子保健事業団、2019

教科書９ (DVD) 新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第１巻 地域ケアシステム、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2019

参考書

コミュニティアズパートナー：地域看護学の理論と実際／エリザベス・T. アンダーソン、ジュディス・マクファーレイン 編、金川克子、早川和生 監訳：医学書院, 2007

最新 保健学講座５ 公衆衛生看護管理論／平野かよ子 編：メヂカルフレンド社, 2015

地域看護診断／金川克子、田高悦子 編：東京大学出版会, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編,井伊, 久美子,荒木田, 美香子,松本, 珠実,：日本看護協会出版会, 2018

Community As Partner: Theory And Practice in Nursing(8th Edition)／Elizabeth T. Anderson、Judith McFarlane 著：Wolters Kluwer, 2018

最新保健学講座 別巻１ 健康教育論／宮坂忠夫 編：メヂカルフレンド社, 2013

他科目との関連

地域保健看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また, この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み, 発表や討議を通して, 学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

連絡先（メールアドレス）

佐々木 明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp ３号館 19F

津田 紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室２ 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 明子:アポイントを取ったうえで随時実施

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話：03-5803-5350

時間割番号	012079				
科目名	地域保健看護学実習			科目ID	MN-492300-E
担当教員	佐々木　明子, 津田　紫緒[SASAKI AKIKO, TSUDA SHIO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Community Health Nursing

【科目責任者】:佐々木明子

授業の目的、概要等

【保健所・保健センター】

地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また，地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し，家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また，地域保健における看護管理の機能について理解する。

さらに，地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し，地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。

【学校】

学校教育における保健活動の目的と保健教育，保健管理および養護教諭の活動について学ぶ。

学校保健と地域保健の関係と，看護専門職としての役割について理解を深める。

【産業】

企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について学ぶ。

産業保健と地域保健の連携と，看護専門職としての役割について理解を深める。

授業の到達目標

【保健所・保健センター】

1)地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。

2)保健所・保健センター等の保健師の役割を理解する。

3)地域診断をもとに，地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。

4)個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。

5)健康教育の実施の方法を理解する。

6) 住民のニーズに応じた関係機関，他職種との連携・チームワークの方法を理解する。

7) 地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。

8) 地域保健における看護管理の機能について理解する。

【学校】

1)学校教育における保健活動の体系と活動の実際について，理解を深める。

2)養護教諭の活動について，理解を深める。

3)地域の関係機関との連携について学ぶ。

【産業】

1)企業における保健活動の体系と活動の実際について，理解を深める。

2)産業保健師の活動について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
2	9/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
3	9/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
4	9/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オ	佐々木　明子, 森田　久美子,

					リエンテーション:詳細については実習要項参照	津田　紫緒
5	9/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
6	9/14	08:50-10:20	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
7	9/14	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
8	9/14	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
9	9/14	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
10	9/14	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
11	9/15	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
12	9/15	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
13	9/15	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
14	9/15	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
15	9/15	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
16	9/17	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
17	9/17	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
18	9/17	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
19	9/17	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
20	9/17	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
21	9/18	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
22	9/18	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
23	9/18	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
24	9/18	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒
25	9/18	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木　明子, 森田　久美子, 津田　紫緒

26	9/24	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
27	9/24	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
28	9/24	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
29	9/24	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
30	9/24	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
31	9/25	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
32	9/25	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
33	9/25	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
34	9/25	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
35	9/25	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
36	9/28	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
37	9/28	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
38	9/28	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
39	9/28	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
40	9/28	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
41	9/29	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
42	9/29	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
43	9/29	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
44	9/29	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
45	9/29	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
46	10/1	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
47	10/1	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
48	10/1	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
49	10/1	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
50	10/1	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細に	佐々木 明子, 森田 久美子,

					ついては実習要項参照	津田 紫緒
51	10/2	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
52	10/2	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
53	10/2	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
54	10/2	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
55	10/2	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
56	10/5	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
57	10/5	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
58	10/5	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
59	10/5	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
60	10/5	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
61	10/6	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
62	10/6	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
63	10/6	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
64	10/6	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
65	10/6	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
66	10/8	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
67	10/8	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
68	10/8	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
69	10/8	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
70	10/8	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
71	10/9	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
72	10/9	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
73	10/9	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
74	10/9	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒

75	10/9	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
76	10/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
77	10/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
78	10/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
79	10/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
80	10/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
81	10/15	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
82	10/15	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
83	10/15	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
84	10/15	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
85	10/15	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
86	10/16	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
87	10/16	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
88	10/16	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
89	10/16	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
90	10/16	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
91	10/19	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
92	10/19	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
93	10/19	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
94	10/19	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
95	10/19	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
96	10/20	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
97	10/20	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
98	10/20	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
99	10/20	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細に	佐々木 明子, 森田 久美子,

					ついては実習要項参照	津田 紫緒
100	10/20	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
101	10/22	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
102	10/22	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
103	10/22	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
104	10/22	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
105	10/22	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
106	10/23	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
107	10/23	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
108	10/23	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
109	10/23	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
110	10/23	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
111	10/26	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
112	10/26	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
113	10/26	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
114	10/26	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
115	10/26	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
116	10/27	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
117	10/27	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
118	10/27	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
119	10/27	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
120	10/27	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
121	10/29	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
122	10/29	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
123	10/29	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒

124	10/29	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
125	10/29	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
126	10/30	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
127	10/30	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
128	10/30	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
129	10/30	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
130	10/30	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
131	11/2	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
132	11/2	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
133	11/2	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
134	11/2	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
135	11/2	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
136	11/5	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
137	11/5	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
138	11/5	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
139	11/5	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
140	11/5	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
141	11/6	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
142	11/6	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
143	11/6	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
144	11/6	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
145	11/6	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
146	11/9	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
147	11/9	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
148	11/9	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細に	佐々木 明子, 森田 久美子,

					ついては実習要項参照	津田 紫緒
149	11/9	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
150	11/9	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
151	11/10	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
152	11/10	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
153	11/10	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
154	11/10	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
155	11/10	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
156	11/12	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
157	11/12	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
158	11/12	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
159	11/12	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
160	11/12	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
161	11/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
162	11/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
163	11/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
164	11/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
165	11/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
166	11/16	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
167	11/16	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
168	11/16	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
169	11/16	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
170	11/16	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
171	11/17	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
172	11/17	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒

173	11/17	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
174	11/17	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
175	11/17	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
176	11/19	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
177	11/19	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
178	11/19	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
179	11/19	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
180	11/19	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
181	11/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室１, 保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	実習報告会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
182	11/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室１, 保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	実習報告会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
183	11/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室１, 保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	実習報告会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
184	11/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室１, 保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	実習報告会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒
185	11/20	16:20-17:50	保健衛生学科講義室１, 保健衛生学科講義室２	地域保健看護学実習	実習報告会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒

授業内容

詳細については実習要項参照

成績評価の方法

実習内容、実習態度、実習記録、カンファレンスや実習報告会の取り組み状況から総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

実習開始前に地域保健看護関連の本・資料等を熟読し、知識の整理・確認を行い、実習地でのプレゼンテーションやグループ討議に備えること。

教科書

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション　第１巻　地域ケアシステム／佐々木明子他監修：丸善出版株式会社, 2019

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション　第４巻　学校保健／青柳千春監修：丸善出版株式会社, 2019

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp　　３号館 19F

津田　紫緒:3 号館 19 階地域保健看護学研究室２　03-5803-4573　tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　明子:アポイントを取ったうえで随時実施

津田　紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話：03-5803-5350

時間割番号	012067A				
科目名	緩和ケア看護学Ⅰ			科目ID	MN-431000-L
担当教員	山﨑　智子[YAMAZAKI TOMOKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：palliative　Care　Ⅰ

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所　保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

緩和ケア、終末期ケア（エンドオブライフケア）に関する諸概念・諸理論について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

授業の到達目標

1)終末期にある人々と家族の特徴を理解し、QOL の向上を目指した看護についてその理論と実際を理解する。

2)要介護高齢者、難病患者、およびがん患者の症状コントロールや療養の体制作りについて理解し、看取りおよびその後の家族に対する看護を理解する。

3）緩和ケアやチーム医療について理解し、看護師の役割について考察することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア・終末期ケアの概論	緩和ケア・終末期ケアの概念、理論について	山﨑　智子
2	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア・終末期ケアの概論	病院における緩和ケア	三宅　智, 山﨑　智子
3	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	山﨑　智子, 平原　佐斗司
4	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	山﨑　智子, 平原　佐斗司
5	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	在宅ホスピスの緩和ケア ー訪問看護に実際ー	在宅におけるホスピスケアの実際について	山﨑　智子, 蛭田　みどり
6	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	在宅ホスピスの緩和ケア ー訪問看護に実際ー	在宅におけるホスピスケアの実際について	蛭田　みどり
7	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケアにおける症状マネジメント 緩和ケアにおけるチーム医療	終末期に出現しやすい症状について　チーム医療における多職種の役割について	山﨑　智子, 本松　裕子
8	5/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	家族ケア・遺族ケア ケアする人のケア	緩和ケアにおける家族ケア、遺族となったあとのケアについて	山﨑　智子

授業方法

講義、グループ討議、実践体験

成績評価の方法

出席、およびレポート

　レポート提出は7月6日（月）17:00　webclass に提出とする。

成績評価の基準

3 分の 2 以上の出席、レポートの提出、レポート内容をもって評価する

準備学習等についての具体的な指示

がん、がん看護、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍（手記・概説・実践報告等）を検索し、もっとも関心のある本少なくとも 1 冊は熟読して置くこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が最低限の資格となる。

教科書

緩和・ターミナルケア看護論　第 2 版／鈴木志津枝, 内布敦子 編,鈴木, 志津枝,内布, 敦子, 1955-,：ヌーヴェルヒロカワ, 2011

参考書 絵でみるターミナルケア : 人生の最期を豊かに生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修,浅野美知恵 編集,佐藤, 礼子, 1939-,浅野, 美知恵,:学研メディカル秀潤社, 2015 , 2011 講義の際必要な文献および参考書を提示する。
他科目との関連 母性看護・小児看護・成人看護・老人看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。
履修上の注意事項 レポート作成につながるよう、受講前より緩和ケア、終末期ケア等に関連する文献 1 編以上を検索し、授業の参考にすること。
連絡先（メールアドレス） 山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
オフィスアワー 山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012067B				
科目名	緩和ケア看護学Ⅱ			科目ID	MN-491100-L
担当教員	山﨑　智子[YAMAZAKI TOMOKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：palliative　Care　Ⅱ

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所　保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等　社会においてがんサバイバーを支える支援や家族・遺族の支援の実際について学ぶ

授業の到達目標

1）診断から終末期まで、がんとともに生きる人々の QOL の向上を目指した看護や社会的支援について理解する。

2）がんとともに生きる患者の家族の苦悩を理解し、看取りおよびその後の家族に対する看護を理解する。

3）がんと共に生きる人々と家族の全人的苦痛についての理解を深め、その支援について自らの意見を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	がんと共に生きる人を支える医療・看護	がんサバイバーの体験から学ぶ	山﨑　智子
2	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	がんと共に生きる人を支える医療・看護	生きること死ぬことの準備について学ぶ	山﨑　智子
3	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	スピリチュアルケア	山﨑　智子
4	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	コミュニケーションとは	山﨑　智子
5	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	家族・遺族を支える支援―グリーフケアの実際	家族・遺族の体験から学ぶ～ご遺族のお話し～	山﨑　智子
6	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	家族・遺族を支える支援―グリーフケアの実際	家族・遺族の体験から学ぶ～ご遺族のお話し～	山﨑　智子
7	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	がんと共に生きる人を支える医療・看護	がん哲学外来の実践	山﨑　智子, 樋野　興夫
8	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	がん哲学外来の実践	子どもへのがん教育について	山﨑　智子,樋野　興夫

授業方法　体験者や援助者の話を聴き、共に交流しながら家族・援助者の体験の理解を深める。
ドキュメント事例を用いて、看護のありかたについて討議する。

成績評価の方法 出席、および授業への参加状況、レポート　レポート提出は7月6日（月）17：00　webclass に提出とする。

成績評価の基準　出席・討議 50%、レポート 50%

準備学習等についての具体的な指示

がん、がん看護、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍（手記・概説・実践報告等）を検索し、もっとも関心のある本少なくとも 1 冊は熟読して置くこと。

試験の受験資格　3分の2以上の出席

教科書緩和・ターミナルケア看護論 ： 成人看護学／鈴木志津枝, 内布敦子 編,鈴木, 志津枝,内布, 敦子, 1955-,：ヌーヴェルヒロカワ, 2011

参考書 絵でみるターミナルケア ： 人生の最期を生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修,浅野美知恵 編,：学習研究社, 2006
講義の際必要な文献および参考書を提示する。

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・老人看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

レポート作成につながるよう、受講前より緩和ケア、終末期ケア等に関連する文献 1 編以上を検索し、授業の参考にすること。

連絡先（メールアドレス）　山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

オフィスアワー　山﨑　智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3 号館 18 階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012068				
科目名	看護の統合と実践Ⅱ			科目ID	MN-431200-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, HIROYAMA NATSUKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Integration of acquaintances for nursing practice Ⅱ

【科目責任者】佐々木吉子

主な講義場所

3 号館 7 階 保健衛生学講義室 4

授業の目的、概要等

本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について、3 年次までの学修内容に看護倫理やマネジメントの視点を含めて熟考・統合し、看護観を発展させ、短期的、長期的な自身のキャリアプランを明確にし、さらに卒後数年間のアクションプランを検討することを目的とする。そのため、看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済の専門家から講義を受けて知識を深めるとともに、組織において多職種と連携しながら看護が果たす役割を探究し、学生自らが、自身の看護職としてのキャリアプラン、アクションプランについて考察する。

授業の到達目標

1)看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済について知識を深め、これらの視点を含めて看護観を発展させ、社会において看護が果たす役割について、自身の考えを表現することができる。

2)医療現場における多職種連携において看護職が担う役割やリーダーシップのあり方について理解することができる。

3)現時点での自身のキャリアプランが明確になり、卒後数年間についてのアクションプランを具体的に述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	オリエンテーション キャリアマネジメント	オリエンテーション／看護職のキャリアマネジメント	佐々木 吉子, 廣山 奈津子	
2	4/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	多職種連携とコミュニケーション	チーム医療とコミュニケーションスキル	廣山 奈津子	
3	5/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	災害看護	災害時における看護職の役割	佐々木 吉子	
4	5/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	看護組織とマネジメント①	組織文化と職場環境	尾立 篤子	
5	5/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	看護に関する政策①	財政と医療:経済学の視点	佐藤 主光	
6	5/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	看護組織とマネジメント②	看護組織におけるマネジメントとマネジャー育成	緒方 泰子	
7	5/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	看護倫理	看護倫理	麻原 きよみ	
8	5/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	研究と看護実践	看護研究と看護実践	小笹 由香	
9	6/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	医療安全	医療安全管理の実際	小野 和代	
10	6/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護に関する政策②	看護政策の決定過程	柏木 聖代	
11	6/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	病院のマネジメント①	病院のクオリティ・マネジメント	森脇 睦子	
12	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	病院のマネジメント②	ミドルマネジメント(看護師長の役割)の実際		
13	6/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	病院のマネジメント③	1)外来看護の実際と外来看護師長の役割 ／ 2)歯科における看護の役割	石川 結花子, 横内 清子	

14	6/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践実習オリエンテーション			
15	6/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護組織とマネジメント③	看護の質のマネジメント	木澤 晃代	
16	6/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	病院のマネジメント④	トップマネジメント(看護部長の役割)の実際		看護部長講義を受け、ディスカッションを行う

授業方法

講義、グループディスカッション

成績評価の方法

講義前の事前課題(20%)、講義後のレスポンスシートの内容(20%)、授業への参加姿勢(20%)およびレポート(40%)にて評価する。
評価基準は初回講義時に提示する。

■ 提出物は原則的に WebClass のみで受け付ける。締め切りは以下とする。

事前課題:前回講義日翌日の 13:00

レスポンスシート:講義日翌日の 13:00

レポート:2020 年 6 月 29 日(月)17:00

■ レポート課題は以下を予定する。適切なタイトルをつけ、適切に文献を引用し、レポートとしての体裁を整えること。

講義で学習した内容の中で自身が特に関心を持ったものを 1 つ選び、講義で触れられた以上の内容を自身で調べ分かりやすくまとめること。さらに、その学習した内容を自身が将来臨床現場に出たときにどのように活用しうるか論じること。(1000～1200 字)

成績評価の基準

初回講義時にルーブリックにて提示する。

準備学習等についての具体的な指示

前週の講義時に事前学習の内容について指示を行うため、確認すること。
看護・医療に関する制度・政策に関するニュース等の情報収集を積極的に行うこと。授業の進行と合わせて、3 年次までに接した臨床の看護職がどのような場でどのようにリーダーシップを発揮して、マネジメントを行っていたかを振り返り、本講義の学習内容をその振り返りの内容と結び付けて理解すること。

参考書

看護管理学 : 自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル／手島恵, 藤本幸三 編集,手島, 恵, 1958-,藤本, 幸三,:南江堂, 2018
はじめての社会保障 = Guide to Social Security : 福祉を学ぶ人へ／椋野美智子, 田中耕太郎 著,椋野, 美智子, 1956-,田中, 耕太郎, 1950-,:有斐閣, 2018

他科目との関連

既習の看護の専門科目および看護の統合と実践実習・保健医療福祉制度論との関連が深い。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。 講義資料は WebClass「 N4 看護の統合と実践Ⅱ 2020」にて講義日前日の正午までには公開するので、講義までに各自で準備しておくこと。 一部の単元では双方向システムを使用するため、タブレット端末や PC を所持している学生は持参すること。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp
今津 陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp
廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 吉子:平日 AM.10:00-PM.5:00 3 号館 19 階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室
今津 陽子:平日 AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室
廣山 奈津子:平日 AM10:00 -PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	012070				
科目名	看護の統合と実践実習			科目ID	MN-471400-E
担当教員	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, HIROYAMA NATSUKO]				
開講時期	2020 年度前期	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice

【科目責任者】佐々木　吉子

授業の目的、概要等

本科目では、病院機能全体において看護職が果たす役割を総合的な体験・実践を通して理解することを目的とする。そのため、病棟の看護管理者の役割や、外来や専門診療部門における看護職の役割について学ぶとともに、多職種連携や医療安全のために看護職が果たす役割について、見学、シャドウイング、ミーティングへの参加などを通して理解する。また、既習の知識や技術を基盤として、病棟における複数の患者の受け持ちや、クリティカルケア部門における重症患者の受け入れやケアを学び、優先性を考慮した多重課題への対応や、チームにおける協働を経験する。さらに、災害や、グローバル化に伴って生じる諸問題に注目し、看護職として果たすべき役割について理解するとともに、シミュレーションを通して、必要な対応について学ぶ。以上を通して、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を見出し、総合的な看護実践能力を高める。

授業の到達目標

1.病棟の看護管理者の役割や、外来や専門診療部門における看護職の役割について理解し、説明することができる。

2.病院組織における、多職種連携や医療安全のために看護職が果たす役割について理解し、説明することができる。

3.既習の知識や技術を基盤として、病棟における複数の患者の受け持ちや、クリティカルケア部門での患者受け入れやケアについて見学、または一部することを通して、優先性を考慮した多重課題への対応やチームにおける協働を経験し、これらの要点について説明することができる。

4.災害や、グローバル化に伴って生じる諸問題について、病院での備えや実践内容を理解し、有事に看護職として果たすべき役割について検討し、シミュレーションを通して実践力を養う。

5.まとめの会において各自の学びを共有し、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
2	6/30	08:50-10:20		チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
3	7/1	08:00-17:00		チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
4	7/2	08:00-17:00	保健衛生学科講義室2, 保健衛生学科講義室1, 症例検討室	医療安全実習	チームビルディング演習、KYT、プレゼンテーション	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
5	7/3	08:00-17:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
6	7/6	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子
7	7/7	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木　吉子, 今津　陽子, 廣山　奈津子

8	7/8	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
9	7/9	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
10	7/10	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
11	7/13	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
12	7/14	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
13	7/15	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
14	7/16	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 症例検討室	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・災害看護実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
15	7/17	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 症例検討室	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習・災害看護実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
16	7/20	08:00-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・外来実習・中央診療施設実習)課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子
17	7/21	08:00-17:00	症例検討室	実習発表会	グループワーク、プレゼンテーション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 廣山 奈津子

授業内容

1. チーム医療入門

   他学部・他学科学生と合同で事例を用いた演習を中心とした学習を行なう。

2. 医療安全実習

   附属病院の医療安全担当看護師による実践的な講義・演習と病棟における見学実習を行なう。

3. 看護管理実習

   1) 病棟の特徴と看護師長と日勤帯リーダーのコミュニケーションについてオリエンテーションを受ける。

   2) 日勤帯のリーダーのシャドウイングを行なう。

4. 多重課題実習

   複数の患者を受け持つスタッフナースのシャドウイングを行なう。

5. 夜勤実習

   1) 夜勤帯の看護師のシャドウイングを行なう。

2) 1)のシャドウイングから交代制勤務に従事する上での体調の管理方法を実践・考察する。

6. 外来実習

外来での看護師のシャドウイングを行なう。

7. 中央診療施設実習

看護職が配置されている中央診療施設（放射線部・光学医療診療部・血液浄化療法部）での看護師のシャドウイングを行なう。

8. クリティカルケア実習（ER センター、学内シミュレーション）

クリティカルな状況におけるシミュレーション実習と ER における見学実習を行う。

9. 災害看護実習

災害発生時の看護に関する実践的な講義・演習（シミュレーション教育を含む）と医学部附属病院における見学実習を行なう。

10.歯学部実習

歯学部附属病院の病棟、口腔外科外来、特別外来、麻酔科にてスタッフナースのシャドウイングを行う。

11.実習発表会

看護の統合と実践実習における学習内容を学生・教員・実習指導者・看護管理者に対して発表する。実習中に設けられている課題学習日を発表準備に活用する。

成績評価の方法

本実習は複数の内容によって構成されるため、以下のように内容を分割した上で成績を評価する。

①チーム医療入門・医療安全実習病棟マネジメント実習・外来実習・中央診療施設実習・クリティカルケア実習・災害看護実習（90%）

②実習発表会（10%）

①については、実習記録（30%）、最終レポート（30%）、参加状況・態度（30%）の比率で評価する。

②についてはグループワークへの参加状況・態度（5%）、プレゼンテーションへの参加状況・態度（5%）で評価する。

成績評価の基準

看護の統合と実践実習全体の方針として、履修生には、自立・自律した最終学年の学生としてふさわしい態度で実習に臨み、適切な教員への連絡・報告および体調管理を行なうことを求める。上記が満たされない場合は厳しく評価する方針である。

準備学習等についての具体的な指示

看護の統合と実践実習の詳細は 6 月 15 日 5 限の看護の統合と実践実習オリエンテーション時に、実習要項を用いて説明する。

オリエンテーションへの出席を実習参加の要件とする。

他科目との関連

本科目は統合科目として位置づけられており、既習のすべての科目と関連がある。その中でも、看護の統合と実践Ⅱとの関連が深い。

備考

＊内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

＊詳細については実習要項参照のこと。

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

廣山　奈津子:平日　AM10:00 -PM5:00 3 号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	012091				
科目名	総合実習Ⅰ			科目ID	MN-492800-E
担当教員	近藤　暁子[KONDO AKIKO]				
開講時期	2020年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Comprehensive Practicum Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　東京医科歯科大学医学部附属病院

授業の目的、概要等

4 年間で学習した知識と技術を統合し、複雑な社会的背景を持ち、様々な病状・病期にある患者、あるいは異文化を持つ複数の患者に対し、主体的に看護実践できる力を高める。また、看護の統合と実践実習で学習した多職種との連携、医療安全、管理的、国際的な視点を踏まえ、チーム医療の中での看護師の役割を実践の中で学ぶ。

授業の到達目標

1.　患者を複数受け持ち、患者の健康障害、その治療や看護を理解できる。
2.　発達段階、心理的、社会的、文化的背景を踏まえ、患者を全人的に理解できる。
3.　看護過程に沿って情報を系統的に収集、整理し、個別性に応じたケアの方向性を明らかにし、患者の安全・安楽を考慮し主体的に看護実践を行える。
4.　患者・家族を中心とした保健医療福祉チームにおける多職種の連携を理解し、看護計画に組み込むことができる。
5.　患者の権利擁護、意思決定を支える重要性を理解し、倫理的な行動がとれる。
6.　複数の患者に対し優先順位を考慮しつつ同時に対応できる。
7.　ペアの学生と情報を共有して協力し、チームとして看護援助を展開することができる。
8.　自身の看護実践を振り返り、その評価を行うことができる。

授業方法

詳細については実習要項参照。

授業内容

各病棟において、学生2名で患者2名を受け持つ複数受け持ち実習を行い、優先順位を考慮しながら、基本的に既にある看護計画に沿って実践する。実践の中で新たな計画や計画の変更などがあれば提案する。比較的複雑な背景のある患者を受け持つ。

多職種と連携したチームでの医療を学ぶため、地域連携センター、緩和ケア病棟、専門外来（コンチネンスケア）または多職種連携チーム（NST、リエゾン、WOC、排尿ケアチーム）に同行し、シャドウイングを行う。

国際実習ではペーパーペイシェントを使用した事例検討や学生同士のロールプレイにより、外国人患者への対応方法を学ぶ。緩和ケア実習では、事例検討、学生同士のロールプレイにより全人的苦痛を持つ人への向き合い方を学ぶ。

成績評価の方法

1）実践内容　多職種連携に関する事前学習　10%
　　国際実習、緩和ケア実習　10%
　　専門部門でのシャドウイング実習　10%
　　病棟実習　60%
2）最終レポート　10%

準備学習等についての具体的な指示

実習のオリエンテーションを7月20日（水）16時10分～17時10分、講義室2にて実施する。必ず出席すること。

試験の受験資格

1）単位認定は、原則として実習時間の4分の3以上の出席を最低限の条件とする。
（上記条件においては、対象となる実習時間は課題学習日を除いた8日間とし、6日以上の出席が必要である）
2）遅刻および早退は、時間の長さにかかわらず原則として2回で1日の欠席とする。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3号館18階）

時間割番号	012092				
科目名	総合実習Ⅱ			科目ID	MN-492900-E
担当教員	緒方　泰子[OGATA YASUKO]				
開講時期	2020 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Comprehensive　PracticumⅡ

【科目責任者】看護学専攻主任　緒方　泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）および講義室2（3号館8階）、看護実習室1および2（3号館17階）、医学部附属病院および学外施設等。

詳細については、別途実習要項が提示される。

授業の目的、概要等

目的：配置された各専門分野において、既存の知識・技術を統合し、専門分野における看護実践能力を高める力を培う。

概要：各専門分野で、卒業論文Ⅱの取り組みと連動させるなどして、実践的・発展的な実習を行う。

授業の到達目標

配属された各専門分野において、以下のうち一つに該当する実習を行うことで、各自の目標を達成することができる。

1．実践的な実習：卒業論文Ⅱの取り組みと関連する場に赴き、これまでの自己の看護実践上の強みや課題を踏まえ、以下の①～⑤の能力を高めて統合する臨地実習を行う。

1）全人的に対象をとらえる基本的能力を修得する。

2）ヒューマンケアを提供するために必要な基本的能力を修得する。

3）根拠に基づく看護を展開できるために必要な基本的能力を修得する。

4）健康課題に対応した看護を展開できる基本的能力を修得する。

5）環境とチームとの関係の中で看護を実践する能力を修得する。

2．発展的な実習：各専門分野に特有の場に赴き、看護専門職や、対象者ならびに対象者に関連する人々との相互作用を通して、以下の①～④の能力や態度を高めて発展させる臨地実習を行う。

1）生涯専門職として研鑽を継続していくための基本的態度を錬成する。

2）学生自身がさらに深めていきたいテーマを見出し、自立的に取り組んでいくための基本的能力を修得する。

3）看護専門職の専門性を発展させていくために基盤となる視点をもち、実践力を研鑽していく姿勢を涵養する。

4）実践と研究との関係を見出し、研究的な視点をもって実践を俯瞰する基本的能力を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	備考
1-5	4/8	08:50-17:50		総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	卒業論文Ⅱの配置分野で実習を行う。各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。
6-10	5/13	08:50-17:50		総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	卒業論文Ⅱの配置分野で実習を行う。各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。
11-15	6/3	08:50-17:50		総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	卒業論文Ⅱの配置分野で実習を行う。各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。
16-20	10/7	08:50-17:50		総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	卒業論文Ⅱの配置分野で実習を行う。各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。
21-25	11/4	08:50-17:50		総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	卒業論文Ⅱの配置分野で実習を行う。各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。

授業方法

実習期間は、2019 年4月～11 月の期間に、各分野が設定した任意の 5 日間、指定された場所で臨地実習を行う。

授業内容

担当教員の指示による。

各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。

成績評価の方法

期間中3／4以上の出席がない場合には、単位認定できない。

成績評価の基準 実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポートなどにより総合的に評価する。
準備学習等についての具体的な指示 これまでの講義および実習内容を復習の上臨むこと。また、実習施設は医療の場であるため、看護学を学ぶ学生としての節度ある態度で実習に臨むこと。
教科書 各分野の指示に従う。
参考書 各分野の指示に従う。
他科目との関連 全ての科目で学んだことを応用するので，全ての科目と関連する。
履修上の注意事項 ・各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。　・成績は，各分野において成績評価基準に従って評価し、専攻主任が認定する。
備考 1）実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しない。 2）SNS を通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。
連絡先（メールアドレス） 緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
オフィスアワー 緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

学生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

すべての告示，通知，連絡（試験関係，休講，講義室変更，奨学金関係，健康診断，授業料の納付，呼び出し等）は，Web Class（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメーリングリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは，緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので，各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は，本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので，紛失・破損等のないよう大切に取り扱って下さい。

また，定期試験受験時，通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう，常に携帯するようにして下さい。

（1） 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は，速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て，再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

（2） 返却

卒業，退学，除籍，又は有効期間が経過した場合は，速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は，保健衛生教務係にて発行するものと，自動発行機にて発行するものがあります。

（1） **保健衛生教務係（受付時間：8：30～17：15）**

次に掲げるものは，保健衛生教務係で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。
（交付は，原則として，提出のあった日の明後日となります。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は，住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し，直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は，実習用定期の発行が可能な為，必要が生じた者は，保健衛生教務係に申し出てください。

なお，鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。（例：4月から必要な場合は，2月中に手続きをとること。）

※その他：上記以外の証明書等については，個々に保健衛生教務係に相談して下さい。

（2） **自動発行機（利用時間：月～金　8：30～21：00）**
在学証明書・卒業見込み証明書（第4学年在籍者のみ）は，学生談話室（5号館4階）に設置されている[自動発行機]にて発行します。
（問い合わせ先）学務企画課企画調査係（03-5803-5074）

5　学生旅客運賃割引証（学割証）

（1） 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合，乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）を受けることができるものです。
この制度は，修学上の経済的負担を軽減し，学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので，計画的に使用すること。（年間使用限度：10枚／人）

（2） 次に掲げる行為があったときは，普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく，本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので，乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。
①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
②名義人が乗車券を購入し，これを他人に使用させたとき
③使用有効期間を経過したものを使用したとき

（3） 学割証は，学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。
（利用時間：8：30～21：00）
（問い合わせ先）学生支援事務室　学生支援総括係（03-5803-5077）

6　住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は，速やかに保健衛生教務係に申し出て所定の手続きをとって下さい。
この手続きを怠った場合，大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7　休学，復学，退学，欠席

（1） 休学
病気その他の事由により，引き続き3ヶ月以上休学する場合は，「休学願」を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気の場合は，医師の診断書を添付して下さい。）
なお，休学にあたっては，事前に「**学年担当教員**」又は「**グループ担当教員**」と面談し，**休学事由**及び**休学によって生じる修学上の諸問題**等について十分相談して下さい。
また，休学を許可される期間は，**在学期間内通算して2年を超えることができません**。（特別の事情があると学長が認めたときは，更に1年以内の休学を許可することがありますので，事前に保健衛生教務係に相談してください。）

（2） 復学
休学している学生が，休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は，復学願（保証人連著）を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気を事由に休学した場合は，医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。）

（3） 退学
病気その他の事由により，学業を継続することが困難となり，退学しようとする場合は，退学願（保証人連著）を保健衛生教務係に提出し，学長の許可を受けて下さい。
なお，退学するにあたっては，事前に学年担当教員，グループ担当教員と面談し，退学事由等について十分相談して下さい。

（4） 授業の欠席
病気その他特別な事情により授業を欠席する（した）場合は，欠席届を保健衛生教務係に提出して下さい。（病気の場合は，「診断書」を添付して下さい。）

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は，同じロッカーを使用)を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているので，貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また，各人の責による備品等の破損については，各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事，課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。
(詳細は「学生生活の手引」参照)
なお，**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は，職員健康管理室安全衛生係(5号館：03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後，保健衛生教務係に事故報告書を提出して下さい。
ただし，他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。
・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ，サークル等宛の郵便物等は，学生支援課の窓口で保管していますので，責任者は適宜確認して下さい。なお，個人宛の郵便物等は，特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。
(2) 事務上の窓口
① 教務事務・・・・・・医学部保健衛生教務係(3号館6階：03-5803-5119)
② 授業料の納入・・・・・・・財務部財務企画課資金管理係(1号館西3階：03-5803-5042)
③ 奨学金・授業料免除・・・・学生支援事務室　学生支援総括係
(5号館3階：03-5803-5077)
④ 針刺し事故・・・・・・・・・・・職員健康管理室安全衛生係(5号館3階：03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

〇台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。

〇首都圏における交通機関(JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。

URL

http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html

《参　考》

諸　様　式

1　証明書交付願（自動発行機にて発行しているものを除く。）
証明書は，原則として請求日の明後日以降発行する。（英文によるものを除く。）

2　住所・本籍地変更届
変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本等）

3　改姓届（戸籍抄本添付）

4　保証人変更届

5　学生証（身分証明証）紛失、盗難、破損届　兼　再発行申請書
学生証の再発行を申請する時に、学務企画課企画調査係に提出

6　授業欠席届（病気の場合は「診断書」を添付）
病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出

7　再試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
定期試験不合格者は，原則再試験実施日の7日前までに教務係に提出

8　再試験欠席届
病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出

9　追試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
病気，他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は，原則当該定期試験終了後5日以内に教務係に提出

10 休学願
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

11 休学期間延長願
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

12 復学願
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

13 退学願
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

証　明　書　交　付　願

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年
□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（□看護学専攻　□検査技術学専攻）
□　医学部医学科専攻生（　　講座）
□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号　□□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（Name）
生年月日（西暦）　　年　　月　　日生
（Date of Birth）

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。
（If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.）

記

証明書の種類	枚　数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1．成績証明書 厳封（□希望　□不要）			（請求理由）
2．卒業見込証明書 （M6・N4・MT4 のみ発行）			
3．在学証明書 （英文のみ）			（提出先）
4．在学期間証明 （専攻生のみ）			
5．終了証明書 （専攻生のみ）			
6．			
7．			（備考）

注）1．「※証明書番号」欄は記入しないこと。
2．**英文証明書を依頼する場合は，氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。**
3．受取の際本人確認のために学生証（身分証明書）を提示していただきます。
代理で受け取る場合は必ず委任状を持参してください。
4．成績証明書の厳封を希望する場合はその旨お申し出ください。

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専				

住所・本籍地変更届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変　更　者	□本　人 □保　証　人　（保証人氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　続柄：＿＿＿＿＿）
□ 住　　所	〒□□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□ 本 籍 地	

注）変更該当個所の□をチェックしてください。

注）提出の際は、変更内容の分かる書類（運転免許証・住民票・戸籍謄本・外国人登録証等）を提示してください。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学籍簿	名簿

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専				

改　姓　届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(ﾌﾘｶﾞﾅ) 旧　　姓		(ﾌﾘｶﾞﾅ) 新　　姓	
（改姓理由）			

注）戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学籍簿	台帳	名簿

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係　　長	係　　員
専	専				

保　証　人　変　更　届

（西暦）　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

このたび，下記のとおり保証人（正･副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(ﾌﾘｶﾞﾅ) 氏　　名	印 年　　月　　日生	学生との関係	
		職　　業	
		本　籍　地	
住　　所	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		

注）氏名欄に押印してください。

債権変更	学籍簿

年　　月　　日

保証人（住所）変更届出

経理責任者
国立大学法人　東京医科歯科大学財務施設部長　殿

平成＿＿＿年度入学　第＿＿＿学年
学部名　　学科名
研究科名　　専攻名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
附属学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
学籍番号　第＿＿＿＿＿＿＿＿号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　㊞

保証人氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変更前	

変更後	〒　　－ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL＿＿＿（　　）＿＿＿

□連帯保証人を変更しましたのでお届けします。

変更前	

変更後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ 氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　㊞ （学生との関係：　　） 住　所　〒　　－ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL＿＿＿（　　）＿＿＿

（該当する項目の□に、∨してください。）

別紙様式

事務部長	課　　長	副 課 長	専門職員	係　　長	係　　員
専	専				

学生証（身分証明書）紛失、盗難、破損届

兼　再発行申請書

年　　月　　日

国立大学法人東京医科歯科大学長　殿

年度入学　　第　　学年

☐ 学部（　　学部　　学科　　専攻）
☐ 修士課程　　☐ 博士課程
☐ 博士（前期）課程　☐ 博士（後期）課程
（　　分野）
☐ その他（　　）

学籍番号 第 ☐☐☐☐☐☐☐☐ 号

氏　　名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり、学生証（身分証明書）を（紛失しました・盗難に遭いました・破損しました）ので、届け出るとともに、再発行を申請（します。しません。）
なお、学生証（身分証明書）が見つかったときは、直ちに申し出ます。

記

理由・紛失状況等

・紛失(盗難)日時：　　年　　月　　日　　時　　分頃

・警察への届出日等：　　年　　月　　日（　　警察署）

再発行手数料
☐本人負担
☐免除

財務企画課確認欄

※　必要事項を記入のうえ、財務企画課収入管理係で再発行にかかる手数料 1,500 円を支払うこと。
なお、既納の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専	専	専	専	専		

授　業　欠　席　届

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり，授業を（欠席します／欠席しました）のでお届けいたします。

記

１．欠席期間　　自（西暦）　　年　　月　　日

　　至（西暦）　　年　　月　　日

２．欠席理由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専	専	専	専	専		

再　試　験　申　請　書

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記科目について，再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教員名	申請科目名	担当教員名
1．		6．	
2．		7．	
3．		8．	
4．		9．	
5．		10．	

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専	専	専				

再　試　験　欠　席　届

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（　　学専攻）

学籍番号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

１．試験科目名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教員名：　　）

（西暦）　　年　　月　　日施行

２．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係　長	係　員
専	専	専	専	専	専		

追　試　験　申　請　書

（西暦）　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年

（□看護学専攻　□検査技術学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり定期試験を欠席しましたので，追試験を施行してくださいますようお願いいたします。

記

１．試験科目名　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教員名：　　）

（西暦）　　年　　月　　日施行

２．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

休　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学 籍 番 号

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本 人 氏 名

参照用

氏 名

下記のとおり休学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学理由

２．休学期間　　自　　年　　月　　日

至　　年　　月　　日　　（　　ヶ月）

３．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□ － □□□□　　TEL.
保 証 人	〒 □□□ － □□□□　　TEL.

注)１．休学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。
２．休学理由が，病気を理由とする場合は，医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休 学 期 間 延 長 願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり休学期間を延長したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

参照用

1．休学期間延長理由

2．休学延長期間

年　　月　　日～　　年　　月　　日までのところ

年　　月　　日～　　年　　月　　日まで延長（　　ヶ月）

3．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□－□□□□　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
保 証 人	〒 □□□－□□□□　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿

注）1．休学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2．休学理由が，病気を理由とする場合は,医師の診断書を添付してください。

、経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

参照用

医学部　　科　第　　学年

（　　学専攻）

学 籍 番 号

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本 人 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり休学しておりましたが,　　年　　月　　日付けで復学したいので,
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学理由

２．休学許可期間　　自　　年　　月　　日
　　至　　年　　月　　日

注)病気を理由として休学した場合は,医師の診断書を添付してください。

退　　学　　願

年　　月　　日

東京医科歯科大学長　　殿

教授認印

参照用

科　第　　学年

（　　学専攻）

学籍番号

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

本人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(ﾌﾘｶﾞﾅ)

保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり退学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．退学理由

２．退 学 日　　年　　月　　日付

注）退学理由は，裏面にできるだけ具体的に記入してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

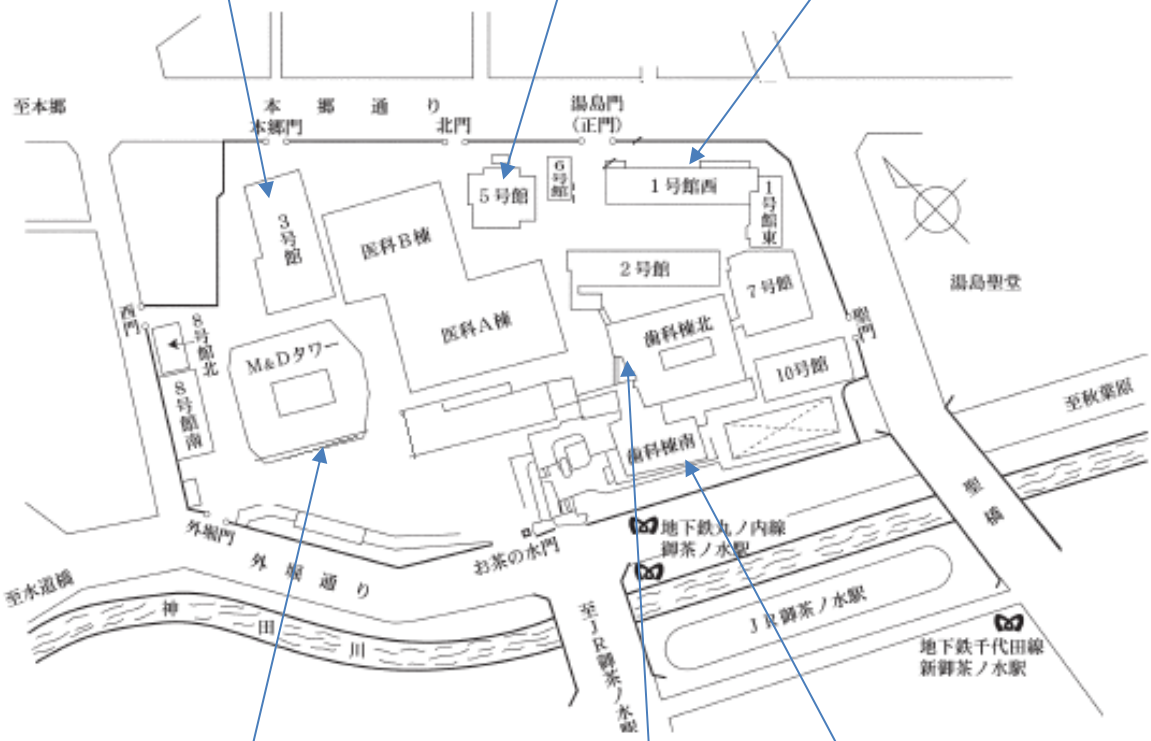
講義室一覧

講義室等一覧

<u>３号館</u>
保健衛生学講義室１（１８階）
保健衛生学講義室２・３（８階）
保健衛生学講義室４・５（７階）
医学部事務部保健衛生教務係（６階）

<u>１号館西</u>
学務企画課（１階）
演習室１・２（６階）
ＯＨ第３講義室（７階）

<u>５号館</u>
保健管理センター(２階)
第２ゼミナール室(２階)
大学生協(地下１階)



<u>M&D タワー</u>
共用講義室１・２（２階）
情報検索室（４階）
共用セミナー室２（２３階）
共用セミナー室４（２２階）
共用セミナー室６（１５階）
共用セミナー室１０（８階）
共用セミナー室１２（６階）

<u>歯科棟北</u>
防災センター横
歯学部附属病院時間外入口

<u>歯科棟南</u>
歯学部特別講堂（４階）

参　考

東京医科歯科大学学則

（平成１６年４月１日
規程第４号）

第１章　総則

第１条　本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。
２　各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第２条　本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成１６年規程第１号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。
医　学　部　　医学科
　　保健衛生学科
歯　学　部　　歯学科
　　口腔保健学科
２　医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。
３　歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。
４　本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第３条　医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は６年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は４年とする。

第４条　学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学　部	学科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
医 学 部		人	人	人
	医　学　科	８５	５（２年次編入）	５３５
	保健衛生学科			
	看護学専攻	５５		２２０
	検査技術学専攻	３５		１４０
歯 学 部				
	歯　学　科	５３		３１８
	口腔保健学科			
	口腔保健衛生学専攻	２２	６（３年次編入）	１００
	口腔保健工学専攻	１０	５（２年次編入）	５５

第２章　授業科目

第５条　削除

第６条　本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

２　全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
３　全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
４　専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第３章　学年、学期及び休業日

第７条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

第８条　学年を分けて、次の学期とする。
前期　４月１日から９月３０日まで
後期　１０月１日から翌年３月３１日まで

第９条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。
⑴ 日曜日及び土曜日
⑵ 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
⑶ 本学創立記念日　　１０月１２日
⑷ 春季休業
⑸ 夏季休業
⑹ 冬季休業
２　前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
３　第１項第４号から第６号の期間は、各学部において別に定める。
４　第１項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第４章　入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第１０条　入学の時期は、学年の始期とする。

第１１条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
⑴ 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
⑵ 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
⑶ 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
⑷ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑸ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑹ 文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）
⑺ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
⑻ 学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
⑼ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

第１２条　大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第１３条　大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第１４条　医学部医学科の２年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴ 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）

⑵ 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者

⑶ 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者（学校教育における１５年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第１５条　削除

第１６条　医学部保健衛生学科の２年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部に２年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第１７条　削除

第１８条　歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の３年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴ 歯科衛生士を養成する短期大学を卒業した者

⑵ 歯科衛生士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１８条の２　歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の２年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴ 高等専門学校又は短期大学を卒業した者

⑵ 大学を卒業した者

⑶ 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１９条　本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

２　前項に規定するもののほか、第２５条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

３　前２項に規定するもののほか、第３１条の２の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可す

るものとする。

第２０条　編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第３条に規定する年限を在学したものとみなす。

第２１条　本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第２２条　入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。
２　前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第２３条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第４５条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあっては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。
２　学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。
３　学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。
４　前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第２４条　学生は、病気、留学その他の事由により引き続き３月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２５条　本学医学部医学科又は歯学部歯学科に４年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第２６条　前２条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２７条　休学期間は、通算して２年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することがある。
２　大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第２４条の規定による休学期間及び第２５条の規定による休学期間は、第１項の規定にかかわらず、通算して３年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することができる。
３　休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第２８条　学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教

授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第２９条　学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願することはできない。

第３０条　学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。
２　前項の許可を与えたときは、退学とする。

第３０条の２　本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。
２　前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。
３　前項の許可を得て留学する期間は、原則１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに１年を限度として留学期間の延長を認めることがある。
４　第３項の許可を受けて留学した期間は、第３条に規定する修業年限及び第３２条に規定する在学年限に算入する。ただし、第２４条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。
５　留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。
６　留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。
（1）外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。
（2）留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。
（3）その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。
７　留学に関する必要な事項は、別に定める。

第３１条　学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第３１条の２　四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第３２条　医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は１０年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は８年を超えて在学することができない。
２　編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第３３条　学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。

(1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
(2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者
(3) 在学期間が第３２条に定める在学年限を超える場合に退学の意思を示さないとき。
(4) 第２４条、第２５条又は第２８条により休学し、第２７条に定める期間内に復学又は退学の意思を示さないとき。
(5) 死亡又は行方不明となったとき。
(6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
(9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。

２　前項第６号は、第４５条第３項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第５章　教育課程、履修方法及び単位等

第３４条　本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

２　教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第３４条の２　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

２　前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

３　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

４　第２項の授業を、外国において履修させることが出来る。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

５　卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前２項の規定による方法で履修し修得した単位数は、６０単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が１２４単位を超える学科にあっては、その超える単位数を６０単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第３４条の３　本学において必要と認めるときは、学校教育法第１０５条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。

２　前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第３４条の４　学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。

２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評

価して試験によらずに単位を与えることができる。

第３５条　前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第３６条　１単位の授業科目を、４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、１単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

⑴ 講義及び演習については、１５時間から３０時間の範囲

⑵ 実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間の範囲

第３６条の２　一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第３６条の３　各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第３６条の４　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第３６条の５　各授業科目の評価は、A＋、A、B、C、D、Ｆに分け、A＋、A、B、Cを合格とし、D、Ｆを不合格とする。

２　学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

３　学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続きにより異議を申し立てることができる。

第３６条の６　本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

２　前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第３７条　本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和３１年文部省令第２８号）第３１条第１項及び第２項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計３０単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第３条に定める修業年限を短縮することはできない。

２　前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第３８条　本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものと

みなすことができる。
２　前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第１項及び同条第４項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて３０単位を限度とする。
３　第１項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。
４　第１項の規定は、第３０条の２により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第６章　卒業及び学位

第３９条　卒業の認定は、第３条に定める年限を在学し、かつ、第６条第３項及び第４項に定める授業科目を、医学部医学科においては２０９単位以上、歯学部歯学科においては２２０単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては１２４単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては１３４単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては１２８単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては１２６単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第４０条　前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学　部	学科・専攻	学　　位
医　学　部	医学科	学士（医　　学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看　護　学）
	検査技術学専攻	学士（保　健　学）
歯　学　部	歯学科	学士（歯　　学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第７章　検定料、入学料及び授業料

第４１条　授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第４２条　入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第４３条　授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の２分の１ずつを次の２期に分けて納付しなければならない。
前期　　５月３１日まで
後期　　１１月３０日まで
２　前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

３　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第１項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
４　第１項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第４４条　既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。
２　第４２条の規定に基づき徴収した検定料について、第１段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第２段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
３　前条第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の３月３１日までに入学を辞退した場合には、第１項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
４　前条第２項及び第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第１項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
５　学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第１項の規定にかかわらず、返還することができる。

第４５条　本学に入学前１年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。
２　本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が　困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
３　入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に徴収猶予の申請をすることができる。
４　前３項の取扱いについては、別に定める。

第４６条　停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第４７条　行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第４８条　死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第４９条　授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。
２　前項の取扱については別に定める。
３　各学期の中途で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末まで月割計算により復学の際徴収する。

第５０条　経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。
２　前項の取扱いについては別に定める。

第５１条　削除

第５２条　削除

第８章　大学院

第５３条　本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。
２　大学院の学則は、別に定める。

第９章　外国人留学生

第５４条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生については、別に定める。

第１０章　科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第５５条　本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
２　前項により入学した者には、第３４条の規定を準用し、単位を与える。
３　その他科目等履修生については、別に定める。

第５６条　特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生については、別に定める。

第５７条　他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。
２　特別聴講学生については、別に定める。

第５７条の２　本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。
２　短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第１１章　懲　戒

第５８条　学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。
２　懲戒は、退学、停学、訓告とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
(2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第１２章　寄　　宿　　舎

第５９条　本学に寄宿舎を置く。
２　寄宿舎に関する規定は、別に定める。

附　則
１　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。
２　第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成１６年度から平成１８年度までの３年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
３年次編入学定員	―	―	１０
収容定員	２５	５０	８５

３　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成１６年３月３１日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
４　この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和２７年学規第１号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附　則（平成１７年３月２３日規程第２号）
１　この学則は、平成１７年４月１日から施行する。
２　平成１７年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成１７年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成１８年３月２８日規程第１号）
１　この学則は平成１８年４月１日から施行する。
２　平成１８年３月３１日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成１８年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第３９条、別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（平成１９年３月２９日規程第３号）
１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。
２　平成１９年３月３１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成１９年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２０年１月１６日規程第１号）
１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成２０年度から平成２２年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収　容　定　員		
	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度

医学部保健衛生学科 看護学専攻 検査技術学専攻	 ２１５ １３５	 ２１０ １３０	 ２１５ １３５
歯学部口腔保健学科	１１８	１１６	１１８

附　則（平成２０年３月２６日規程第５号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。

２　平成２０年４月１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び２０年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年１月８日規程第１号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

２　この学則改正前に、本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成２１年４月１日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第２５条の２の規程を適用する

３　この学則の施行の際限に本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。

４　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年３月１９日規程第３号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２１年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
医学部医学科	４８０	４９０	５００	５１０	５２０

３　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成２１年４月１日以降に歯学部口腔保健学科に３年次編入学する者については、改正後の別表（２）の規定を適用する。

附　則（平成２１年１２月１８日規程第９号）

この規程は、平成２２年１月１日から施行する。

附　則（平成２２年３月３０日規程第３号）

１　この学則は，平成２２年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２２年度から平成２６年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部医学科	５００	５２０	５４０	５６０	５８０

３　平成２２年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２３年３月４日規程第１号）

１　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	５２５	５５０	５７５	６００	６１５

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	３５８	３４６	３３４	３２２	３２０

４ 改正後の第４条の規定にかかわらず､歯学部口腔保健学科の平成２３年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	１１５	１１０	１０５
口腔保健工学専攻	２年次編入定員		５	５
	収容定員	１０	２５	４０

附　則（平成２３年６月３０日規程第６号）
この学則は、平成２４年４月１日から施行する。
附　則（平成２４年３月３０日規程第３号）
１　この学則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２４年度から平成２７年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

年度 区分	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
編入学定員	５（２年次編入） ５（３年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５５５	５８０	６０５	６２０

３　平成２４年度においては、改正後の第１４条の「２年次」は「３年次及び２年次」と読み替えるものとする。
附　則（平成２４年９月２８日規程第８号）
この学則は、平成２４年１０月１日から施行する。
附　則（平成２５年３月１２日規程第２号）
１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２５年度から平成２９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
収容定員	５８１	６０７	６２３	６２９	６３０

附　則（平成２７年３月３０日規則第５１号）
この学則は、平成２７年４月１日から施行する。
附　則（平成２８年３月３１日規程第４号）

この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年５月１１日規程第７号）

この学則は、平成２８年５月１１日から施行し、平成２８年５月１日から適用する。

附　則（平成２８年１２月１２日規程第１１号）

この学則は、平成２８年１２月１２日から施行し、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３１日規程第１号）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年５月１日規程第１号）

１　この学則は、平成３０年５月１日から施工し、平成３０年４月１日から施行する。

２　平成３０年３月３１日において現に本学に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和２年３月３１日　規程第２号）

１　この学則は、令和２年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和２年度から令和８年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和２年度医学部入学定員の増加について（令和元年９月２日付け元文科高第３９１号・医政医発０９０２第３号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
入学定員	１００	１００	８５	８５	８５
編入学定員	５	５	５	５	５
収容定員	６３０	６２９	６１３	５９７	５８１

年度 区分	令和７年度	令和８年度
入学定員	８５	８５
編入学定員	５	５
収容定員	５６５	５５０

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

（平成２０年２月８日
申　　合　　せ）

１．目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第５８条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

２．基本的な考え方

⑴　学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。

⑵　懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。

⑶　懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

３．懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

⑴　退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

⑵　停学

①　停学は、一定の期間登校を禁止することである。

②　停学は、無期停学及び有期停学とする。

③　有期停学の期間は６か月未満とする。

④　停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（１か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。

⑤　無期停学は、原則として６か月を経過した後でなければ解除することができない。

⑥　停学期間には、学則第９条の「休業日」を含むものとする。

⑶　訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

４．謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

５．停学期間中の措置

(1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
(2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
(3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

６．懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

①学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

②調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式１）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

①調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

②調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式２）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

７．不服が申立てられた場合の手続

(1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して１４日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

⑵ 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。

⑶ 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。

⑷ 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

８．無期停学の解除

⑴ 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。

⑵ 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。

⑶ 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式３）を交付するものとする。

９．試験の無効等

⑴ 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

⑵ 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続きは可能とする。

１０．懲戒の標準は、別表のとおりとする。

１１．科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第１０章及び第１２章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

１２．大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のように字句を読み替えるものとする。

⑴ 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」

⑵ 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」

⑶ 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」

⑷ 様式２ 中、「東京医科歯科大学学則第５８条」を「東京医科歯科大学大学院学則第６０条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第５８条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成１６年４月１日規程第５号）第１２章から第１４章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。 」

１３．守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

１４. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附　則

この申合せは、平成２０年２月８日から施行する。

附　則（平成２４年２月２４日制定）

１　この申合せは、平成２４年４月１日から施行する。

２　この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成２４年９月３０日まで、なお従前の例による。

附　則（平成２８年１０月２１日制定）

この申合せは、平成２８年１０月２１日から施行する。

附　則（平成３０年２月２０日制定）

この申合せは、平成３０年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年１２月１３日制定）

この申合せは、平成３０年１２月１３日から施行し、平成３０年１１月３０日から適用する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
１．試験における不正行為	
(1)　代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
(2)　許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
(3)　答案を交換した場合	停学
(4)　その他、試験において不正行為を行った場合	停学又は訓告
２．その他の懲戒対象行為	
(1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪	
①　殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合	退学
②　窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合	退学又は停学
③　痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合	停学又は訓告
(2) 交通事故・交通法規違反	
①　人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く）	退学又は停学
②　飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合	退学、停学又は訓告
(3) ハラスメント等行為	
性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合	退学、停学又は訓告
(4) 社会的モラルを問われる行為	
①　未成年者の飲酒	停学又は訓告
②　未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合	停学又は訓告
③　喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為	停学又は訓告
④　その他本学の名誉・信用を失墜させる行為	停学又は訓告
(5) 薬物犯罪	
違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合	退学又は停学
(6) 個人情報の漏えい	
授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合	
①　情報の漏えいが故意の場合	退学又は停学
②　情報の漏えいが過失の場合	停学又は訓告
(7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為	退学、停学又は訓告
(8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為	
①　研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合	退学、停学又は訓告
②　剽窃を行った場合	停学又は訓告
③　知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学又は停学

④　学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学

３．再犯学生の懲戒

過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。

備考

・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。

・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

様式１

年　　月　　日

懲戒に関する事実認定の報告書

１．対象学生・　学部（研究科）　　学科（専攻）　課程・コース・学籍番号

・氏名　　年 月 日生

・入学年月　　年 月

・現住所　　電話番号

２．事件の経緯・概要

３．学生の弁明

４．審議経緯

５．その他参考資料等

記載要領

○ ２は，事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。

○ ３は，当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。

○ ５は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式２

懲戒通知書

学 部 名　　学籍番号　　氏　　名

東京医科歯科大学学則第５８条の規定により，下記のとおり懲戒する。

記

１．懲戒の種類

２．停学の期間（停学の場合）

３．処分理由

交付日付　　年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ６．により、この説明を受領した日の翌日から起算して１４日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式３

停学解除通知書

学 部 名＿＿＿＿学籍番号＿＿＿＿ 氏　　名＿＿＿＿

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ７の規定により，

年　　月　　日付けで停学を解除する。

年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

様式４

告　　示

　東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

１．懲戒処分となった学生の学部等
（学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。）

２．処分内容
（退学の場合）　　退　学
（停学の場合）　　停　学（有期停学の場合は期間）
　　（例：　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日）
（訓告の場合）　　訓　告

３．処分理由

年　　月　　日

国立大学法人
東 京 医 科 歯 科 大 学 長

印

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則　2014･2015入学者に適用

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第２条　専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（授業）

第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（１単位当たりの授業時間）

第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　講義　　１５時間
(2)　演習　　３０時間
(3)　実習　　４５時間

２　前項第３号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　看護学専攻　　４５時間
(2)　検査技術学専攻　３０時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）

第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）

第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。

４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）

１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年　月　日規則第　号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することが

できる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

別表１　省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表２

成績区分	評価区分	単位認定
１００～９０点	秀	合　格
８９～８０点	優	
７９～７０点	良	
６９～６０点	可	
５９～０点	不可	不合格

別表３（(１)、(３）～（５）は省略）

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第１学年の専門科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
（３）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

2016年度入学者に適用

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第２条　専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（授業）

第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（１単位当たりの授業時間）

第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　講義　　１５時間
(2)　演習　　３０時間
(3)　実習　　４５時間

２　前項第３号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　看護学専攻　　４５時間
(2)　検査技術学専攻　３０時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）

第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。

４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）

１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができ

ない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						
研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○

デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning　Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	
	実践看護英語			1		○	○		
	国際保健福祉Ⅰ			1		○			
	国際保健福祉Ⅱ			1			○		
	国際保健福祉Ⅲ			1				○	
専門領域別分野　基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
	基礎看護学Ⅱ	1				○			
	基礎看護学Ⅲ	1				○			
	基礎看護学演習Ⅰ	2				○			

	基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
	基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
	基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
	成人看護学Ⅱ	2				○			
	成人看護学Ⅲ	1					○		
	成人看護学演習	1					○		
	成人看護学実習	3					○		
精神看護学	精神看護学	2				○			
	地域精神看護学	1					○		
	精神看護学演習	1					○		
	精神看護学実習	2					○		
	看護心理学※３		1		○	○			
小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
	小児看護学Ⅱ	1					○		
	小児看護学演習Ⅰ	1				○			
	小児看護学演習Ⅱ	1					○		
	小児看護学実習	2					○		
母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
	母性看護学Ⅱ	1					○		
	母性看護学Ⅲ	1					○		
	母性看護学演習	1					○		
	母性看護学実習	2					○		
老年看護学	老年看護学	3					○		
	老年看護学演習	1					○		
	リハビリテーション看護学※３		1				○		
	老年看護学実習	3					○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
	地域保健看護学Ⅱ	1					○		
	地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	
	地域保健看護学演習※１		1					○	
	地域保健看護学実習※１		3					○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
	在宅看護学Ⅱ	1					○		
	在宅看護学演習	1					○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
	緩和ケア看護学Ⅱ※３		1					○	
	在宅看護学実習	2					○		

	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※２		2					○	
		総合実習Ⅱ※２		1					○	
計			91	12	5					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○	○	○	○は履修対象学年
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年

	癒しの生化学・分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅰ）			1		○			○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅱ）			1			○		○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅲ）			1				○	○は履修対象学年
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		97	11	6					

（選択科目の履修）

1　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。

2　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

3　選択科目は，第２，第３学年及び第４学年のいずれかに履修することができるが，第４学年に２単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

4　自由科目は卒業要件には含まれない。

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences（※）	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第１学年の専門科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
（３）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

2017年度入学者に適用

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
⑴　講義及び演習については、１５時間から３０時間
⑵　実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
⑴　学習目標を十分に満たすこと
⑵　履修時間及び自主的学修時間の確保

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われな

ければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。
附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。
２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）
この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。
附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）
（施行期日等）
１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、
「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、
「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						
研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
　但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）
１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning　Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。
附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）
１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）
（施行期日等）
１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ
別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English
３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）
１　この規則は、平成２９　年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。
附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）
１　この規則は、平成２９　年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ
附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）
この規則は、平成２９年４月１日から施行する。
附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）
（施行期日等）

１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）
（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）
この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

別表１（１）医学科　省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉Ⅰ			1		○			
		国際保健福祉Ⅱ			1			○		
		国際保健福祉Ⅲ			1				○	
	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
専門領域別分野		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※３		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		

		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※３		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	
		地域保健看護学演習※１		1					○	
		地域保健看護学実習※１		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※３		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※２		2					○	
		総合実習Ⅱ※２		1					○	
計			91	12	7					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態･病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節･制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理･社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			

	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○	○	○	○は履修対象学年
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅰ）			1		○			○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅱ）			1			○		○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅲ）			1				○	○は履修対象学年
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		97	10	6					

（選択科目の履修）

1　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。

2　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は

一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

３　選択科目は，第２，第３学年及び第４学年のいずれかに履修することができるが，第４学年に２単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

４　自由科目は卒業要件には含まれない。

（４）歯学科～（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences（※）	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

別表３

（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第１学年の専門科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
（３）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

2018 年度入学者に適用

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）

この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）

１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。

附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉Ａ			1	○				
		国際保健福祉Ｂ			1		○			
		国際保健福祉Ｃ			1			○		
		国際保健福祉Ｄ			1				○	
	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
専門領域別分野		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※３		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※３		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	
		地域保健看護学演習※１		1					○	
		地域保健看護学実習※１		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※３		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※２		2					○	
		総合実習Ⅱ※２		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態･病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節･制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理･社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		

	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修Ａ			1	○				
	短期海外研修Ｂ			1		○			
	短期海外研修Ｃ			1			○		
	短期海外研修Ｄ			1				○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		99	10	7					

（選択科目の履修）

１　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。

２　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

３　選択科目は，第２，第３学年及び第４学年のいずれかに履修することができるが，第４学年に２単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

４　自由科目は卒業要件には含まれない。

（４）歯学科～（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences（※）	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表３（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

2019年度入学者に適用

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）

この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）

１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。

附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉Ａ			1	○				
		国際保健福祉Ｂ			1		○			
		国際保健福祉Ｃ			1			○		
		国際保健福祉Ｄ			1				○	
	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
専門領域別分野		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※３		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※３		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	
		地域保健看護学演習※１		1					○	
		地域保健看護学実習※１		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※３		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※２		2					○	
		総合実習Ⅱ※２		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態･病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節･制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理･社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		

	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修Ａ			1	○				
	短期海外研修Ｂ			1		○			
	短期海外研修Ｃ			1			○		
	短期海外研修Ｄ			1				○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		99	10	7					

（選択科目の履修）

1　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。

2　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

３　選択科目は，第２，第３学年及び第４学年のいずれかに履修することができるが，第４学年に２単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

４　自由科目は卒業要件には含まれない。

（４）歯学科～（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences（※）	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表３（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）

（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）

この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する

附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）

１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。

附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）

１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1			○				
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			
	Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉Ａ			1	○				
		国際保健福祉Ｂ			1		○			
		国際保健福祉Ｃ			1			○		
		国際保健福祉Ｄ			1				○	
	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
専門領域別分野		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※３		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※３		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※１		2					○	
		地域保健看護学演習※１		1					○	
		地域保健看護学実習※１		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※３		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※２		2					○	
		総合実習Ⅱ※２		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態･病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節･制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理･社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		

	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	心電図判読		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修Ａ			1	○				
	短期海外研修Ｂ			1		○			
	短期海外研修Ｃ			1			○		
	短期海外研修Ｄ			1				○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		99	10	7					

（選択科目の履修）

１　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。

２　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

３　選択科目は，第２，第３学年及び第４学年のいずれかに履修することができるが，第４学年に２単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

４　自由科目は卒業要件には含まれない。

（４）歯学科～（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（７）全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences（※）	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表３（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

（平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定）

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１１条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　科目試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点し、履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Ｆとする。

３　第１項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

４　合否判定の結果について異議がある学生は、掲示後１週間以内に別に定める「成績評価異議申し立て書」を医学部事務部保健衛生教務係に提出することができる。

（仮進級）

第３条　進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

２　仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

（ＧＰ）

第４条　評価とＧＰとの対応は次のとおりとする。

評価	Ａ＋	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｆ
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

２ 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、ＧＰＡ（Grade Point Average）の計算式には算入しない。

３　選択科目及び自由科目のうち、卒業要件に含まない単位のＧＰについては、学生の申請があれば、ＧＰＡの計算式に算入しないものとする。

４　前項の申請時期は、第４学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日制定）

１　この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附　則（平成２８年１０月１２日制定）

この内規は、平成２８年１１月１日から施行する。

（第２条関係）

平成　　年　　月　　日

成績評価異議申し立て書

学部＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科・専攻＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

授業科目名		担当教員	
（問い合わせ内容）			
担当教員への連絡	年　　月　　日に　　にて連絡		
（教員の回答）　　年　　月　　日			
学生への連絡	年　　月　　日　に連絡		
担当教員から教務係への連絡	成績訂正：有（訂正後の成績　　）・無 年　　月　　日　　氏名		
教務係確認欄	年　　月　　日		

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

2020年度入学者(主に1年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			
		Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成31(2019)年度入学者(主に2年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学	3			○				
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1			○				
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			
		Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成30(2018)年度入学者

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成29(2017)年度入学者

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉B			1		○			旧:国際保健福祉Ⅰ
		国際保健福祉C			1			○		旧:国際保健福祉Ⅱ
		国際保健福祉D			1				○	旧:国際保健福祉Ⅲ
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	7					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成30(2018)年度入学者(主に3年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	8					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成29(2017)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		Global Nursing Communication Ⅰ	1				○			旧：英文講読Ⅰ
		Global Nursing Communication Ⅱ	1					○		旧：英文講読Ⅱ
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉B			1		○			旧:国際保健福祉Ⅰ
		国際保健福祉C			1			○		旧:国際保健福祉Ⅱ
		国際保健福祉D			1				○	旧:国際保健福祉Ⅲ
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	統合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	7					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成28(2016)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		英文講読Ⅰ	1				○			
		英文講読Ⅱ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	2						○	*単位増
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	
		実践看護英語Ⅰ			1		○			旧：実践看護英語
		実践看護英語Ⅱ			1			○		旧：実践看護英語
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉B			1		○			旧:国際保健福祉Ⅰ
		国際保健福祉C			1			○		旧:国際保健福祉Ⅱ
		国際保健福祉D			1				○	旧:国際保健福祉Ⅲ
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計			91	12	7					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は，※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は，※２の２科目を選択し，※３の３科目の中から１科目選択すること。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成26・27(2014・2015)年度入学者(主に4年生)

授業科目			単位数			履修学年				備考
			必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2			○				
		解剖学Ⅱ	1				○			
		生理学	3				○			
		生化学	2				○			
		薬理学Ⅰ	1				○			
		薬理学Ⅱ	1				○			
		病理学	1				○			
		微生物学	1				○			
		栄養学	1				○			
		疫学	1					○		
		病態学	5				○			
		英文講読Ⅰ	1				○			
		英文講読Ⅱ	1					○		
		専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野		保健統計学	1						○	
		医療情報学	1				○			
		国際保健看護学	1						○	
		産業保健学	1						○	
		保健医療福祉制度論	2				○			
		健康教育学演習	1						○	
		卒業論文Ⅰ	1					○		
		卒業論文Ⅱ	2						○	
		Learning Medical English			1		○	○	○	旧：英文講読Ⅲ
		実践看護英語Ⅰ			1		○			選択→自由　旧：実践看護英語
		実践看護英語Ⅱ			1			○		旧：実践看護英語
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉B			1		○			旧:国際保健福祉Ⅰ
		国際保健福祉C			1			○		旧:国際保健福祉Ⅱ
		国際保健福祉D			1				○	旧:国際保健福祉Ⅲ
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学			1	○				選択→自由
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学			1			○		選択→自由
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1					○		
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ	2						○	
		地域保健看護学演習	1						○	
		地域保健看護学実習	3						○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		緩和ケア看護学			1				○	選択→自由
		在宅看護学演習	1					○		
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習Ⅰ	2						○	
		看護の統合と実践実習Ⅱ	1						○	
計			95		10					

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規　則　第　１　号）

（趣旨）

第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者

(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者

４　定期試験の結果は、公示する。

５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。

２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。
２ 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４ この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入　学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科　歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附　則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

（平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定）

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成２３年４月１日規則第１号。以下「試験規則」という。）第８条第６項及び第１２条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（再試験）

第２条　再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第４学年で履修した科目の再試験は、第４学年の年度末とする。

２　再試験の実施日時は、試験実施日２週間前までに公示する。

３　再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日７日前までに医学部長に願い出なければならない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるＧＰＡ制度
取り扱いに関する要項

（平成２８年３月３１日
制　　定）

（目的）

第１条　東京医科歯科大学の学部教育におけるＧＰＡ（Grade Point Average）制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年制定）、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規（平成２３年制定）、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規（平成２３年制定）に定めるほか、この要項の定めるところによる。

（定義）

第２条　この要項において、ＧＰＡとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価（A+, A, B, C, D, F）を４から０までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

２　ＧＰＡ対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

(1) A+, A, B, C, D, Ｆによる学習の評価を行わない科目

(2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目

(3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目（成績表ではＧＰＡ除外科目として明示される）

(4) ＧＰＡへの算入が適当でないと学科等が認めた科目（シラバスおよび成績表ではＧＰＡ除外科目として明示される）

（学習の評価及びＧＰ）

第３条　学習の評価及びGrade Point（ＧＰ）は、次のとおりとする。

評　価	GP	評価基準
Ａ＋	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
Ａ	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
Ｂ	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
Ｃ	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
Ｄ	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
Ｆ	0.0	到達目標の達成度を評価できない

（ＧＰＡの種類及び計算方法）

第４条　ＧＰＡは、当該学年に履修した第２条第２項に定めるＧＰＡ対象授業科目につい

て、「当該年度のＧＰＡ」、「累積ＧＰＡ」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ ＧＰＡの計算式

当該年度のＧＰＡ＝

$$\frac{（４\times A+取得単位数＋３．５\times A取得単位数＋３\times B取得単位数＋２\times C取得単位数＋１\times D可取得単位数）}{当該年度の総履修登録単位数}$$

累　積ＧＰＡ＝

$$\frac{（４\times A+取得単位数＋３．５\times A取得単位数＋３\times B取得単位数＋２\times C取得単位数＋１\times D可取得単位数）}{総履修登録単位数}$$

２　前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

３　計算値は小数点第３位を四捨五入とし表記するものとする。

（ＧＰＡ計算期日）

第５条　ＧＰＡの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

（成績証明書への記載）

第６条　成績証明書への記載は、累積ＧＰＡを使用する。

（その他）

第７条　この要項に定めるもののほか、ＧＰＡ制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附　則

１　この要項は、平成２８年４月１日から施行し、平成 28 年度入学者から適用する。

平成 27 年度以前入学者についても、GPA を計算する場合は、秀を A+、優を A、良を B、可を C、不可を D、評価なしを F とみなし、適用する。

看護学専攻第３学年における臨地実習履修要件 平成23年度以降入学者に適用

平成１２年１１月　７日
保健衛生学科教育委員会
平成１７年　３月１５日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２０年１２月２４日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２３年　１月　５日改正
保健衛生学科教育委員会

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義･演習の試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表)

臨地実習名	関連する講義･演習科目名
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ･Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成１１年　７月１４日承認
平成１２年１２月１３日改正
保健衛生学科教育委員会
平成１４年　２月１３日改正
保健衛生学科運営会議
平成２７年　３月１１日改正
保健衛生学科運営会議
平成２９年　２月　８日改正
保健衛生学科運営会議

（趣　旨）

１　東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の実施については，この要項に定めるところによる。

（授業目的）

２　看護・保健に関する研究を実践することにより，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。

（指導教員）

３　指導は，看護先進科学専攻の教授，准教授、講師、及び助教以上（以下「指導教員」という。）が行う。

４　一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は，原則として次のとおりとする。

(1) 教授一人に対し　学生４名
(2) 准教授一人に対し学生３名
(3) 講師一人に対し　学生２名

５　看護学専攻卒業論文小委員会（以下「委員会」という。）は，学生より提出された研究テーマ等を考慮し，指導教員を決定する。

（卒業論文）

６　卒業論文は，別紙により６ページ以内で作成し，提出期限までに指定された場所に提出しなければならない。

（卒業論文発表会）

７　口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。

８　発表会は委員会が主催し，卒業論文委員（学生より選出）が開催する。

９　発表会の開催日時は，毎年６月末日までに掲示により連絡する。

10　発表時間は，１人５分間とし，質疑応答は２分間とする。なお，発表開始から４分経過時及び５分経過時に合図し，発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。

11　発表会用にスライドを作成する場合は，１枚あたり１０行未満の文章で，見やすく作成する。

（評価及び単位認定）

12　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の評価及び単位認定は次のとおりとする。

(1) 「卒業論文Ⅰ」
　指導教員が講義により評価し，科目の責任者が単位認定を行う。
(2) 「卒業論文Ⅱ」
　指導教員が論文及び発表を８：２の比率で評価し，看護学専攻主任が単位認定を行う。

13　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の単位は，次に該当する者には認定しない。

(1) 「卒業論文Ⅰ」の出席が３分の２に満たない者
(2) 期限提出までに論文を提出できない者
(3) その他，卒論単位認定に支障があると判定された者

（評価基準）

14　論文の評価基準は，次のとおりとする。

(1) 論文に取り組む姿勢
(2) 論文内容

① 研究目的
② 研究方法
③ 論文内容の論理性と明確性
④ 考察の論理性と明確性

（実施）

15　この要項は，平成２７年度３年次在学者より実施する。

附　則

この要項は平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この要項は平成２９年４月１日から施行する。

（別　紙）

卒　業　論　文　フ　ォ　ー　ム

1　卒業論文のフォーム
卒業論文のフォームは,以下のとおりとする。

(1) はじめに
(2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
(3) 結果
(4) 考察
(5) 引用文献（参考文献と分けて記載する）

2　引用文献の書き方
書式は,「バンクーバー方式」または「APA方式」に準ずる。

＜バンクーバー方式＞

① 文献については、本文中に文献リスト番号（上付き：例[1]）をつけ,表示する。
② 文献リストは本文中に引用された順に列記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012; 90(9):1456-61.

2) Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010; 146(8): 865-9.

④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが[10)-12)]、実施している対象者は多かった。

＜APA方式＞

① 文献については,本文中に著者名,発行年次を括弧表示する。
② 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。但し,共著者は３名まで表記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子 (2012) ：諸外国の看護教育の動向, 国際看護学研究, 90(9), 1456-1461.

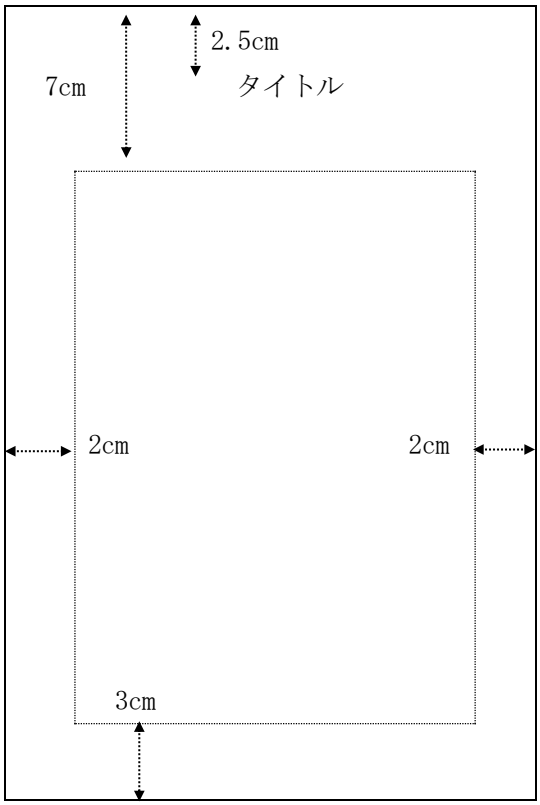
2) Voos K., Ross G., Ward M.., et al. (2011): Effects of implementing family-centered rounds (FCRs) in a neonatal intensive care unit (NICU), J. Matern. Fetal Neonatal Med., 24(11), 1-4.

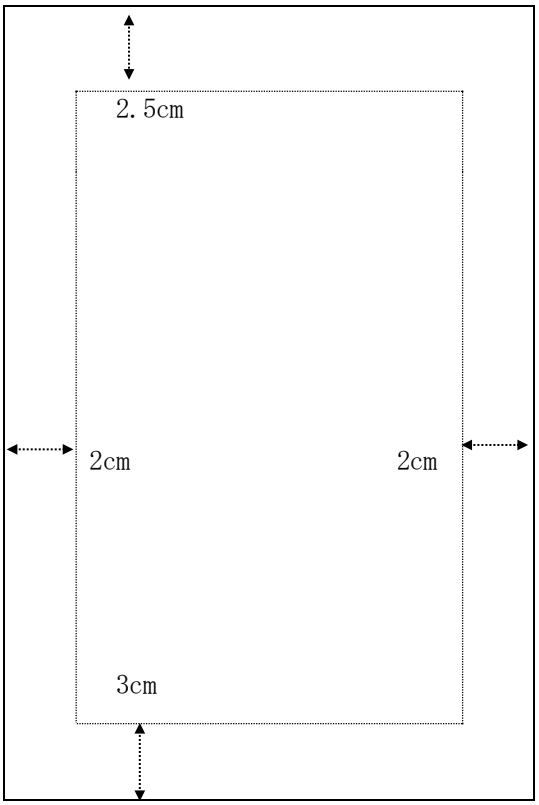
④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが（田村, 2012: Smidt et al., 2010）、実施している対象者は多かった。

3　卒業論文の書式

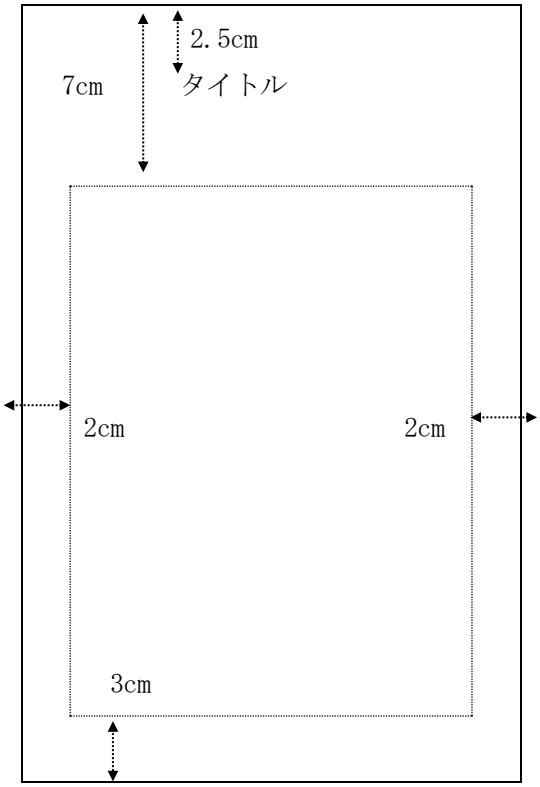
- A4用紙に6ページ以内とし,片面に印字する。
- 字の大きさ及びフォントは,10～11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし,
  文字数：全角46,行数：38,字送り：10.5ポイント,行送り：18ポイントとする。
- 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。
- 全ページ余白は上2.5cm,下3cm,左右それぞれ2cmとする。
- ただし,1ページ目は上2.5cmからタイトル,その下余白に氏名・指導者名を記載する。
- 本文は7cm下から書き始める。
- 指導教員には大学院生は含まない。





4　卒業論文抄録の書式

- A4用紙に1枚とする。
- 字の大きさ,フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
- タイトル,氏名,指導教員名を上7cmの余白部分に書き,以下目的,方法,結果,考察を記載する。
- 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。



＜標題紙見本＞

医学部保健衛生学科レポート

学　　部　医学部

学　　科　保健衛生学科（看護学専攻）

科 目 名　「産業保健学」

標　　題　「産業の場における看護職の五管理」

↑

感想の場合は、“感想「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」”と書く。

提出月日　平成〇〇年〇月〇日

専　　攻　看護学専攻

学　　年　〇学年

学籍番号　〇〇〇〇〇〇〇〇

氏　　名　山田　花子

山田　花子

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

・　産業の場における看護職の五管理について

１．　産業保健と五管理

２．　作業環境管理

３．　作業管理

４．　健康管理

５．　労働衛生教育

６．　総括管理

７．　まとめ

８．　参考文献

――――――――――――――――――――――以下省略――――――――――――――――――――――

※作成要領

１．レポート本文はワープロ打ちとする。

２．フォーマットはＡ４版・MS 明朝体・10.5 サイズとし、横 44 文字、縦 32 行で印字する。

３．すべてのページの１行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

４．表題紙は、別様とする。

５．書き出しは 2 行目 2 コマ目から始める。

６．英数文字は半角とする。

６．最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水醫學雑誌」に準ずる。

＜書き方例＞

引用文献

論文の場合

1）宮崎美砂子，春山早苗：最新地域看護学. 各論２. 日本看護協会出版会；2006：81-88.

著書の一部の場合

2）鈴木太郎，山田華子：糖尿病性神経障害，小島次郎編　糖尿病，大学出版，東京，1986. pp975-982.